

国立高専機構林理事長及び五十嵐理事が震災による被害状況を視察

投稿日時: 2011-03-24 10:28:25 : [平成22年度の話題](#)

国立高専機構林理事長及び五十嵐理事が去る3月24日に震災後の福島高専を訪問し同校の施設・実験設備等の被害状況を視察しました。

林理事長及び五十嵐理事は、奈良校長から学生・教職員の被災状況と同校の被害状況等の説明を受けた後、学内の損傷した建物・亀裂が入った道路等の被害状況確認を福島第1原子力発電所からの放射線量を確認するためガイガーカウンターにより計測しながら巡視しました。また、同校へ避難している約100名の一般市民の方々を激励しました。



被災した図書館を視察する理事長(左から二人目)

[0コメント](#)

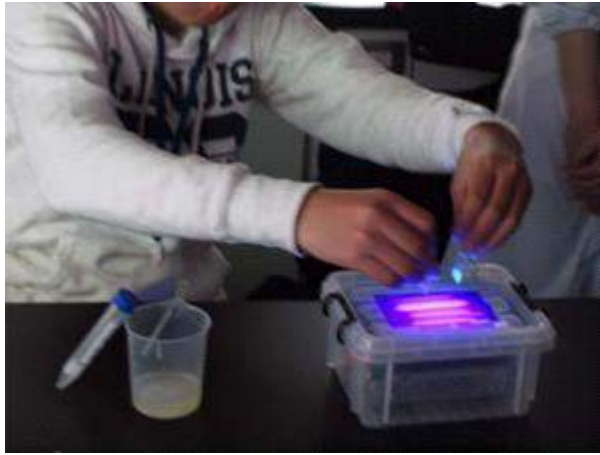
第6回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催しました

投稿日時: 2011-03-07 10:23:27 : [平成22年度の話題](#)

本校では、3月6日(日)に物質工学科棟生化学実験室において、第6回発明発見教室「DNAを取り出そう」(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス)を行いました。

(指導:物質工学科教授天野仁司、物質工学科学生2年生3名、4年生3名)

これは、タマネギやバクテリアからDNAを取り出し、その性質や遺伝子との関係を、実験を通して学ぶものです。タマネギの細胞が、DNAの情報で作られたタンパク質によって活発に活動しているところを観察したり、取り出したDNAがマイナスの電気を帯びていることを、プラスの電気を帯びた色素と結合させる実験で確かめたりしました。また、バクテリアが光るのは、導入された小さなDNA分子が原因であることを電気泳動で調べました。



取り出したタマネギのDNA(左)と光るバクテリア(右)

電気泳動の様子

[0コメント](#)

[福島高専・茨城大学・茨城高専との連携協定を締結しました](#)

投稿日時: 2011-03-02 16:13:14 : [平成22年度の話](#)

本校では2月22日(火)、茨城大学と茨城高専との3者による産学官連携などを含んだ包括的な連携協定の締結式を茨城大学本部にて執り行いました。福島高専と茨城大学・茨城高専は、これまでも学生の単位互換協定を締結済みですが、今回の協定締結により、産学官分野に連携を広め、地元企業への研究者の相互紹介や3校の共同研究を進めていきます。

奈良宏一校長は「幅広い連携協力が合意できて大変光栄である。この連携が真に実りあるものになるよう活動を深めていきたい。」と挨拶し、今回の協定締結に対する期待の高さをみせました。



左: 奈良福島高専校長 中央: 池田茨城大学長 右: 角田茨城高専校長

[0コメント](#)

[平成23年度本科入学者選抜学力検査の合格発表を行いました](#)

投稿日時: 2011-02-25 16:33:01 : [平成22年度の話題](#)

本校では、2月25日(金)午前10時より、平成23年度本科入学者選抜学力検査の合格発表を行い、5学科合計210人の合格を発表しました。

なお、本校HPにも合格者番号を掲載しています。



[0コメント](#)

[全国高専英語プレゼンテーションコンテスト\(スピーチの部\)で本校コミュニケーション情報学科2年生が優勝しました](#)

投稿日時: 2011-02-01 14:48:48 : [平成22年度の話題](#)

本校コミュニケーション情報学科2年の目黒さんが、1月29、30の両日に国立オリンピック記念青少年総合センターで行なわれた「第四回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」のスピーチの部で優勝しました。

スピーチタイトルは、「Changing Ourselves to Be Ready for Globalization」です。教師に対し対等に意見を言うアメリカ人学生の中かで、最初は戸惑いを感じていた目黒さんは、第二次世界大戦をテーマにした授業で、自分の考えを率直に伝えることの大切さを学びます。その経験を踏まえて、日本人が国際化に対応するために、英語でディベートする力を身につけるべきだとまとめました。eye contactを取りながらの自然な発表は高い評価を得ました。

目黒さんは何度もスクリプトを書き換え、本校の外国人講師のキャシー先生に発音を聞いていただき、練習を繰り返し、見事に優勝を手に入れました。



[0コメント](#)

[女子学生を対象とした職場見学会を実施しました](#)

投稿日時: 2011-01-21 13:56:57 : [平成22年度の話題](#)

本校では、1月13日(木)に女子学生対象とした職場見学会を実施しました。晴天に恵まれた中、午前はアルパイン?、ハニーズ?の2社、午後は見学場所を分散し、東洋システム?、東新工業?、オカモト?の3社、いわき市の市民税課、都市計画課、環境監視センター、保健福祉センターの4部署を見学しました。専攻科1年、本科3、4年の学生80名が参加し、引率は女子総合支援室員が担当しました。

どの企業も丁寧に対応していただき、学生達も熱心に見学し、企業内で活躍しているO.G.の先輩のお話も聴けて、学生達のモチベーションも上がり、良い質問が出ました。見学を済ませた学生達は、良い職場見学ができて貴重な経験でしたと述べていました。



アルパイン株式会社



ハニーズ株式会社





東新工業株式会社



東洋システム株式会社



いわき市環境監視センター

いわき市保健福祉センター

[0コメント](#)

[女子学生対象のキャリア講演会『夢は実現できる』を開催しました](#)

投稿日時: 2011-01-20 16:59:54 : [平成22年度の話題](#)

本校では平成22年12月8日（水）に、専攻科・本科高学年の女子学生を対象とした、第2回キャリア講演会を実施しました。福島インフォメーションリサーチ&マネジメント代表橘あすかさんと企画営業代表 渡邊まど香さんを講師としてお招きし、『夢は実現できる』と題して講演を行いました。お二人は平成13年度建設環境工学科卒業の同級生です。橘さんが会社を設立し、渡邊さんが設立後企画営業でバックアップしています。講演は『夢は実現できる』のテーマ通り、会社を設立する夢を実現するための自分を知るエゴグラム診断を全員で実施したりと、大いに盛り上がりました。橘さんの行動力と、渡邊さんの支える力とのコンビネーションが現在の夢の実現と成功に結びついている事がよくわかりました。学生達にも分かりやすい話し方、魅力的な体験談が次々と語られ、学生達を引きつけました。また、夢を実現するためのポイントの項目、素直さや、先生や先輩を大切にすること、信念のもち方、夢を明確にするコツ等を教えてもらい、学生達のモチベーションを持ち上げていただきました。質疑応答の時間は、質問をした学生に会社の商品がプレゼントされ、歓声が上がりました。



講演をする橘さん橘さんを助ける渡邊さんのお話



熱心に聞き入る学生達質問した学生へのプレゼント

[0コメント](#)

[本校の奈良宏一校長がIEEEフェローに昇格しました](#)

投稿日時: 2011-01-17 17:21:58 : [平成22年度の話題](#)

本校の奈良宏一校長が、2011年1月1日付で「配電系統自動化に関する貢献」で米国電気電子学会（Institute of Electrical & Electronics Engineers: IEEE）フェローに昇格しました。IEEEフェローの資格はIEEEに関連する分野で顕著な業績をあげた人物にIEEE理事会が贈るものです。年間に昇格する総数は選挙資格がある会員数の0.1%を超えることはできません。IEEEフェローは会員の最上位の資格であり、名誉と貴重な経歴となります。2011年には世界中の36万人の会員のうち、日本からの16名を含む321名が昇格しました。奈良校長は35年以上にわたって電力系統並びに配電系統の最適計画・運用分野で研究をしてきました。この分野で、これまでに50編以上の学会誌論文と100編以上の国際会議論文、5編の著書を著しました。特に、配電系統運用・計画分野と電力系統への知的システムの応用分野で著名です。



[0コメント](#)

第5回発明発見教室「手作りカメラで撮影会」を開催しました

投稿日時: 2011-01-17 15:38:28 : [平成22年度の話](#)

本校では、1月16日(日)に物質工学科棟生化学実験室において、第5回発明発見教室「手作りカメラで撮影会」(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス)を行いました。(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学生4年生5名)

これは、昨年8月にも行いましたが、応募者多数のため、製作するピンホールカメラに改良して、もっと手軽に手作りカメラで写真を撮影できるようにしたものです。今回も、レンズを使っていないとは思えないほどきれいな写真を撮った受講生もいて、写真の原理を学ぶと共に、写真撮影を楽しむことができました。



ピンホールカメラの製作

製作したカメラでの撮影の様子



暗室での現像作業(赤色光下)

参加者の作品(定着中)

[0コメント](#)

[平成22年度学校の枠を超えた外国人留学生研修を実施しました](#)

投稿日時: 2011-01-17 14:33:12 : [平成22年度の話題](#)

1月7日(金)・9日(日)にかけて本校では、東北地区6高専(7キャンパス)の留学生46名及びチューター17名、引率教員7名が集い「学校の枠を超えた外国人留学生研修」を実施しました。初日は、市内で英会話クラブに勤務する傍ら舞踊教室を主宰しているアウ・スコット先生を講師に招き、「いわきの歴史とフラガール」と題し、特別講話とフラ体験を行いました。留学生らは英語での講話に熱心に聴き入るとともに、初めてのフラ体験ではフラダンスの魅力を体感することが出来ました。その後、世界的に有名なカーオーディオメーカーであるアルパイン株式会社いわき本社へ移動し、主幹工場である好間事業所及びアルパインミュージアムの見学を行いました。留学生からは専門的な質問も多く出され、充実した会社訪問となりました。また、2日目には、環境水族館アクアマリンふくしま・あぶくま鍾乳洞の見学及び小名浜港クルージングを行いました。期間中は晴天にも恵まれ、いわき市内の名所を訪れる中で、留学生・チューター相互の交流を深める良い機会となりました。



国際港小名浜で記念撮影

[0コメント](#)

[古殿町主催の「秋のフォトコンテスト」で本校学生が入選しました](#)

投稿日時: 2011-01-12 09:54:49 : [平成22年度の話](#)

古殿町主催の一般の方が応募する「秋のフォトコンテスト」の「秋祭り」部門で、本校写真部のコミュニケーション情報学科1年 吉田華菜子さんの作品が特選、同1年 松本江里子さんの作品が佳作に入選しました。3部門で応募者数73名、応募点数173点の応募があり、一番人気の「秋祭り」部門で賞を取ることができました。多くのベテランアマチュア写真家・愛好家が応募し競う中、弱冠15歳の女子学生が、特選を受賞したことに審査員・関係者全員が驚きであったとのことでした。

1月8日に古殿町役場で行われました表彰式後には、古殿町長と町長室で日頃の取り組みなどを懇談する機会がありました。



古殿町役場で行われた表彰式と町長との懇談会の様子

[0コメント](#)

[公開講座「イルミネーション置き時計を作ろう！」を開催しました](#)

投稿日時: 2010-12-22 17:00:50 : [平成22年度の話](#)

本校では、12月11日(土)に、公開講座「イルミネーション置き時計を作ろう！」を行いました。本校モノづくり教育研究支援センターが主催し、技術職員9名が指導にあたりました。

この講座は、モノづくりの楽しさと工学の世界に興味を持ってもらうことを目的として開催されました。今年7月にも同講座が開催され、小・中学生20名の募集定員に対し、99名の受講希望があった人気講座のひとつであり、今回は第2回目です。今回は募集定員を30名に増員し、より多くの希望者が受講できるようにしました。

この講座では、LEDと光センサを用い、暗くなると自動で光を放つ置き時計を製作しました。参加した受講生

からは、「クリスマス飾りに丁度良い」、「モノづくりに興味を持てた」等の意見の他に、「高専に入学してモノづくりを勉強したい」といった感想が寄せられ、大変好評でした。



熱心に取り組む受講生

完成した置時計

[0コメント](#)

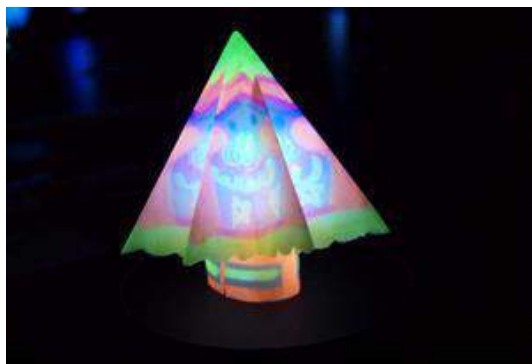
第4回発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」を開催しました

投稿日時: 2010-12-20 14:01:23 : [平成22年度の話](#)

本校では12月19日(日)に、第4回発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス)を開催しました。(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学学生 2年生6名、1年生2名)

これは、光と蛍光を学ぶ教室で、蛍光についての説明の後、紫外線LEDと蛍光物質を使って、紙製のクリスマスツリーを作りました。

参加者は、暗闇で色とりどりに光るクリスマスツリーの意外性に感動していました。



[0コメント](#)**東北地区高等専門学校英語スピーチコンテストで本校コミュニケーション情報学科2年生が優勝しました**

投稿日時: 2010-12-17 10:42:36 : 平成22年度の話題

11月20日(土)に、仙台高等専門学校名取キャンパスで行なわれました「第2回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト」で、コミュニケーション情報学科2年の目黒さんが優勝しました。

スピーチのタイトルは、Changing Ourselves to Be Ready for Globalizationです。国際化に向けて、日本人が自分の意見をはっきり表現できるように変わらなくてはならない、と訴えたスピーチでした。

目黒さんは、1月30日(日)に国立オリンピック記念青少年センターで行なわれる「第4回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」に出場します。



優勝した目黒さんと指導を行った石原教員

[0コメント](#)**「第3回 先端ものづくりチャレンジ 2010イン 習志野 知能ロボット競技部門」で、分子生物学愛好会 知能ロボット研究グループのチームが「デザイン賞」を受賞しました**

投稿日時: 2010-12-13 14:48:54 : 平成22年度の話題

12月12日(日)に、千葉県習志野市の千葉工業大学津田沼キャンパスで行われました「第3回先端ものづくりチャレンジ 2010イン習志野(主催:習志野商工会議所、千葉工業大学、NPO法人国際ロボフェスタ協会) 知能ロボット競技部門」で、分子生物学愛好会知能ロボット研究グループのチーム(チーム名:堀越くまさん Rainbow、マシン名:ふみちゃん、製作:物質工学科2年小林 翠、松崎優香、鈴木彩美(当日は硬式テニスの大会出場のため欠席)、コミュニケーション情報学科2年笠原渚子、指導:物質工学科教授天野仁司)が決勝(6チーム)に進出し「デザイン賞」を受賞しました。

本大会には、社会人や学生等の20チームが参加し、6月に仙台で開催しました「知能ロボットコンテストのチャレンジコース」と同じルールで競技が行われました。決勝進出は6チームで、1位のチームには「最優秀賞」が与えられますが、他は、各賞の選考基準に従い、「デザイン賞」、「アイデア賞」、「技術賞」が与えられることで表彰されます。「デザイン賞」は、ロボットに施すデコレーション、ロボットの構成、ロボットのしぐさなどの印象度の素晴らしいチームに贈られる賞です。





「デザイン賞」受賞の様子

競技の様子

[0コメント](#)

[第17回東北地区高等専門学校文化部発表会を開催](#)

投稿日時: 2010-12-08 16:08:00 : [平成22年度の話題](#)

第17回東北地区高等専門学校文化部発表会が本校大会議室において12月1日(水)・7日(火)まで開催されました。本校は写真部門で特選を受賞したほか、3点が入選しました。また、美術部では1点が入選となりました。写真部門での特選受賞は4年連続となります。写真部門で特選を受賞した河野さんは「今回このような賞を頂けて大変嬉しいです。今回の作品は、滝の力強さが出るように構図や設定などを試行錯誤しながら撮りました。今後はこの賞に甘んずることなく更に実力をつけていきたいです。」と次回作に向けた意気込みを語りました。受賞者は次の通りです。

【絵画部門】

入選「ラポルド」 4年コミ 諸橋さん

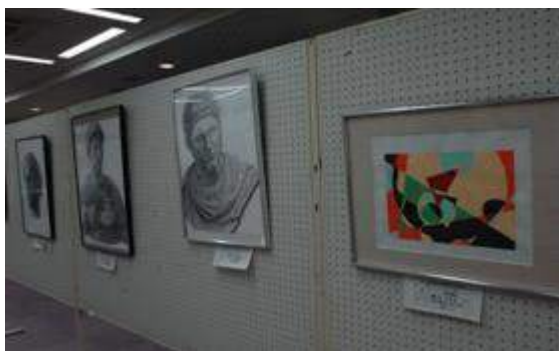
【写真部門】

特選「雄々しき秋滝」 1年物質 河野さん

入選「海想い」 1年物質 菅野さん

入選「渾身の矢」 1年コミ 松本さん

入選「母の愛につつまれて」 1年コミ 吉田さん



入賞した写真部学生

美術部学生の作品

[0コメント](#)

[小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクト支援で感謝状が贈られました](#)

投稿日時: 2010-12-07 09:51:59 : [平成22年度の話題](#)

12月2日(木)、小惑星探査機「はやぶさ」は人々に夢や希望を与えたとして、宇宙航空研究開発機構とプロジェクトを支援した福島高専を含む19の大学等と99の企業に対して、海江田万里宇宙開発担当相と高木義明文部科学相から大臣感謝状が贈られました。

授賞式の出席した本校一般教科道上達広准教授は、「はやぶさ」打ち上げ前の1998年(平成10)からプロジェクトに携わり、はやぶさがサンプルを採集するときの状況を想定するため、小惑星「イトカワ」の表面の研究を行ってきました。その後も、はやぶさから届く画像を分析し、イトカワが衝突によって生じた破片が集まっ

た「がれきの寄せ集め」と考えられることを明らかにしました。



プロジェクトに関った道上教員

授賞式会場の様子

[0コメント](#)

[第1回 原子力・エネルギーに関する課題研究コンクール全国大会出場へ](#)

投稿日時: 2010-12-03 17:01:46 : [平成22年度の話](#)

文部科学省が主催する「第1回原子力・エネルギーに関する課題研究コンクール 全国大会」に書類選考、一次審査を通過した5名の学生(機械工学科3年鈴木美穂, 物質工学科3年根本史香, 萩谷紗歩, 橋本千奈, 松原若菜)が参加する事になりました。

課題研究のテーマを『原子力エネルギー供給への自治体と事業者の安全への取り組み ?過去・現在・未来?』として, 夏休みに福島県, 大熊町, 東京電力への聞き取り調査, 住民へのアンケート調査等の活動を行い, 壁新聞にまとめました。全国大会は12月26日に東京大学で行われ, 活動の成果をプレゼンテーションにより発表します。





福島県庁での聞き取り調査

大熊町役場での聞き取り調査



東京電力福島第一原発での聞き取り調査

[0コメント](#)

[「わくわく体験授業」講座に女子中学生31名が参加しました！！](#)

投稿日時: 2010-11-30 14:26:12 : [平成22年度の話題](#)

11月20日（土）女子中学生を対象とした「わくわく体験授業」は高専の女子教員、補助要員も女子学生を中心に、31名の中学生達が参加して実施されました。その中で、山形県酒田市から午前3時に起きて、来てくれた中学生もいました。

授業の1時間目は、石原万里教員による「あなたも“くまのプー”になれる！」は英会話を実習する授業で、くまのプーさんとウサギの会話の実習で、初めて出合った隣席の女子中学生同士と仲良しになりました。2時間目は渡部美紀子教員による「フリマって儲かるの？」は、フリマに出店した商品は売れたものの、収支を計算すると思ったほど利益はないことが判明しますが、損益計算の方法を分かりやすく説明してもらって納得した授業でした。午後の3時間目は実験授業、高荒智子教員による「きれいな水をつくろう」は、地球の水の循環理論や、生活排水が浄化施設を経て水道水になる仕組みなどの講義を受け、実際に汚れた水から不純物を固めて取り除く浄化方法を実験で行い、きれいな透き通った水をつくることができました。

31名の中学生全員が揃って楽しい授業だった、高専の他の授業を体験したい、もっと深く知りたいと感想を述べ、83%の中学生が高専を受験したい希望を持っていることがわかりました。



真剣に説明を聞く参加者



本校の女子学生も補助要員として参加



3時間目 高荒教員の授業の様子

[0コメント](#)

福島高専協力会企業等会社説明会を開催

投稿日時: 2010-11-17 15:21:43 : [平成22年度の話題](#)

本校では、11月17日(水)に、本科4年生、専攻科1年生を対象とした、本校協力会企業等会社説明会を進路対策委員会、女子総合支援室及び地域環境テクノセンターの主催で開催しました。

本説明会は、これから就職活動を行うにあたり、地域で活躍する企業の業務内容を理解すること、自己の適性を把握したうえで携わりたいと思う仕事を発見すること、企業において継続して活躍できる自分をイメージすることを目的としたもので、地元企業中心に13社が参加しました。出席した約120名のが、熱心に企業の方から業務内容等について説明を受けていました。



熱心に説明を聞く参加者

説明会会場の様子

[0コメント](#)

磐陽祭を開催しました

投稿日時: 2010-11-07 16:03:15 : [平成22年度の話題](#)

11月6日(日)磐陽祭(高専祭)を開催いたしました。

当日はたくさんの方が来場し、大盛況のうちに終了することができました。ありがとうございました。



機械工学科

電気工学科



物質工学科

建設環境工学科





コミュニケーション情報学科学学校紹介コーナー

[0コメント](#)

専攻科2年の鈴木定太さんが「電気学会産業応用部門YPC優秀発表賞」と「米国電気学会(IEEE)産業応用部門日本支部、2010ヤングエンジニア・コンペティション・アワード」をダブル受賞しました

投稿日時: 2010-11-01 14:03:50 : [平成22年度の話](#)

8月24?26日の期間、芝浦工業大学(東京)で開催されました、平成22年電気学会産業応用部門全国大会において、「ヤングエンジニア・ホスター・コンペティション(YPC)優秀発表賞」を、福島高専専攻科 機械・電気システム工学専攻2年の鈴木定太さんが受賞しました。さらに、YPC優秀発表賞受賞者の上位5名に与えられる「米国電気学会(IEEE)産業応用部門日本支部、2010ヤングエンジニア・コンペティション・アワード」も併せて受賞しました。

鈴木さんは、本科5年生から研究に着手し、専攻科進学後に特別研究で展開した「磁性材料片の変位によるバルク超電導体試料の磁気支持力の変化」をYPCで発表し、電気学会(日本)とIEEE(米国)からのダブル受賞となりました。

また、鈴木さんは本科5年在学時における「水平方向に作用する電磁力に対する超電導バルク材の配列効果」という発表でも、「平成20年電気学会優秀論文発表賞(支部大会)」を受賞しており、在学3年間で3件の学術表彰を受けたこととなります。電気学会の規定により、「優秀論文発表賞」などの受賞があった翌年は、審査対象から外れるため、平成20年に引き続き、今回の平成22年の受賞は最短の受賞ケースです。

高専専攻科学生の発表が、全国大学の多くの大学院生の発表の中で、在学3年間に2回、合計3件の学術表彰を受けるのは極めて珍しいケースであり、鈴木定太さんの研究に対する真摯な姿勢が結果として表れたものと思います。また、本校専攻科特別研究の内容向上の現れであると思われます。



表彰を受ける鈴木定太さん(右)

[0コメント](#)

安藤守技術職員が「電気学会優秀論文発表賞」を受賞しました

投稿日時: 2010-11-01 13:58:25 : [平成22年度の話](#)

昨年12月に福井大学で開催されました、電気学会A部門教育フロンティア研究会において、本校安藤守技術職員が発表しました「モノづくり導入実習から学ぶ技術者倫理への取り組み」が、「平成21年電気学会優秀論文発表賞(研究会)」を受賞し、今年9月に琉球大学で開催されました「平成22年基礎・材料・共通部門(A部門)全国大会」にて表彰式が行われました。

安藤技術職員は福島高専・モノづくり教育研究支援センターに所属しており、本校電気工学科を中心に、学

内の電気系の技術指導に携わっています。平成13年度以降、電気工学科が企画・実践する「モノづくり教育」にも深く関与し、翌平成14年後期から同学科内の導入実習WGが企画しました「モノづくり導入実習」の中心的な役割を担い、現在に至っています。安藤技術職員は、電気工学科1年生、2年生に実施している「工事实習」のなかに「技術者倫理導入」を取り入れ、その実践を研究会論文にまとめ発表しました。研究会を主催する電気学会教育フロンティア技術委員会の審査においても、工事实習の中に技術者としての初歩的な倫理を導入した実践例として高く評価され、同学会表彰規定による「平成21年電気学会優秀論文発表賞(研究会)」の「本部表彰」の受賞となりました。全国の電気系学科をもつ大学・高専、および電気系企業における技術者教育を担当する多く発表者の中でも、実習の中で行われる技術者倫理教育の実践例は無く、安藤守技術職員が中心となって取り組む「モノづくり導入実習」の特徴が評価されたものと思われます。



表彰を受ける安藤技術職員（右）

[0コメント](#)

[「ふくしま環境・エネルギーフェア2010」でスターリングエンジンを実演しました](#)

投稿日時: 2010-10-26 09:10:37 : [平成22年度の話](#)

去る10月2日(土)・3日(日)、福島県郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしま環境・エネルギーフェア2010」が開催され、本校からも出展を行いました。このフェアは、環境問題への意識向上のため、各種イベントを展開するとともに、企業間のマッチング及び販路拡大を目的とした環境・エネルギー産業の最新技術紹介や製品展示を行い、未来の子どもたちのために、今何ができるのかを考えるきっかけとなる環境イベントとして開催されました。

会場の本校展示スペースでは、本校の新エネルギー研究に関するパネルを展示した他、実際に、機械工学科 一色誠太准教授による、熱のみで動くスターリングエンジンの実演を行い、熱源を排熱や木質バイオマスペレット燃料等で補うことにより、環境へ配慮したエンジンである説明を行いました。

また、建設環境工学科 原田教授による本校のエネルギーや環境・ライフサイエンス分野の教育研究についての紹介も行いました。

今回の出展により、多くの来場者に、モノづくりに対する興味や本校の環境に対する取り組みを知ってもらうことができました。



展示・実演を行った一色教員(左)と原田教員(右)

[長岡技術科学大学の新原学長が来校されました](#)

投稿日時: 2010-10-22 15:58:54 : [平成22年度の話題](#)

10月21日(木)、長岡技術科学大学の新原皓一(白は日である)学長が、本校に来校されました。新原学長は、本校奈良宏一校長と教育研究全般および管理運営について、意見交換を行いました。また、新原学長は同席した本校教員とも、さまざまな内容について、積極的に意見交換を行いました。その後、実験室等を見学され、ある実験室では、学生に対して研究内容等について質問され、現場教員とも、積極的な意見交換をされておりました。



専攻科学生を囲んでの記念撮影



熱心に説明を受ける新原学長

(左から機械工学科5年学生、新原学長、平尾教員、奈良校長、佐東教員)

[「平成23年度入学者募集に関する説明会」を開催しました](#)

投稿日時: 2010-10-21 09:40:33 : [平成22年度の話題](#)

中学校教員を対象にした「入学者募集に関する説明会」を10月6日(水)いわき地区会場での開催を皮切りに、県内5ヶ所で開催しました。

10月6日(水)開催のいわき地区説明会では、本校大会議室を会場として、いわき市内及び北茨城・高萩地域の中学校教員を対象に開催し、43名の出席がありました。説明会では奈良校長の挨拶の後、根岸教務主事等による学校紹介が行われ、引き続き、宮澤入学試験実施専門部会長から「平成23年度入学者募集要項」を元に入学者募集に関する説明を行いました。参加者は真剣な面持ちで説明を聴講し、その後の質疑応答では、多くの質問や意見が出される等、本校受検に対する熱意が感じられました。

説明会は、いわき地区での開催後、10月21日(木)までに順次相双・県北・会津・県中の4地区で開催されました。各地区の説明会では、活発に質疑応答が行われ閉会予定時間を超過する会場が続出し、あらためて本校への関心の高さを感ぜさせる説明会になりました。



いわき地区説明会会場の様子

本校の説明をする根岸教務主事

[0コメント](#)

[写真部の学生が地区大会で大活躍しました](#)

投稿日時: 2010-10-20 16:17:56 : [平成22年度の話題](#)

10月18日?20日に、いわき地区高等学校写真連盟写真展が、いわき市文化センターで開催されました。市内7校の写真部に所属する生徒の作品191点の作品の中からコンテストが行われ、福島高専写真部の学生が、特選1、準特選2、入選5と8つの作品が入賞しました。磐陽祭でも展示しますので、ぜひ見に来てください。

特選

・決意の瞬間 物質1年 河野

準特選

・合わせ紅葉(もみじ) 物質2年 伊藤

・熱情 物質2年 大家

入選

・行け! 物質1年 河野

・狭霧 物質2年 大家

・あと少し、待ってみようか コミュニケーション情報1年 松本

・風車と天の川 コミュニケーション情報 1年 吉田

・母の愛につつまれて コミュニケーション情報1年 吉田



トロフィーを手にする写真部学生

[0コメント](#)

[第3回発明発見教室「ロボコンJr.」を開催しました](#)

投稿日時: 2010-10-17 11:05:44 : [平成22年度の話題](#)

本校では、10月17日(日)にいわき市産業創造館ラトブにおいて、第3回発明発見教室「ロボコンJr.」(主催:

福島高専・いわき市、共催：NPO法人タッチ・ザ・サイエンスを開催しました。（指導：物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学学生2年生4名、1年生3名、建設環境工学科1年生2名）

これは、メカトロで遊ぶ会が開発したロボット「梵天丸」を、ひらがなと数字で記述するプログラムによって制御するもので、プログラミングの指導の後、「ジャストストップ」、「タイムレース」、そして「トレースウェーブ」の3競技を行いました。

参加者は自らプログラムした「梵天丸」を走らせ、競技を楽しんでいました。



プログラミングの指導

競技の様子

[0コメント](#)

[高専ロボットコンテスト東北地区大会に参加しました](#)

投稿日時：2010-10-11 11:09:16：平成22年度の話題

10月10日（日）に秋田高専体育館にて、高専ロボットコンテスト東北地区大会が開催されました。（指導教員：物質工学科教授 天野仁司、機械工学科准教授 鈴木茂和）

結果的には、全国大会に進めませんでしたが、今年は十分に練習を重ね、本校体育館での練習の最速記録では、Aチームが49秒、Bチームが53秒でゴールでき、本大会でも優勝の可能性の十分にあるロボットに仕上げました。

Aチームは本大会のテストランでも安定した試技を披露しましたが、一回戦において、これまでまったく問題のなかった方向転換機構用のモーターのギヤヘッドで、ギヤの歯が一箇所つぶれ、回転できない状態に破損してしまいました。急遽交換作業を行いました。二回戦までに不良部品の交換が間に合わず、本来の性能を発揮できずに敗退しました。

Bチームは、ロボットの製作に手間取ったものの、最後は競技で十分戦えるロボットにまで仕上げました。しかし練習時間が十分とは言えず、改良可能な部分は多数残っていたと思います。そのため、二回戦ではゴールタイムで敗退しました。なお、Bチームは「デザイン賞」を受賞しています。



Aチームの鍵を入れる「もぉーダッシュあかべえ号」 Bチームの疾走しようとする「機馬追」

[0コメント](#)

全校清掃を行いました

投稿日時: 2010-10-06 16:25:01 : [平成22年度の話](#)

本校では、10月6日(水)に全校清掃を行いました。

今回の清掃は、「秋のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」の一環として行われたものです。

当日は晴天に恵まれ、教職員・学生約50名は学校周辺のゴミ拾い等を行いました。



[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=18>>

藤間中学校2年生が一日体験学習のため来校しました

投稿日時: 2010-09-09 15:15:07 : [平成22年度の話](#)

9月7日(火)、いわき市立藤間中学校の2年生が「一日体験学習」のため福島高専に来校しました。同中学校では、学校教育の一環として総合的な学習の時間に体験学習を実施しています。第2学年では、市内の高校・大学等を訪問し、各学校に関する情報を収集し、今後の進路選択に活かしています。

一行は、担当教員から高専制度や本校の概要について説明を受けた後、高専の特色や各専門学科の学習

内容、卒業後の進路等について、活発な質疑応答を交えながら熱心に耳を傾けていました。
次に施設見学を行い、4・5年生及び教員から、部活動の様子や各学科の特徴について丁寧な説明を受けました。短時間でありましたが、有意義な体験学習となりました。



熱心に説明を聞く学生達

ロボット見学の様子

[0コメント](#)

平成22年度福島高専「一日体験入学」が無事終了しました。

投稿日時: 2010-08-23 17:30:00 : [平成22年度の話題](#)



8月7日(土)／8日(日)の両日、来年3月に高校入試をむかえる中学生とその保護者、および中学校の先生を対象に「一日体験入学」を開校しました。例年「福島高専を知るチャンス」と好評をいただいている一大イベントで、今年度は2日間で計813名の参加をいただき(昨年度から約20名増。申込者は約 850名)、福島県内はもとより、茨城県や東京都等からも参加をいただきました。いわき市は両日天候に恵まれ、まさに夏真っ盛りといった暑い一日でしたが、参加者の方々はその暑さにも負けず、熱心に各学科会場を見学しておりました。今後は11月6日(土)に、本校学校祭である『磐陽祭』がありますので、今回残念ながら参加できなかった方は、是非磐陽祭にお越しください。事前申込み等はございません。それでは、また次回よろしくお願いいたします。〈詳細は[「入試説明会情報」](#)のページで！〉

[0コメント](#)

第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました

投稿日時: 2010-08-08 10:59:00 : [平成22年度の話題](#)

本校では、8月8日(日)に専攻科棟講義室および物質工学科棟生化学実験室において、第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス)を行いました。(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学生4年生2名、2年生3名、1年生1名)
これは、小さな穴を開けたアルミ薄板を取り付けた箱と印画紙を使って写真を撮るもので、レンズを使っていないとは思えないほどきれいな写真を撮った受講生もいて、写真の原理を学ぶと共に、写真撮影を楽しむことができました。



ピンホールカメラの製作

暗室作業（感光防止のため、赤色光下の作業）

[0コメント](#)

[市民講座「折り紙博士の折り紙講座」を開催しました](#)

投稿日時: 2010-07-31 15:39:06 : [平成22年度の話題](#)

7月31日(土)いわき産業創造館LATOV6階会議室にて、本校主催による市民講座「折り紙博士の折り紙講座」を開催しました。

この講座は、財団法人福島県学術教育振興財団の平成22年度助成対象事業「折り紙を用いた生涯学習事業」の一環として、川崎ローズで世界的に有名な阿南高専の川崎敏和准教授を招き開催しました。

講座には、9歳から71歳までの幅広い年齢層の方約50名が参加し、ひまわりや一分ローズを楽しみながら折り上げました。1枚の紙から立体的な花が作られる瞬間は、大変感動している様子でした。



講座の様子

講師の阿南高専川?教員

[0コメント](#)

[女子学生を対象としたキャリア講演会を開催しました](#)

投稿日時: 2010-07-29 16:00:33 : [平成22年度の話題](#)

本校では、7月29日(木)、1?3年生の女子学生を対象としたキャリア講演会を開催しました。本校女子学生、本校入学を目指す女子中学生、さらには本校で働く女子教職員に対する総合的な支援活動を行う目的で昨年度より始動している「女子総合支援室」の活動の一環であり、今回は本校卒業生の谷地 文枝(やち ふみえ)さんを講師として招き開催しました。

谷地さんは、24年前に工業化学科(物質工学科の前身)を卒業後、日本化成?に入社、現在は同社の技術開発センターで、有機・無機化合物の分析を担当されています。講演では、これまでの仕事の内容や、技術者に必要な素養について話がありました。また、高専での授業がいかに実践性の高いものであったかに触れ、基礎的なことをしっかり勉強することの大切さを後輩たちに伝えました。子供5人の育児と仕事との両立の話など、女子学生の関心も高く、講演後に行なったアンケートにも「聞いてよかった」「今後の参考になった」など、満足の声が多く聞かれました。



講演会会場の様子

講師の谷地さん

[0コメント](#)

[平成22年度 外部研究資金の獲得に関する講演会を開催しました](#)

投稿日時: 2010-07-28 16:05:56 : [平成22年度の話題](#)

福島高専では7月28日(水)、本校の教職員を対象に、国立大学法人茨城大学 工学部 情報工学科 教授 黒澤 馨氏を講師として迎え、科学研究費補助金の獲得を目的とした「平成22年度 外部研究資金の獲得に関する講演会 ?理論研究のための外部資金獲得について?」を開催しました。

講演会は、科学研究費補助金の応募件数及び採択件数の向上を目指して開催されたもので、はじめに、本校奈良 宏一校長から「本講演会が、科研費の採択を目指す皆さんにとって大変有意義なものになるよう期待します。」と挨拶がありました。その後、黒澤教授による講演が行われ、科学研究費補助金への応募することの重要性、制度の仕組みや申請書の書き方など、親切丁寧な説明が行われました。参加した教職員はメモを取りながら聴講し、講師の説明に聞き入っている姿が印象的でした。今回の講演会が、今後の科学研究費補助金獲得増に繋がることが期待されます。



講演会会場の様子

熱心に説明を聞く参加者

[0コメント](#)

学生支援講演会(メンタルヘルス講演会)を開催しました

投稿日時: 2010-07-14 13:46:29 : [平成22年度の話題](#)

本校では7月14日(水)、教職員を対象とした学生支援講演会(メンタルヘルス講演会)を開催しました。学生支援活動の一環として、うつ病の学生に対する教職員の支援を目的としたもので、福島学院大学から心療内科医の星野 仁彦(ほしの よしひこ)教授を講師として招き開催しました。講演では、はじめにうつの特徴や症状例などを説明し、その後、大人にも多いといわれる発達障害とうつとの関係について詳しく説明がされました。参加した教職員は、うつの症状など、自分に当てはめながら熱心に説明を聞いていました。また、講演会後に行なわれた質疑応答では、うつの学生の休学期間など、学生に対する具体的な支援策について活発な意見交換が行われ、関心の高さが伺えました。



講演する星野教授

[0コメント](#)

平成22年度第1回参与会を開催しました

投稿日時: 2010-07-06 14:56:14 : [平成22年度の話題](#)

本校では7月6日(火)、平成22年度第1回参与会を開催しました。参与会は本校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を頂き、自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として開催されています。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には(独)国立高等専門学校機構顧問で北海道情報大学学長の長谷川淳氏が就任しています。今回の参与会では、「第2期中期計画の平成21年度評価と平成22年度計画について」と題し、本校評価担当の青柳校長補佐が前回の参与会指摘事項に対する回答も含め、プロジェクターを使い説明をしました。その後、それぞれの参与から助言・提言等が示され、活発な意見交換がされました。



説明する青柳校長補佐

[0コメント](#)

携帯・ネット安全教室を開催しました

投稿日時: 2010-07-05 14:48:10 : [平成22年度の話題](#)

本校では7月5日(月)に、本科3年生約200名を対象とした携帯・ネット安全教室を開催しました。学生支援活動の一環として、特に携帯電話やインターネットにおける被害意識の向上を図ることを目的としたもので、ドコモサービス東北?から講師として仁瓶 永莉(にへい えり)氏を招き開催しました。講演では、メールがきっかけで起こるトラブルやサイトを通じた「出会い」によるトラブル等について説明が行われました。学生たちは熱心に耳を傾け、あらためて携帯・ネットを利用する際の危険性について再認識しました。



携帯・ネット安全教室の様子
)

[0コメント](#)

心肺蘇生法及びAED講習会を開催しました

投稿日時: 2010-06-30 09:52:08 : [平成22年度の話題](#)

本校では、6月30日(水)に、いわき市消防本部平消防署員の指導のもと、心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の使用方法を習得する講習会を開催しました。この講習会は毎年開催しており、今年も部活動のリーダーやマネージャーあわせて約40名が参加しました。講習では、人工呼吸・心臓マッサージ等の心肺蘇生法及び救急車が到着するまでに現場に居合わせた者と連携して行うAEDを用いた心肺蘇生法について、ダミー人形を使い実技を行いました。救命措置に対する正しい知識・処置方法を身につけ、学校内外を問わず緊急時に、迅速かつ適切な措置をとることができる有意義な講習となりました。



真剣に取り組む参加者

[0コメント](#)

[第22回知能ロボットコンテスト2010に分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループが参加しました](#)

投稿日時: 2010-06-20 14:53:12 : [平成22年度の話題](#)

6月19日と20日に仙台市科学館で行われた、第22回知能ロボットコンテスト2010に分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループの2チームが参加しました。

3年生のチームは、チーム名:堀越くまさんGemini, マシン名:ダイエット蛇腹(物質工学科3年 岩崎真歩, 桑野夏希)で、試走台ではほぼパーフェクトでしたが、競技ではトラブルのため本領を発揮できませんでした。2年生のチームは、チーム名:堀越くまさんRainbow, マシン名:ふみちゃん(物質工学科2年 小林翠, 鈴木彩美, 松?優香, コミュニケーション情報学科2年 笠原渚子)で、高湿度によるトラブルのため惜しくも二次予選9位(8位までが決勝進出)に終わりましたが、3機連携の分業システムがユニークで注目を集め、「アイデア倒れ賞」を受賞しました。この受賞によって、来年の大会で必ず活躍すると決意したようです。また、このマシンは、競技後2台のみ選ばれるデモンストレーション走行に選ばれ、会場の注目を集めました。これらの2台のロボットは、改良の上、8月の体験入学と、11月の磐陽祭で実演する予定ですので、実際にご覧になってください。



「ふみちゃん」競技の様子

「ダイエット蛇腹」のデモの準備



「アイデア倒れ賞」受賞の様子

[0コメント](#)

[いわきアリオス大ホールで「演劇鑑賞会」を開催しました](#)

投稿日時: 2010-06-19 15:37:06 : [平成22年度の話題](#)

本校では6月19日(土)、学生会が主体となり、全学生を対象とした演劇鑑賞会をいわきアリオス大ホールで開催しました。劇団「東京演劇集団風」を招き、演目「Touch 孤独から愛へ」の公演を行いました。今回の演劇鑑賞会は、学生の自立支援や自己啓発を目的とした学生支援プログラムの1つです。演劇を通して思春期に多くの若者たちが経験する悩みや心の成長を追体験させることにより、学生たちに閉塞感や無気力からの脱却を促し、自分自身を見つめ直すきっかけを提供する試みで開催しました。また、生の舞台芸術に触れて得られる感動体験により、学生たちに生きる力と思いやりの心が醸成されることが期待できます。



アリオス大ホール全体の様子



出演者に花束を贈呈

[0コメント](#)

[女子学生対象講習会を開催しました](#)

投稿日時: 2010-06-16 15:11:39 : [平成22年度の話題](#)

本校では6月16日(水)、女子学生約150名を対象とした女子学生対象講習会を開催しました。学生支援活動の一環として、特に女子学生に対して防犯に対する意識の向上を図ることを目的としたもので、地元警察署から少年事件専門の係官を講師として招き実施しました。「犯罪被害防止一明るい明日のために」と題し、身に振るかかる様々な危険について、最近発生した事件・事故の実例等をもとに分かりやすい説明が行われました。女子学生は熱心に耳を傾け、あらためて防犯に対する大切さについて再認識しました。



女子学生対象講習会の様子

[0コメント](#)

感染症予防講習会を開催しました

投稿日時: 2010-06-10 10:09:24 : [平成22年度の話題](#)

本校では6月10日(木)、本科1年生約200名を対象とした感染症予防講習会を開催しました。学生支援活動の一環として、身体の健康管理とその意識の向上を図ることを目的としたもので、婦人科の専門医を講師に招いて実施しました。

講演では、命の大切さについて具体的事例を示し、妊娠のしくみや性感染症の怖さについてパワーポイントを用い、罹患率の年次推移や年齢ごとの感染率等、分かりやすい説明が行われました。学生たちは熱心に耳を傾け、あらためて命の大切さについて再認識しました。



感染症予防講習会の様子

[0コメント](#)

第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう!」を開催しました

投稿日時: 2010-06-06 09:13:17 : [平成22年度の話題](#)

本校では、6月6日(日)に、第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう!」を開催しました。この教室は、いわき市との提携事業であり、毎年開催しているものです。

本年度は、ラジオの声が聞こえなかったり、聞こえても音が小さかったりと、昨年度までにはなかったことが起こりました、最後には、参加者全員が音を聞くことができ、大変感動している様子でした。

なお、今後はこの教室(内容は毎回異なる)を、5回程度実施する予定です。

(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人 タッチ・ザ・サイエンス(高専卒業生が作った科学教室のNPO法人)、担当:物質工学科教員 天野仁司・学生6名)



ラジオ製作の様子



製作したラジオで音を聞く参加者

[0コメント](#)

知的財産(著作権)研修会を開催しました

投稿日時: 2010-06-02 09:25:37 : [平成22年度の話題](#)

去る6月2日(水), 本校で東北大学産学連携推進本部知的財産部長特任教授 塩谷克彦先生を講師として迎え, 「教育・研究における著作権 ?他人の著作権を侵害しないために?」と題して, 教職員を対象とした知的財産(著作権)研修会を開催しました。

本研修会は昨年に引き続き, 仙台高専が中心となって組織している東北地区高専知的財産委員会において, 東北6高専を対象に実施しているものです。

講演後も本校教職員より試験問題の作成や授業で使用するプリントなどに対しての著作権の問題等, 活発な質疑応答が行われました。



講師の東北大学 塩谷先生

研修会の様子

[0コメント](#)

福島高専協力会定期総会を開催しました

投稿日時: 2010-05-27 13:19:16 : [平成22年度の話題](#)

去る5月27日(木), 福島高専において, 福島高専協力会定期総会と協力会会員を対象とする校内施設見学会を開催しました。協力会は, 浜通り地域, 茨城県北茨城市の企業や商工団体で構成されており, 総会には会員や教職員約80名が出席しました。

はじめに, 会長の中山哲夫いわき商工会議所副会頭から「産学官連携の中心として高専の役割は大きくなっており, 今後も活動を支援していきたい。」と挨拶があり, 続いて奈良校長から, 本校の産学官連携推進状況と, 現在高専のおかれている状況について説明がありました。

総会では、産学官連携推進支援、教育研究活動の整備・拡充支援などを内容とする今年度の事業計画等を決定した。総会后、本校一般教科(物理)道上達広教員による、『小惑星探査機「はやぶさ」』についての研究事例発表が行われました。



協力会定期総会の様子



校内施設見学会の様子

[0コメント](#)

[O.G.アドバイザー発足をしました](#)

投稿日時: 2010-05-22 11:04:02 : [平成22年度の話題](#)

本校を卒業したO.G.で組織する「O.G.アドバイザー」の発足会が5月22日(土)に行われ、12名のO.G.が出席しました。

本校では、女子総合支援室が中心となり、女子学生に対するキャリア・進路支援に力を入れています。O.G.アドバイザーは今後、女子学生に対して、キャリアや仕事と子育ての両立等、経験を交えさまざまな質問に回答していただく予定です。



O.G.アドバイザーの皆さん

[0コメント](#)

[平成22年度非常勤講師との教育懇談会を開催しました](#)

投稿日時: 2010-04-28 16:07:24 : [平成22年度の話題](#)

本校では、新規採用の非常勤講師を対象に、本校の教育理念や学習・教育目標の確認、成績評価の方法やFDに関する説明のための春季教育懇談会をこのほど開催しました。懇談会では、初めに教務主事が再試験制度等の規則の改正点についての説明、学生主事が本校の学生支援についての説明を行い、FD委員長及びJABEE専門部会長がそれぞれ関係事項について、説明及び協力依頼を行いました。

引き続き、教育懇談会に移り、教育改善に向けた意見交換と質疑・応答を行いました。非常勤講師からは、規則の改正点についての質問や非常勤講師控室の設備の充実等について要望がありました。

なお、主に後期授業担当の非常勤講師を対象とした教育懇談会を10月にも開催することとしています。



懇談会会場の様子

[0コメント](#)

「新舞子ウォーク」を実施しました

投稿日時: 2010-04-24 16:02:22 : [平成22年度の話題](#)

本校では、4月24日(土)に、学寮主催による1年生の歓迎と寮生全員の親睦を深めるため、いわき市新舞子海岸まで約10kmの遠足を行いました。
 今年の4月は例年になく、雨の日が多く、寒さも厳しく、天候が心配されましたが、スタート時は、前日まで降り続いた雨が上がり、何とか実施にこぎつけました。昼食の後、ボランティア活動として海岸一帯のごみ拾いをし、その後、砂浜でサッカー、借り物競走などのレクリエーションを楽しみました。
 従来「耐久レース」と呼ばれてきたこの行事は、イメージアップを図るため、今年から海岸の名前にちなんで「新舞子ウォーク」と名称変更しました。寮生たちからは通称「新舞子ファイヤー」と呼ばれているなど、寮生たちのファイヤーのような燃えるエネルギーで、寒さを吹き飛ばしていたという感じでした。



レクリエーションを楽しむ寮生

参加した女子寮生

[0コメント](#)

第49回入学式が挙行されました

投稿日時: 2010-04-04 16:26:02 : [平成22年度の話題](#)

第49回入学式及び平成22年度編入学式並びに専攻科入学式が本校第一体育館において行われ、本科学生・専攻科学学生合わせて253名が式に臨みました。
 式では、奈良宏一校長が入学を許可した後、式辞を述べ、本科と専攻科の新入生代表がそれぞれ入学者宣誓を行いました。
 最後に本校吹奏楽部が祝奏及び校歌の演奏を行い、入学を祝いました。





式辞を述べる奈良宏一校長 入学者宣誓を行う建設環境工学科1年の柴崎さん

[0コメント](#)

[「数検」グランプリ金賞\(団体賞\)を受賞しました](#)

投稿日時: 2010-04-01 10:02:53 : [平成22年度の話題](#)

2009年度7月-12月期における「数検」グランプリ金賞(団体賞)を本校が受賞しました。これは、連続して「数検」を受検している団体のうち優秀な成績を収めた団体で、「数検」顕彰評価委員会から認められた団体に贈られる賞です。これを契機に本校での数学の学習活動がさらに高まることが期待されます。

併せて、一般教科数学科の鈴木正樹准教授が優秀な数学指導者に贈られる「生涯学習功労賞 数学部門」を受賞しました。



一般教科数学科鈴木正樹准教授

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=18&start=30>>

本校が山形大学工学部と教育研究交流等に関する協定を締結

投稿日時: 2010-03-29 15:47:51 : [平成21年度の話題](#)

本校(奈良宏一校長)は3月29日(月), 山形大学工学部(大場好弘工学部長)と教育研究交流等に関する協定の締結式を同高専で執り行いました。本校と山形大学工学部は、これまで教職員の交流等を行っていましたが、今回の協定締結は、学生の単位互換等教育に関する事項、教員の研究協力や共同研究の推進等の分野を連携することで、両校の更なる発展と、地域に対する貢献に寄与するものとの考えから合意にいたったものです。協定の内容には学生の相互支援、教育方法の研究などFD研修の共同実施、研究協力・共同研究の推進、教職員の交流、情報交換などが盛り込まれ、今後は相互の学生の単位互換や教員の研究協力、共同研究の実施等が予定されています。

奈良宏一校長は「今回の山形大学工学部様から連携協力締結のお話をいただき、大変光栄に存じます。この連携が真に実のあるものになるよう、今後、学生教育の相互支援や教職員の相互交流などから、連携協力活動を深めていきたい。」と挨拶があり、今後の交流に向けて、期待の高さをみせました。



左:大場好弘工学部長、右:奈良宏一校長

[0コメント](#)

「平成21年度 福島高専モノづくり教育研究支援センター研修会」が実施されました

投稿日時: 2010-03-26 10:13:17 : [平成21年度の話題](#)

毎年開催されています、技術職員の研修会が、今年度は3月10日(水)に行われました。

本研修会は、技術職員による日頃の職務や研究等に関するテーマについて発表と討論

を通じて、技術の研鑽や資質向上を図る場として開催しています。

参加者は福島高専の教職員だけでなく、他高専からも7名の発表者や聴講者の方の参加

され、合計20名を超える形での研修会となりました。

内容としては「実験・実習」、「モノづくり」、「公開講座」、「外部研修会参加」、

「機器分析・維持管理」等、様々なテーマで発表されました。

これらは、成功例だけでなく、失敗談や創意工夫例などもあり、様々な情報交換を共有

する有意義な機会となりました。





研修会の様子

基調講演における質疑応答

[0コメント](#)

本校が広野町と地域連携協力に関する協定を締結

投稿日時: 2010-03-25 15:38:09 : [平成21年度の話題](#)

本校(奈良宏一校長)と広野町(福島県双葉郡, 山田基星町長)は去る3月25日(木), 地域連携協定に係る締結式を広野町役場にて執り行いました。本校が自治体と連携協定を結ぶのはいわき市・小野町に次いで3例目, 広野町が高等教育機関と連携協定を結ぶのは初めての事例になりました。

本協定では, 本校と広野町が教育, 文化, 産業, 健康, 福祉, まちづくり, 自然・環境, 学術研究等の分野で連携・協力し, 相互の振興発展を図ることを目的としています。今後は, 両機関で協力し合いながら, 広野町の学校教育や生涯学習の推進, 地域産業の振興, 地域福祉の充実・向上等の実現に向けた事業を行っていきます。

協定締結にあたり, 奈良校長, 山田町長からはそれぞれ「本校は, 地域に役立つ存在感のある高専を目指して邁進しています。今回の協定締結が, 地域貢献の一環として, 相互の発展に繋がることを期待しています。」「福島高専には, 教育への支援, まちづくりへの企画, 立案, 実施に関してバックアップいただく等, 各方面で協力をいただき, 広野町の更なる発展のため尽力いただきたい。今回の連携が, 広野町の更なる発展に繋がるものと考えています。」という挨拶がありました。

現在, 福島高専は「地域にとって魅力あふれる高専」を目指しており, 今回の協定締結によって, 本校の研究シーズ等が地域に還元されることで産学官連携がさらに進展していくものと期待されています。



右: 奈良宏一校長、左: 山田基星町長

[0コメント](#)

小野町立小野中学校で出前授業を実施

投稿日時: 2010-03-25 11:57:47 : [平成21年度の話題](#)

本校と小野町との提携事業として, 3月16日に浮金小学校で, ロボットの実演と操縦を体験する出前授業を行いました(担当: 物質工学科教授天野仁司, 実演・操縦指導機械工学科学生4年1名、3年2名、2年2名)。授業では, 「ロボットとは何か」ということを知るために, 知能ロボットを使って簡単なセンサ・アクチュエータ及び制御コンピュータの説明を行った後, 今年度の高専ロボットコンテスト出場機の実演と操縦体験を行って, ロボットの世界を楽しみました。





実演の様子

知能ロボット機構の体験

[0コメント](#)

[第5回専攻科終了証書授与式・第44回卒業証書授与式を挙行了しました](#)

投稿日時: 2010-03-25 11:48:48 : [平成21年度の話題](#)

去る平成22年3月18日(木)、第5回専攻科終了証書授与式・第44回卒業証書授与式がいわき芸術文化交流館アリオスにて挙行されました。



修了証書を受け取る修了生

奈良校長による告辞

[0コメント](#)

[平成21年度福島高専参与会を開催](#)

投稿日時: 2010-03-25 11:42:49 : [平成21年度の話題](#)

去る3月11日(木)同校において平成21年度第2回参与会を開催した。この参与会は同校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を行い、同校の自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として平成17年度から開催されている。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には長谷川淳(独)国立高等専門学校機構顧問が就任している。今回の参与会では、「学生支援」をテーマに本校の教育支援活動・国際交流活動等について発表し、それぞれの参与の方々から助言・提言等が寄せられた。



大学教育GPIに関する報告

[0コメント](#)

[福島高専地域フォーラム「専攻科特別研究公开发表会・産学官連携のつどい2010」を開催](#)

投稿日時: 2010-03-25 11:35:13 : [平成21年度の話題](#)

福島高専では去る3月8日(月)、一般企業、自治体、大学、一般市民等を対象とした福島高専地域フォーラム「専攻科特別研究公开发表会・産学官連携のつどい2010」をいわき生涯学習プラザで開催した。平成13年度から続く本イベントも今年で8回目となり、今回は、いわき市、(社)いわき産学官ネットワーク協会、福島高専協力会に共催を、また、福島県いわき地方振興局、小野町、いわき商工会議所等を含む14団体から後援をいただいで開催した。

本年度は「中小企業におけるビジネス拡大のために」をテーマに3部構成で開催した。第1部では専攻科2年生による「専攻科特別研究公开发表会」が行われ、研究内容の成果をポスターセッションで19名の学生が発表した。市民・企業・官庁・保護者等の来場者からの質問に分かりやすく説明するなど、

本校の研究水準の高さと工学からビジネス領域までの幅広い教育・研究内容を十分に理解してもらえた発表会となった。来場者からの投票により選出される最優秀ポスター賞には物質・環境システム工学専攻の久保木裕子さんが選ばれ、奈良宏一校長から表彰状と盾が贈られた。

引き続き行われた第2部では基調講演と専攻科生による口頭発表が行われた。始めに本多電機事業開発・業務管理担当の柴田裕之様から「産業用蓄電池メーカーがエネルギーデバイスへ貢献できること」というタイトルで講演いただいた。専攻科生による口頭発表では各専攻の代表者が発表を行った。第3部では講師を囲み、終始和やかなムードで交流会が行われた。



専攻科特別研究公開發表会の様子

ご講演いただいた柴田裕之氏

[0コメント](#)

[本校が東北工業大学と学術交流及び地域貢献に関する協力協定を締結](#)

投稿日時: 2010-03-15 15:03:21 : [平成21年度の話題](#)

本校（奈良宏一校長）は3月15日（月）、仙台市にある私立東北工業大学（沢田康次学長）と学術交流及び地域貢献に関する協力協定の締結式を同大学で執り行いました。本校と東北工業大学は、これまで共同研究の実施や教員の交流等を進めていましたが、今回の協定締結により、教育・研究の強化や地域貢献の分野において更なる発展に寄与するものと考え合意にいたったものです。協定の内容には研究協力の推進、学生教育の相互支援、地域貢献の推進、情報交換などが盛り込まれ、今後は相互の学生の交流や教員の研究協力、地域貢献を目的とした合同イベントの開催等が予定されています。奈良宏一校長は「今回の協力協定は、学術交流のみならず地域貢献も視野に入れた内容となっている。今後は、相互発展の為連携活動を深めていきたい。」と挨拶し、今回の協定締結に対する期待の高さをみせました。



[0コメント](#)

[小野町立浮金小学校・夏井第一小学校・小野新町小学校で出前授業を実施](#)

投稿日時: 2010-03-09 16:45:27 : [平成21年度の話題](#)

本校と小野町との提携事業として、3月3日に浮金小学校で、3月4日に夏井第一小学校と小野新町小学校で、ロボットの実演と操縦を体験する出前授業を行いました（担当：物質工学科教授 天野仁司、実演・操縦指導 機械工学科学学生4年1名、3年5名、2年1名、電気工学科2年1名）。授業では、「ロボットとは何か」ということを知るために、知能ロボットを使って簡単なセンサ・アクチュエータ及び制御コンピュータの説明を行った後、今年度の高専ロボットコンテスト出場機の実演と操縦体験を行って、ロボットの世界を楽しみました。



天野教授によるロボットの説明 学生によるロボットの实演

[0コメント](#)

[第6回発明発見教室「DNAを取り出そう！！」を開催](#)

投稿日時: 2010-03-09 16:41:30 : [平成21年度の話題](#)

本校では、3月7日に、物質工学科棟C211（旧名：生化学実験室）において、第6回発明発見教室「DNAを取り出そう！！」（主催：福島高専・いわき市）を行いました（指導：物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学学生3年1名、2年1名、1年3名、コミュニケーション情報学科1年1名）。午前には、核や染色体の染色観察でなじみのあるタマネギの細胞を使い、核の遺伝情報に従って細胞が活発に活動をしている様子を観察してから、DNAの巻き取り抽出実験を行いました。午後は、緑色の蛍光蛋白質であるGFPを産生している大腸菌が、染色体DNAの他に、GFPの遺伝子を含むプラスミドDNAを持っていることを、DNAの抽出とアガロースゲル電気泳動で確認しました。





DNAの抽出

電気泳動したDNAの観察

[0コメント](#)

[いわき市立藤原小学校で出前授業を実施](#)

投稿日時: 2010-02-16 11:48:48 : [平成21年度の話題](#)

2月16日(火)に、福島県の理科支援員等配置事業として、いわき市立藤原小学校において、5年生を対象に出前授業を行いました(担当:物質工学科教授 天野仁司)。授業の内容は、「電流のはたらき」に関する電磁石についてでした。実験を行いながら、電磁石の原理と性質や永久磁石の正体を探るもので、世界初のモーターである「ファラデーモーター」のモデルの工作を行い、銅製の導線が磁石の周りを勢いよく回る様子を観察して、電磁石に対する興味を深めました。



説明する天野教授

実験の様子

[0コメント](#)

[本校と東邦銀行が合同で産学連携セミナーを開催](#)

投稿日時: 2010-02-04 16:18:35 : [平成21年度の話題](#)

本校は去る2月4日(木)、東邦銀行と合同で、一般企業等を対象とした合同セミナー「産学連携セミナー『環境』と『ものづくりへの取組』」を、郡山市のホテルハマツで開催しました。これは、本校と東邦銀行との間における連携協定の一環として実施されたもので、当日は県内各地から約160名の参加者が訪れました。

セミナーでは、まず開会の挨拶として本校 奈良宏一校長と東邦銀行 北村清士頭取から挨拶がありました。その後奈良校長による基調講演「Smart Gridは日本経済を活性化できるか？」が行われました。基調講演後の第2部では本校教員の研究シーズ紹介が行われ、機械工学科・電気工学科・物質工学科・建設環境工学科・コミュニケーション情報学科の各学科に所属する教員各1名が、研究シーズや現在実施している研究等を紹介しました。当日は150席用意された座席も満席となり、急遽追加の席が設けられる等大変な盛り上がりを見せ参加者の関心の高さを伺わせました。第3部では講師を囲み、終始和やかなムードで交流会が行われ、大盛況の内に終了しました。

なお、このようなセミナーは今後も開催される予定となっています。



セミナー会場の様子

交流会の様子

[0コメント](#)

[川内村立川内小学校で出前授業を実施](#)

投稿日時: 2010-02-01 17:29:58 : [平成21年度の話題](#)

2月1日(月)に、福島県の理科支援員等配置事業として、川内村立川内小学校において、5、6年生を対象に出前授業を行いました(担当:物質工学科教授 天野仁司)。授業の内容は、「電流のはたらき」に関する電磁石についてでした。実験を行いながら、電磁石の原理と性質や永久磁石の正体を探るもので、世界初のモーターである「ファラデーモーター」のモデルの工作を行い、銅製の導線が磁石の周りを勢いよく回る様子を観察して、電磁石に対する興味を深めました。



実験の様子

説明を聞く小学生達

[0コメント](#)

[本校建設環境工学科4年生がパテントコンテストで表彰](#)

投稿日時: 2010-01-29 13:22:45 : [平成21年度の話題](#)

平成22年1月29日(金)に、霞山会館(千代田区霞ヶ関)で文部科学省・特許庁などが主催する平成21年度パテントコンテストの表彰式が行なわれ、本校建設工学科4年生の大久保洋輝さんが高専の部で表彰を受けました。発明の名称は「掃除がしやすい椅子と机」であり、学生特有の悩みを解決したものです。今年度の高専の部で表彰されたのは4件で、特許出願までの費用がサポートされます。



[0コメント](#)

[「第15回高専シンポジウムinいわき」が開催されました](#)

投稿日時: 2010-01-24 13:13:34 : [平成21年度の話題](#)

第15回高専シンポジウムinいわきが、1月23日（土）に、高専シンポジウム協議会及び福島高専が主催となり、いわき市文化センター及びいわきワシントンホテルで開催されました。今回のシンポジウムには、北は苫小牧高専から南は鹿児島高専まで、全国から約400名の参加があり、研究発表件数は口頭発表211件、ポスター発表88件で、合計299件の発表がありました。研究発表した学生たちは、専門分野の各学会での研究発表に向けて、大変良い経験ができました。また、会場では、活発な意見交換がなされ、大いに盛り上がりました。

開会式にはシンポジウム協議会顧問・久留米高専特命教授 鳥井照美先生と国立高専機構林理事長から挨拶をいただき、特別講演は「TwoFailSafeへの挑戦国際宇宙ステーション実験棟「きぼう」を支えるチーム活動」と題して、元JAXA（宇宙航空研究開発機構）信頼性推進評価室員で、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」チーフエンジニア山形史郎氏と、「新産業革命の中における新素材開発とは」と題して株式会社クレハ 常務執行役員 研究開発本部本部長紫垣 由城氏より各々講演をいただきました。会場では一般市民を含む多くの聴講者が熱心に耳を傾けていました。



国立高専機構林理事長



元JAXA(宇宙航空研究開発機構)山形史郎氏



株式会社クレハ 紫垣由城氏

[0コメント](#)

[林国立高専機構理事長が本校を訪問](#)

投稿日時: 2010-01-22 13:04:58 : [平成21年度の話題](#)

国立高専機構の林勇二郎理事長が1月22日(金)に本校を訪問しました。奈良宏一校長から本校の概要説明を受けた後、学内を視察しました。

学内の視察では、各学科棟や学生寮、各センター等について、担当教員から説明を受けながら見て回りました。時折、実習する学生に声をかける場面もありました。

視察後、教職員を対象に、「高等教育における高専の役割と期待」と題した講演会を開催しました。



学内視察の様子



講演会の様子

[0コメント](#)

[本校建設環境工学科5年生が技術業務報告会で優秀賞を受賞](#)

投稿日時: 2010-01-20 14:56:11 : [平成21年度の話題](#)

1月20日(水)、いわき市産業創造館(ラトブ)で開催された「浜通り管内技術業務報告会」(主催:国土交通省磐城国道事務所)で、本校建設環境工学科5年折笠允紀さんが優秀賞を受賞しました。本校の学生が優秀賞を受賞するのは2年連続の快挙です。

同報告会は国土交通省、福島県、いわき市、東日本高速など浜通りの行政関係機関が、技術力の向上と事業の効率的・効果的な実施に向けた取り組みを図ることを目的に開催しています。折笠さんの発表論文は「コンクリートのリサイクルに関する静的破碎剤の適応研究」で、建設現場で発生するコンクリートの廃材をいかに静穏に、かつ経済的に破碎できるか研究し、実大実験で確認したものです。社会人の技術者に混じって堂々と発表し、見事、優秀賞を獲得しました。



授賞式の様子(写真中央:折笠さん)

[0コメント](#)

[第5回発明発見教室「細木で橋をつくろう」を開催](#)

投稿日時: 2010-01-17 10:17:12 : [平成21年度の話題](#)

本校では、1月17日(日)に、本校専攻科棟および建設環境工学科棟において、第5回発明発見教室「細木で橋をつくろう」(主催:福島高専・いわき市)を行った。(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質・環境システム工学専攻学生2年1名、物質工学科学学生1年2名、コミュニケーション情報学科学生1年1名)
これは、橋の形をデザインし、実際にバルサ材の細木と薄いプラスチック板でその形の橋を製作するもので、どのような形が最も荷重に耐えられるか、耐力破壊試験を行って確かめた。参加者は、折れやすいバルサ材でも、橋のデザインによっては何キログラムもの重りに耐えることや、力に耐えるデザインが実際の橋に生かされていることを知ることができた。



デザインの説明を聞く参加者

耐力実験の様子

[0コメント](#)

[いわき市立田人第一小学校で出前授業を実施](#)

投稿日時: 2010-01-14 14:23:13 : [平成21年度の話題](#)

1月14日(木)に、福島県の理科支援員等配置事業として、いわき市立田人第一小学校において、5, 6年生を対象に出前授業を行った(担当:物質工学科教授 天野仁司)。
「電流のはたらき」に関して、実験を行いながら、電磁石の原理と性質や永久磁石の正体を探るもので、最後に世界初のモーターである「ファラデーモーター」のモデルの工作を行い、銅製の導線が磁石の周りを勢いよく回る様子を観察して、電磁石に対する興味を深めた。



授業の様子



ファラデーモーター

[0コメント](#)

普通救命講習会を開催

投稿日時: 2009-12-24 15:57:40 : [平成21年度の話題](#)

本校では、平成21年12月24日(木)に、いわき市消防本部平消防署署員の指導のもと、心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の使用方を習得する普通救命講習会を開催した。昨年6月には、学生を対象した講習会を実施しており、今回は教職員を対象とし、21名が参加した。

講習では、人工呼吸・心臓マッサージ等の心肺蘇生法及び救急車が到着するまでに現場に居合わせた者と連携して行うAEDを用いた心肺蘇生法について、ダミー人形を使い実技を行った。

今回の救命講習会により、救命措置に対する正しい知識・処置方法を身につけ、学校内外を問わず緊急的に、迅速かつ適切な行動をとることができる有意義な講習となった。



[0コメント](#)

第4回発明発見教室「光るクリスマスツリーをつくろう」を開催

投稿日時: 2009-12-20 13:27:27 : [平成21年度の話題](#)

本校では、12月20日(日)に、いわき市産業創造館ラトブにおいて、第4回発明発見教室「光るクリスマスツリーをつくろう」(主催:福島高専・いわき市)を行った。(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学生1年5名、コミュニケーション情報学科学生1年1名)

これは、蓄光と蛍光の科学を体験し、蓄光材を用いた、暗所で光るクリスマスの置物をつくるもので、身近なものに蓄光材や蛍光材がつかわれていることを知り、工作を楽しむことができた。



製作の様子

実験の様子

[0コメント](#)

第2回先端ものづくりチャレンジ2009で特別賞を受賞

投稿日時: 2009-12-13 17:30:37 : [平成21年度の話題](#)

12月13日(日)に千葉工業大学の津田沼キャンパスで行われた、第2回先端ものづくりチャレンジ2009イン習志野 競技部門 知能ロボット競技で、分子生物学愛好会のロボット(ロボット名:蛇腹、チーム:堀越くまさん Gemini 物質工学科2年 岩崎真歩、桑野夏希、指導教員:物質工学科 天野仁司)が、特別賞を受賞した。



競技の様子

[0コメント](#)

モノづくり教育研究支援センター公開講座「液晶テレビのふしぎ?しくみを調べる装置を作ろう?」

投稿日時: 2009-12-07 17:36:47 : [平成21年度の話題](#)

去る12月5日(土)専攻科1階の第1講義室にて、モノづくり教育研究支援センター主催の公開講座「液晶テレビのふしぎ?しくみを調べる装置を作ろう?」が行われました。

本講座では厚紙を切り貼りしながら偏光フィルタを2枚組み合わせた装置を参加者に作ってもらい、原理を理解してもらうための小実験を行いました。受講者の皆さんは気づいたことを互いに話し合いながら小中学生に親御さんを交え和やかに講座が行われました。



拡大鏡で液晶テレビをのぞき込む



記念撮影

[0コメント](#)

[ふくしま環境・エネルギーフェア2009でスターリングエンジン製作教室を開催](#)

投稿日時: 2009-12-05 16:38:00 : [平成21年度の話題](#)

ビッグパレットふくしまで開催された「ふくしま環境・エネルギーフェア2009(12月5, 6日)」で篠木政利准教授や学生たちがスターリングエンジン製作教室を開いた。集まった子供達は、はじめにスターリングエンジンについて説明を受けた後、熱心に模型エンジンを製作した。今回は子供達やその保護者に「身に付けよう、エコぐせ。」というテーマで環境に優しいスターリングエンジン教室を開いたが、苦勞して製作したスターリングエンジンが動くと歓声が上がり、環境に対する興味と共にモノづくりに対する興味を持ってもらえたようだ。この様子は12月20日(日)の福島中央テレビ「おしえて! うつくしま」において、一部放映される予定である。



熱心に説明を聞く参加者

教室の様子

[ふくしま環境・エネルギーフェア2009で環境啓発ロボットを実演](#)

投稿日時: 2009-12-05 16:21:39 : [平成21年度の話題](#)

12月5, 6日にビッグパレットふくしまで行われた、ふくしま環境・エネルギーフェア2009で、ロボット技術研究会の学生たちが、高専ロボコンのロボットを改造した、環境啓発ロボットの実演と、操縦体験を行った。これは、超学際的研究機構 福島県地球温暖化防止活動推進センターの依頼で、温暖化防止の意識向上につながるロボットの実演を行ったものである。ごみの回収や、自然エネルギーの利用を啓発したほか、会場ではロボットの操縦も体験でき、多くの来場者にロボットを楽しんでいただいた。



環境啓発ロボットの実演

操縦体験の様子

[0コメント](#)

[劇場映画「袴田事件」の映画撮影に協力](#)

投稿日時: 2009-11-25 13:54:34 : [平成21年度の話題](#)

本校では、11月22日(日)、25日(水)の両日、いわき市活性化事業の一環として、高橋伴明監督、主演:萩原聖人さん、共演:岸部一徳さんによる、劇場映画「袴田事件」の映画撮影に協力しました。この映画は昭和の「冤罪事件」として、現在再審請求中の事件を取り上げた映画で、本年から施行された「裁判員制度」にもつながる内容であり、最後のシーンで、萩原聖人さん演じる法学部教授が、教壇を去る際「裁く者は、必ず裁かれることを、覚えておいて下さい。」と言うセリフが印象的でした。

11月22日(日)は、本校の学生もエキストラとして、萩原聖人さん演じる大学法学部教授の講義を受ける学生役で参加しました。

当日は、朝の9時から撮影が開始され、午前11時過ぎごろまで行いました。学生たちは、少し緊張した表情で、映画スタッフの演技指導にも、積極的に参加し、NGもなく、本番一発OKで撮影が終了しました。

その後、視聴覚室に場所を移して、高橋監督、萩原聖人さんを囲んでの懇談会を行いました。学生からは、さまざまな質問があり、和気あいあいムードの中、高橋監督、萩原聖人さんがユーモアを交えて答えられておりました。高橋監督が、「映画監督」になったきっかけや、萩原聖人さんが、俳優になるきっかけなど、エピソードを交えて、学生に話されていたことが、印象的でした。学生たちは、興味津々に聞いておりました。

また、11月25日(水)は、撮影場所を、研究室に移して、萩原聖人さん(弁護士役)と岸部一徳さん(大学の心理学教授役)による、撮影が行われました。

今回の映画撮影体験が、今後の学生生活及び進路等に役立つ結果となれば、良いと思います。



萩原聖人さん(中央)演じる大学教授役と、本校学生エキストラの様子



懇談会での質疑応答の様子(中央、左が高橋監督、右が萩原さん)

[0コメント](#)

[「建設系企業と福島高専との懇談会」設立総会を開催](#)

投稿日時: 2009-11-18 17:25:49 : [平成21年度の話題](#)

「建設系企業と福島高専との懇談会」設立総会が、平成21年11月18日(水)の土木の日に、市内建設業関係者約40名、本校教職員10名の参加のもと、福島高専において盛大に開かれた。総会では、事業計画、規約が承認され、会長にはいわき市建設業協同組合の太田理事長が選任された。本年度の人材育成事業として、建設系技術者の技術力向上を図るために、福島高専教員を講師とする「建設系技術者支援講座」を2回にわたり開催することとした。第1回目は、「コンクリートのひび割れについて」(講師:緑川猛彦准教授)、第2回目は、「建設マネジメントのあり方」(講師:金子研一教授)。



挨拶をする奈良宏一校長

[0コメント](#)

[磐陽寮で防災訓練を実施](#)

投稿日時: 2009-11-18 15:27:29 : [平成21年度の話題](#)

去る11月18日(水)、本校磐陽寮(学生寮)において、秋の防災訓練を実施した。これは春に行われた新寮生を対象に実施した防災訓練に引き続き行われたもので、今回は全寮生195名を対象として行われた。当日は、避難訓練から行い、訓練火災発生の放送後、全寮生が自室より寮庭まで整然と避難することができ、その後の人員確認も迅速に終了することができた。その後、全寮生を対象とした消火訓練を行った。火災時の心構えと対応、消火器の操作方法について、寮務主事補から説明を受けた後、6名の代表寮生が消火器を使用し、実際の消火を体験した。これらの訓練を通して、寮生は、火災の恐ろしさと緊急時の速やかな対応の重要性を改めて認識している様子だった。





[0コメント](#)

[第16回東北地区高等専門学校文化部発表会で絵画部門、写真部門ともに特選を受賞](#)

投稿日時: 2009-11-16 16:37:08 : [平成21年度の話題](#)

第16回東北地区高等専門学校文化部発表会が本校主管で実施されています。

作品の展示は本校(11月10日?16日)を始めに、東北地区各高専を移動する方法で2月初旬まで行われています。展示初日には、出展された絵画部門75点、写真部門50点の審査が行われました。本校の作品は審査員から高い評価を受け、特選はいずれも本校の作品が受賞となりました。絵画部門の特選受賞が2年連続、写真部門は3年連続の受賞となります。入選を含めた受賞者は次の通りです。

【絵画部門】

特選「静物着彩(1)」 5年コミ 佐々木さん

【写真部門】

特選「魂こめて」 5年機械 佐藤さん

入選「圧巻」 3年建設 加藤さん

入選「翠露(すいろ)」1年物質 伊藤さん

入選「熱情」 1年物質 大家さん





[0コメント](#)

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」に採択

投稿日時: 2009-11-11 11:10:38 : 平成21年度の話題

本校提案のプログラム『異学年協働によるループ型創造性実践教育』＝エンジニアリングデザイン能力を生かした市民に役立つモノづくり教育＝は、異学年が協働したモノづくりを通して、学生の実践的創造性能力およびエンジニアリングデザイン能力を育成するものです。これは、経験の浅い低学年生に対して高学年生が経験談を講話し指導することで、従来のモノづくり教育の課題であった完成度を向上させることが可能となります。これは、高学年生が低学年生を指導するSA教育体制を構築することが出来ます。また、全学年の学生が関わることで、P,D,C,Aを体験することが可能となり、モノづくりのループ型教育体制が機能し、実践的で社会貢献可能な教育システムの構築が実現される予定です。

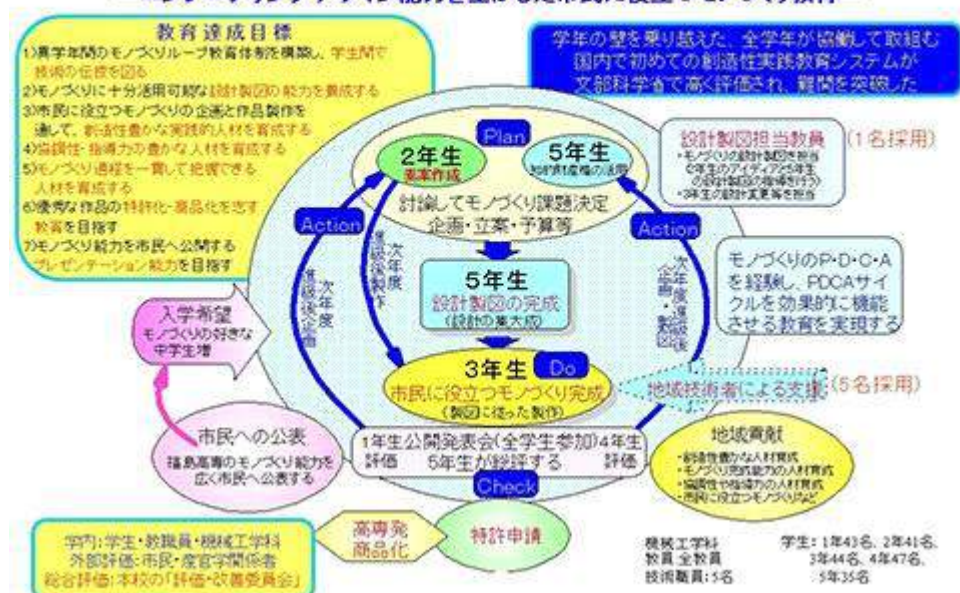
なお、このプログラムは副校長(企画・図書・情報担当) 機械工学科 佐東信司教授が担当しております。

平成21年度 大学教育・学生支援推進事業

大学教育推進プログラム採択

機械工学科での「異学年協働によるループ型創造性実践教育」

＝エンジニアリングデザイン能力を生かした市民に役立つモノづくり教育＝





[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=17>>

磐陽祭が開催されました

投稿日時: 2009-11-08 14:10:30 : [平成21年度の話題](#)

11月7日(土)磐陽祭(高専祭)が開催されました。
今年から「磐陽祭」と名前を改め、新たなスタートとなりましたが、
大盛況のうちに終了することができました。
たくさんのご来場、誠にありがとうございました。





[0コメント](#)

参与会を開催しました

投稿日時: 2009-10-22 15:51:20 : [平成21年度の話題](#)

10月22日(木)、本校において平成21年度参与会を開催した。この参与会は本校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を行い、同校の自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として平成17年度から開催されている。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には今年度から長谷川淳(独)国立高等専門学校機構顧問が就任した。

今回の参与会では、「第1期中期計画結果と第2期中期計画について」と題し、前回の参与会指摘事項に対する回答と第1期・第2期中期計画について本校評価担当教員が説明し、それぞれの参与から助言・提言等が示され、活発な意見交換がされた。



参与会会場の様子

[0コメント](#)

いわき地区高等学校写真展で準特選を受賞

投稿日時: 2009-10-21 16:13:30 : [平成21年度の話題](#)

10月19?21日に、いわき市文化センターでいわき地区高等学校写真展が開催されました。それにともない、写真のコンテストが実際され、福島高専は、準特選1点、入選4点が賞を頂きました。作品数も地区最多の46点と、学生の活発な取り組みが結果として出てきました。

高専祭でも、多くの写真を展示しますので、ぜひみにきてください。

準特選

光輝(こうき) 1C 伊藤

入選

緑の風を受けて(みどりのかぜをうけて) 3K 加藤

放課後(ほうかご) 1C 大家
壮観(そうかん) 3K 加藤
秋色(あきいろ) 2C 栗林

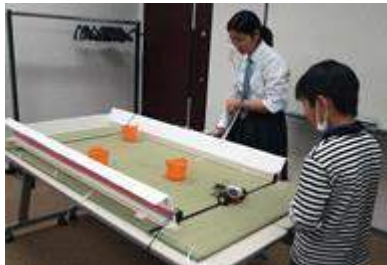


[0コメント](#)

[第3回発明発見教室「ロボコンJr.」を開催しました](#)

投稿日時: 2009-10-18 15:27:44 : [平成21年度の話題](#)

本校では、10月18日(日)に、いわき市産業創造館ラトブにおいて、第3回発明発見教室「ロボコンJr.」(主催:福島高専・いわき市)を行った(指導:物質工学科教授 天野仁司、物質工学科学学生1年生3名、2年生3名)。これは、メカトロで遊ぶ会が開発したロボット「梵天丸」を、ひらがなと数字で記述するプログラムによって制御するもので、プログラミングの指導と「ジャストストップ」および「缶迷路」の2種の競技を行った。本校のオリジナル競技である缶迷路では満点が出るなど、競技の考案と指導を行った本校の学生も、小中学生のレベルの高さに驚く結果だった。



説明をうける参加者

競技の様子

[0コメント](#)

[科学研究費補助金の獲得に関する講演会を開催](#)

投稿日時: 2009-10-07 10:26:17 : [平成21年度の話題](#)

本校では教職員を対象に、科学研究費補助金の獲得を目的とした「外部研究資金の獲得に関する講演会」を、去る10月7日(水)、国立大学法人茨城大学工学部知能システム工学科の馬場 充教授を講師に迎えて開催した。

今回の講演会は、全教職員を対象に、科学研究費補助金の応募件数及び採択件数の向上を目指して開催されたもので、初めに奈良宏一校長から「本講演会が、科研費の採択を目指す皆さんにとって大変有意義なものになるよう期待します。」と挨拶があった。その後、馬場教授による講演が行われ、科学研究費補助金への応募することの重要性、制度の仕組みや採択状況、審査の流れや仕組みなど、親切丁寧な説明が行われた。参加した教職員はメモを取るなどしながら聴講し、講師の説明に聞き入っている姿が印象的であった。今回の講演会が、今後の、科学研究費補助金獲得増に繋がることが期待される。



[0コメント](#)

[藤間中学校2年生6名が体験学習のため来校](#)

投稿日時: 2009-10-07 10:18:17 : [平成21年度の話題](#)

10月7日(水)、いわき市立藤間中学校の2年生6名が「1日体験学習」のため来校した。体験学習とは、学校教育の一環として、総合的な学習の時間の中で1日体験活動を行うものである。第2学年では、市内の高校・大学に1日体験入学をし、実際の見学・体験を通して、各学校についての情報を集め、今後の進路選択に生かすために行われる。

一行は10時から、高専制度や本校の概要について担当教員の説明を受けた。中学2年生6名は高専の特色や各専門学科の学習内容、卒業後の進路について、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。その後、活発な質疑応答が行われた。

10時50分より12時まで施設見学を行い、専門学科の実験室では卒業研究を行っている5年生から丁寧な説明を受けた。短時間だったが、有意な体験学習になった。



熱心に説明を聞く学生たち

[0コメント](#)

全国高等専門学校ロボットコンテスト東北地区大会に出場しました

投稿日時: 2009-10-04 15:35:16 : [平成21年度の話題](#)

10月4日に鶴岡市小真木原総合体育館において、高専ロボットコンテスト東北地区大会が行われた、本校からは、Aチーム（マシン名Red Beko）とBチーム（マシン名Hula舞）が出場し、合わせて3つの賞を獲得したが、全国大会出場権は獲得できなかった。しかし、短い製作時間の中、アイデア披露やエキシビションで会場を沸かせることができるロボットを製作した学生たちは、未熟かもしれないが、精一杯頑張ったといえる。この経験を活かして、ぜひ来年の大会では、全国大会でアイデアを披露できるロボットを製作して欲しい。なお、出場ロボットは、今後いろいろなイベントに出る予定となっており、機会があればぜひご覧いただきたい。



Aチーム:Red Beko Bチーム : Hula舞

[0コメント](#)

公開講座「ルービックキューブで遊ぼう」

投稿日時: 2009-09-15 16:50:05 : [平成21年度の話題](#)

9月5日(土)、12日(土)の2日間にわたって数学科を中心に主催された公開講座「ルービックキューブで遊ぼう」が行われました。今年度は保護者を含め20名の方々にご参加いただきました。この公開講座では2*2*2のルービックキューブを扱うもので、今年度で4度目となります。今年度は受講対象を広げ、中学生だけでなく小学生も参加できるようになりました。

昨年度の島袋研究室で第2学年で行われているミニ研究で、一面完全完成法にしぼった図中心のテキストができあがりました。今年度の講座では従来のテキストにこのテキストを組み入れ、

第1日目

1. 学生がルービックキューブを解くようすをデモ
2. 一面完全完成法

第2日目

3. 回転公式および演習問題
4. 二面完全完成法
5. 実際のルービックキューブで練習

という順番で行われました。

2. 3では、昨年度までは講師が教卓でルービックキューブをかざしながら回転させる様子を見せていたため、受講者からは手を見失うことがありました。

講義の中では、他のピースの位置と向きをかえずに2つのピースの位置や向きだけを入れ替えたりする、何手にもわたる回転公式も説明します。

受講者が回転公式を練習するとき、どこまで適用したかを忘れてしまうことがあり、そのつど補助学生がもとに戻していました。

今回はPC上でルービックキューブを3DCG表示するプログラムを用いることで、やりなおしがいつでもできるようになり、2. 3. の説明がしやすくなりました。



最後に成果を確かめるべく、ストップウォッチ付きの青いスタックマット上でルービックキューブを解いてもらいました。どの受講生も2分程度で解けるようになりました。



講義の中では、ルービックキューブの色の配置について、ありえない状態についても数学的に説明し、テキスト中に掲載されている回転公式のみで、いかに崩れたルービックキューブも解くことができることも解説しました。ルービックキューブの色配置の組み合わせ総数がいくつあるか、最大で何手あればすべてのルービックキューブの崩れた配置を元に戻せるかを算出するにも、数学が力を発揮します。

ルービックキューブという楽しいパズルを通して、今後も数学に親しみ、興味をもって取り組んでいただけたらうれしいです。

[0コメント](#)

[久之浜中学校1年生22名が訪問学習のため来校](#)

投稿日時: 2009-09-03 09:33:47 : [平成21年度の話題](#)

9月3日(木)、いわき市立久之浜中学校の1年生22名が訪問学習のため本校に来校した。訪問学習は、総合的な学習時間の一環であり、各自が興味関心に基づいて上級学校を調べ、将来を見つめ進路計画を立てるために行われている。

一行は9時から、本校の概要について担当教員の説明を受けた。高専の特色や各専門学科の学習内容、卒業後の進路についてメモを取りながら熱心に耳を傾けていた。その後、活発な質疑応答がなされた。

9時50分より1時間程、施設見学を行い、専門学科の実験室では技術職員や卒研生から丁寧な説明を受けた。ロボット技術研究会では、製作中の二足歩行ロボットを見ることができ、目を輝かせていた。夏季休業中のため授業の見学はできなかったが、実りある訪問学習になった。



ロボットを見学



全員で記念撮影

[0コメント](#)

いわき市発明発見教室「手作りモデルロケット製作教室」を開催

投稿日時: 2009-08-01 15:48:32 : [平成21年度の話題](#)

本校では8月1日(土)に、本校未来科学研究会IGNITIER(イグナイティア)によるいわき市発明発見教室「手作りモデルロケット製作教室」を開催した。

この発明発見教室は、いわき市内で学ぶ小中学校の児童生徒に、ものづくりの楽しさ・面白さを体感させ、身近な現象などの疑問を解決する場を提供することを目的として毎年開催している。

今年で4回目を迎えた本教室には、市内の小中学生とその保護者32組70名が参加した。午前中は、モデルロケット工学や安全な取扱いなどの座学及び確認テストとロケット・キット製作実習を、午後は、打ち上げ前の安全確認及び打ち上げ実習を行った。今回、新しい試みとして、プログラムや電子機器にも興味を持ってもらえるよう、携帯ゲーム機を使って確認テストを実施した。

当日は天候にも恵まれ、参加者が製作したロケットが次々と大空へ吸い込まれるたびに、グラウンドには大きな歓声が響き渡った。

担当した三浦教員及び学生は「楽しみながら学んでもらうことを心掛けた」といい、本教室終了後も、参加者や保護者から多くの質問を受けるなど充実したものとなった。

[0コメント](#)

第4回中学生プログラミングコンテスト

投稿日時: 2009-08-01 14:20:14 : [平成21年度の話題](#)

8月1日(土)福島高専コミュニケーション情報学科棟2Fの情報コミュニケーション演習室にて、第4回中学生プログラミングコンテストが行われました。

今回は6チームの参加でした。

3人以内でチームを組み、10進BASICで20の小問題を2時間で解いていき、つくったプログラムは即採点者にメール添付で送り、採点者はその場でプログラムをチェックして即座にスクリーンにチームの点数を表示するので、採点者はなかなか忙しいのですが、毎年白熱した試合を繰り広げていただいています。

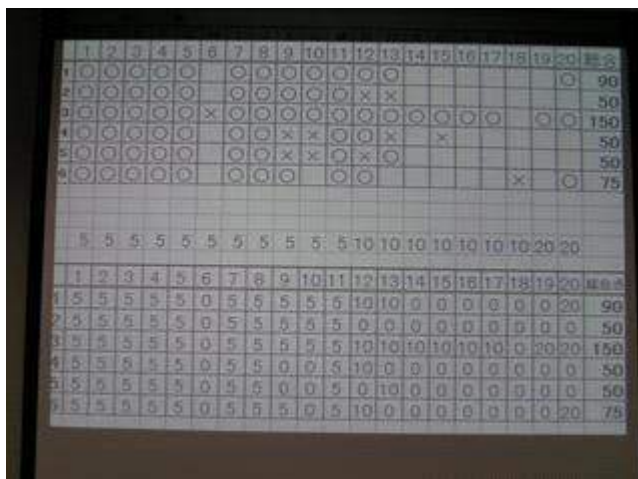
1位はチーム「トラブリュウ」が165点満点中150点という、本コンテストはじまって以来の最高得点をおさめ、

初級1問、中級1問をのぞいてすべて正解してくれました。

2位は「赤井中学校」で90点、3位は「strife」で75点、残りは3チームとも50点の同点4位でした。

参加した6チームともすべて最初の初級5問はすべて正解してくれました。
先週の公開講座「中学生のためのプログラミング入門」でも受講生の皆さんは例年にもましてとても優秀だったのですが、
地道にコツコツ解いていく、論理的思考力や集中力の強い参加者たちばかりでした。

中学卒業後も非常に楽しみな方たちでしたので、これからもがんばってほしいと思います。
プログラム解答例は[こちら](#)です。



[0コメント](#)

[情報センター公開講座「中学生のためのプログラミング入門」](#)

投稿日時: 2009-07-27 10:04:07 : [平成21年度の話題](#)

7月25日(土)、26日(日)に毎年恒例の情報センター公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が行われました。

十進BASICによるプログラミング講座で、今年はプログラミング愛好会学生に講義を担当してもらいました。40人の中学生たちで、情報センター基礎演習室は楽しくにぎわいました。

今年度は受講生たちが熱心でタイピング能力、プログラミングの理解力が非常によく、愛好会学生たちもスムーズに指導することができました。

公開講座のテキスト内容は2日目の午後はじめには余裕を持って終わり、終盤のフラクタル図形を含めたグラフィックスをじっくり楽しんだあと、

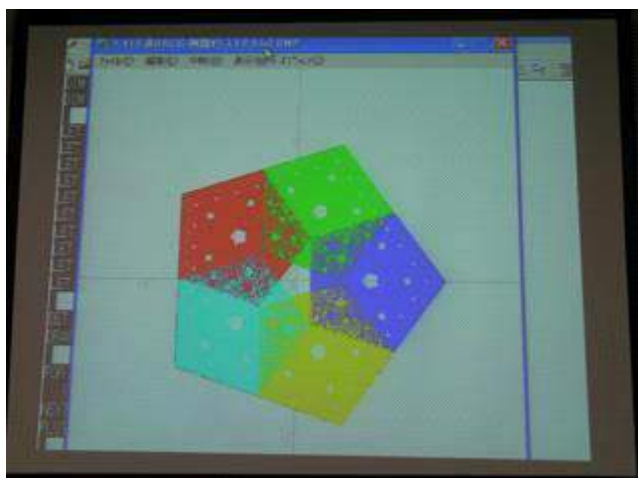
8月1日(土)中学生プログラミングコンテストに向け、昨年度の問題を演習として解いてもらい、回答プログラムをメール添付で提出する練習をしました。

今回の公開講座は中学生にとっても、指導をしたプログラミング愛好会学生にとっても、とてもよい勉強になったと感じます。

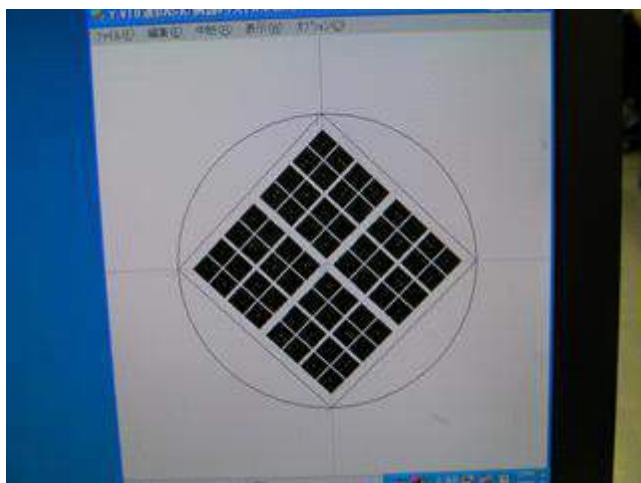
引き続き8月1日(土)中学生プログラミングコンテストに向け準備を進めて参りますので、報告を楽しみにお待ちしております。



プログラミング愛好会学生による指導のようす



フラクタル図形



家紋！？よくできました！



活発さが伝わってくる集合写真です

[0コメント](#)

[モノづくり教育研究支援センター「犯罪捜査にチャレンジ！！?犯罪捜査に使われる科学?」](#)

投稿日時: 2009-07-18 17:00:00 : [平成21年度の話題](#)

7月18日(土)に、モノづくり教育研究支援センターによる公開講座が行われました。テーマは、「犯罪捜査にチャレンジ！！?犯罪捜査に使われる科学?」で、午前中は犯罪捜査に関わる化学実験各40分3セクション、午後は電気工学的な製作を2時間で1セクション行われました。

以下、各セクションの報告です。

?午前 化学実験?

1. ルミノール反応 -化学発光と血痕検出-

犯罪現場に残っている「血痕」を見つけ出すための簡単な方法としてルミノール反応があります。血液中のヘモグロビンという成分に含まれる鉄とルミノールという薬品が反応して光するという反応です。実験では、実際にルミノール反応を体験してもらった他に擬似血痕を用いて血痕を判別したり、ブラックライトを用いたビタミンB2の発光現象についても体験してもらいました。栄養ドリンクや蛍光ペン、紙幣などにブラックライトを当ててみると、光を発することに参加した小中学生は非常に驚いていました。また、ルミノール反応では、反応によって生じる青白い光に参加者の皆さんが「きれい」と歓声を上げていました。



2. 指紋検出

指紋の検出は、人の皮膚からしみ出す脂肪に反応する試薬を利用することで、指紋を目に見える状態に変化させるという実験です。まず自分の指紋を採取する実験を行い、次に、紙に隠された指紋を浮かび上がらせ、別紙に示された指紋の中から一致するものを探す実験（犯人当て）を行うという構成をとりました。受講者たちは、ヨウ素の昇華やニンヒドリン溶液の鮮やかな発色など、初めて見る物質とその変化の様子に見入っていたようです。特に犯人当てに熱心に取り組む姿が見られ、明瞭に指紋が検出されるまで実験を繰り返し、最終的に受講者のほぼ全員が正解しました。



3. ペーパークロマト

犯罪捜査では一見何も見当たらないような現場から証拠を集めます。例えばペン書きのメモが残されていた場合、どのペンで書かれていたのかが手掛かりとなります。今回は黒い水性サインペンを数種類用意し、そのうちの1本で印をつけた「ろ紙」を配り、これがどのペンで書かれているのかを参加者が当てる実験を行いました。黒いインクはペンの種類により含まれている色が異なります。インクを水でにじませるペーパークロマトグラフィーという方法を使うことにより「黒」に含まれている色を調べることができます。慎重に操作をし、ほぼすべての参加者が正解できました。また、同じ手法でインクを混ぜて再び分ける実験も行いました。



午後 ?うそ発見器の製作?

人間はその時の体調や汗のかき具合によって、電気抵抗がつねに変化します。うそをついたりすると、ひや汗が出て、このような時も皮膚の電気抵抗が変化します。これらを探るため、トランジスタを用いた回路により、その変化具合をレベルメーターで確認できる簡易うそ発見器の制作を行いました。手の大きさの関係で、工具を持ちにくい小学生もいましたが、技術職員や親御さんで作業を補助しながら、がんばってつくってもらいました。初めての経験でありながら、半田付けは楽しそうに取り組んでくれ、全員完成させることができました。



[心肺蘇生法及びAED講習会を実施](#)

投稿日時: 2009-06-24 10:04:23 : [平成21年度の話題](#)

平成21年6月24日(水)に、いわき市消防本部救急隊から講師を招いて、心肺蘇生法及び自動体外式除細動器(AED)の使用法の講習会を開催した。当日は、部活動のリーダーやマネージャーを中心に教職員を含め42名が参加した。

参加者は救急隊員の指導により、ダミー人形を使った心肺蘇生法及びAEDを使用した緊急時の対応について実技を行った。

今回講習を受けたAEDの本校での設置個所は、これまで保健室と学寮事務室、体育教員室に設置していたが、土日祝日等24時間対応できるよう第1体育館玄関と寮食堂、正面玄関に場所を移す予定となっている。今後、教職員を対象とした”普通救命講習会”及び寮生を対象とした同様の講習会を計画している。



真剣に取り組む参加者

[0コメント](#)

[第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう!」を開催](#)

投稿日時: 2009-06-07 09:40:29 : [平成21年度の話題](#)

福島高専では6月7日(日)に、いわき市との提携事業である本年度第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう!」を開催した。参加者は全員、自分で作ったラジオで音楽や音声を聞くことができ、大変感動している様子であった。また、十分に科学技術の楽しさを実感できたようだった。

なお、今後はこの教室(内容は毎回異なる)を5回程度開催する予定である。

(主催:福島高専・いわき市 担当:物質工学科教員 天野仁司、当学科学生4名)



教室の様子



製作したラジオで音を聞く参加者

[0コメント](#)

[東邦銀行支店長を対象とした勉強会及び施設見学会を開催](#)

投稿日時: 2009-06-01 13:46:43 : [平成21年度の話題](#)

本校では去る6月1日(月)、(株)東邦銀行いわき方部支店の各支店長を対象として、本校をもっと知ってもらうための勉強会と施設見学会を開催した。今回の勉強会は、本校と東邦銀行が平成20年度に締結した産学連携に係る協定の一環として実施されたもので、当日は同行いわき方部の母店である平支店の丹野支店長をはじめ13の支店から19名の支店長が本校を訪れた。最初に大会議室で勉強会が行われ、伊藤地域環境テクノセンター長から本校の地域連携活動紹介をし、続いて本校教員2名から、産学連携による研究事例紹

介が行われた。勉強会の後は施設見学会が行われ、参加者は2班に別れて専攻科棟や各学科棟、地域環境テクノセンター等の共同利用施設、実習工場といった学内施設を見学した。

参加者からは、「福島高専のことが良く分かった。」「文系出身の為、高専は名前は知っていたが中身は良く分からなかった。良い意味で想像と違っていて、充実していると感じた。」といった感想が聞かれ大変好評であった。

東邦銀行では地域サービスの一環として各支店の支店長が中心となり、地元企業が抱える技術的問題や新規製品開発等の相談に、本校と企業とのマッチングという形で応じていくとしていることから、今回の勉強会の成果が大いに役立つものと期待されている。今後は、同行の顧客を対象とした本校見学会の開催計画もあり、地元企業等からの、本校への期待が益々高まるものと思われる。



高荒教員による研究事例紹介



専攻科棟見学の様子

[0コメント](#)

建設系事業者と福島高専教職員との交流・懇談会を開催

投稿日時: 2009-05-19 13:38:20 : [平成21年度の話題](#)

「建設系事業者と福島高専教職員との交流・懇談会」が5月19日、ラトブ6階いわき産業創造館で開かれた。市内建設業者と本校建設環境工学科教員との交流を通じて、一層の地域貢献を図るために初めて企画された。建設系関係者30名と教員16人が出席した。

主催者代表の挨拶の後、建設系事業者を代表して太田和夫三崎組社長が挨拶をした。引き続き、教員がそれぞれ自己紹介も兼ねて建設材料や都市計画、自然環境保全など研究分野について紹介した。最後に、今後の継続的な話合いの場として「建設系企業と福島高専との懇談会」が設置されることになり、新たな体制が構築された。



交流会会場の様子

[0コメント](#)

専攻科生が土木学会東北支部研究奨励賞を受賞

投稿日時: 2009-05-15 13:00:00 : [平成21年度の話題](#)

本校専攻科物質・環境システム工学専攻2年の石沢貴教君は、平成20年度土木学会東

北支部研究奨励賞を受賞しました。この賞は、土木学会東北支部が毎年5月の通常総会において表彰するもので、当該年度の東北支部技術研究発表会において優れた研究成果を発表した論文の発表者で、36歳未満の支部会員に贈られるものです。

本年3月、仙台市で行われた同学会支部の研究発表の中から、7部門各1名ずつ表彰されたもので、受賞者の中で高専学生は石沢君一人だけで、最年少での受賞となりました。今回の受賞したテーマは、石沢君が本校5年次と専攻科1年次に取り組んだ「内倉湿原における抽水植物の制御に関する検討」で現在も研究を継続中です。石沢君は、「これまでの研究の成果が認められてうれしい。この賞を励みに、特別研究最後のまとめに励みたい」と抱負を語っていました。



授賞式の様子

[0コメント](#)

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の外部評価委員会を開催

投稿日時: 2009-04-24 17:00:00 : [平成21年度の話題](#)

本校では、4月24日(金)に「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の外部評価委員会を開催した。本校では、文部科学省の支援事業である「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の支援のもと、平成19年度より「マーケティングを意識した技術者教育」を推進してきた。この事業は、多様化する市場に柔軟に対応できる人材を輩出するために、文系と理系の垣根を越えて「ニーズがわかるエンジニア」と「シーズがわかるビジネスマン」を育成することを目的としている。外部評価委員会は、本事業を外部から客観的な視点で評価し、取り組みの改善と活性化を図るとともに、より社会的なニーズを反映していくことを目的に開催された。

事業推進担当者からの報告のあと、活発な議論が行われた。まず、本事業の全体的な取組状況に対しては、各委員から高い評価が得られた。特に、「社会のニーズに対応している」ことや、「学生が段階的に習得できるように配慮されたカリキュラム構成」が評価された。



事業推進者 田淵助教の報告



外部評価委員会会場の様子

[0コメント](#)

平成20年電気工学科卒研生鈴木定太さんが「電気学会優秀論文発表B賞」受賞

投稿日時: 2009-04-24 13:50:07 : [平成21年度の話題](#)

平成20年度に福島高専電気工学科5年に在籍していた鈴木定太(すずき じょうた)さん(現、福島高専専攻科1年)が、「平成20年電気学会優秀論文発表B賞」を受賞した。同学会の「平成20年優秀論文発表B賞」受賞者のうち、高専学生の受賞例は全国で4件あったが、本科5年生での受賞は鈴木定太さん

(発表当時19歳)だけであった。

鈴木定太さんは、同校電気工学科在学中に卒業研究で取り組んだ「永久磁石軌道上で磁気支持された配列バルク超電導体試料の水平方向の電磁力特性比較」を、20年8月に福島県郡山市の日本大学工学部で開催された「平成20年電気関係学会東北支部大会」で発表した。この論文では、特殊な構成の永久磁石軌道上で非接触磁気支持される超電導バルク材の「水平方向の磁気支持力特性のバルク超電導体の配列効果」について実験結果や考察について報告し、その論文の仕上り・研究内容、および発表の仕方や質疑応答などの点で評価され、今回の受賞となった。

指導した電気工学科鈴木晴彦教授は、「電気学会の各支部大会では、多くの大学院生や若手の企業研究者も発表する。その中で、高専学生、特に本科の5年生が受賞することはとても難しいと思われる。今後も高専卒研生、専攻科生に対し、研究発表のチャンスを与え続けていきたい。」と話している。



賞状とメダルを手にする鈴木さん

[0コメント](#)

第48回入学式が挙行されました

投稿日時: 2009-04-05 12:29:42 : [平成21年度の話題](#)

第48回入学式及び平成21年度編入学式並びに専攻科入学式が本校第一体育館において行われ、本科学生・専攻科学生合わせて249名が式に臨みました。

式では、奈良宏一校長が入学を許可した後、式辞を述べました。

その後、新入生を代表して、本科と専攻科の代表がそれぞれ入学者宣誓を行いました。

最後に本校吹奏楽部が祝奏及び校歌の演奏を行い、入学を祝いました。



入学許可を行う奈良宏一校長



入学者宣誓を行うコミュニケーション情報学科1年佐藤あゆみさん

「モノづくり教育研究支援センター」が発足しました

投稿日時: 2009-04-01 12:13:56 : [平成21年度の話題](#)

本校では、4月1日から、教育研究支援体制の強化、技術職員の技術力向上を図るため、また、技術職員の職務の合理化・効率化を図るため、「モノづくり教育研究支援センター」を設置して技術職員を集結することとなりました。

同センターは、センター長(当面校長兼務)の下に技術長(当面代行)、グループ長(2グループ)を置き、独自の命令体系で職務に当たることになります。(技術職員12名、パソ職員3名で構成されます。)

同センターでは、学内の教育研究支援、実習工場の管理運営の他、公開講座、技能講習の実施など、地域住民や地域産業への組織的な貢献を強化していく予定です。



右: 奈良宏一校長

左: 江尻勝紀技術長代行



本校教員・技術職員との記念撮影

小野中学校で出前授業を実施

投稿日時: 2009-03-17 15:00:00 : [平成20年度の話題](#)

本校は、平成21年3月17日(火)に小野町立小野中学校(福島県田村郡小野町)で出前授業を実施した。これは、今年度、産学連携協定を締結した小野町との連携事業の一環として実施されたものである。今回の出前授業は、物質工学科 天野仁司教授とロボット技術研究会の学生5名によって、「ロボットってなんだろう」をテーマに、同校の2年生で「選択技術」と「選択理科」を選択している生徒を対象に実施された。授業では、機械とロボットの違いやロボットコンテストについての説明、ライトレーサーを使った解説等が行われた。また、「高専ロボコン」と「知能ロボット」の出場ロボットの实演や、競技の模様を撮影した動画の視聴では、高専のロボット技術に、子供達は驚きと大きな関心を持ったようであった。本出前授業は今後、平成21年度も実施される予定となっている。



熱心に説明を聞く中学生



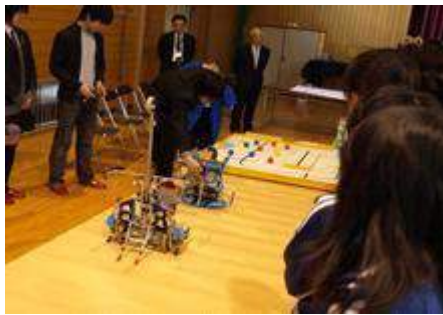
中学生に説明をするロボット技術研究会学生

[0コメント](#)

小戸神小学校で出前授業を実施

投稿日時: 2009-03-11 17:55:35 : [平成20年度の話題](#)

福島高専は、3月11日(水)に小野町立小戸神小学校(福島県田村郡小野町)で出前授業を実施した。これは、今年度、産学連携協定を締結した小野町との連携事業の一環として実施されたものである。今回の出前授業は、物質工学科天野仁司教授とロボット技術研究会の学生5名によって、「ロボットってなんだろう」をテーマに、3年生から6年生までの在校生と、見学に訪れた保護者を対象に行われ、機械とロボットの違いやロボットコンテストについての説明、ライトレーサーを使った解説等が行われた。また、「高専ロボコン」と「知能ロボット」の出場ロボットの实演や、競技の模様を撮影した動画の視聴では、高専のロボット技術に、子供達は驚きと大きな関心を持ったようであった。本出前授業は今後、小野中学校でも実施される予定となっている。



高専ロボコン出場機の実演



知能ロボコン出場機の実演

[0コメント](#)

平成20年度福島高専技術部研修会を開催

投稿日時: 2009-03-10 17:50:39 : [平成20年度の話題](#)

去る3月10日(火)福島高専大会議室において、平成20年度の技術部研修会を開催した。今回の研修会には一関高専3名、八戸高専1名が参加し、実験・実習の創意工夫や実験の継承、公開講座・実務研修の報告、安全衛生、また他高専の報告等を聞き有意義な時間を過ごすことが出来た。また、今年度は、特別講師として本校一般教科布施雅彦教授を迎え、「福島高専におけるICTを活用したeラーニング2.0への取り組み」と題して講演が行われ、その中で、動画教材編集器具として使われる「研修君」について、一般教科鈴木三男教授によるデモンストレーションも行われた。

さらに、交流会も開催され、より深く技術職員相互の実情を話しながら懇談し、学校が独法化になり変わったこの時期に技術職員として如何に対応したら良いのか、どのような支援サポートが必要かを語り合った。最後に、今後とも積極的な仕事への参画を誓い散会となった。



鈴木三男教授のデモンストレーション



[福島高専地域フォーラム「産学官連携のつどい2009」を開催](#)

投稿日時: 2009-03-09 18:04:56 : [平成20年度の話題](#)

福島高専では去る3月9日(月)、一般企業、自治体、大学、一般市民等を対象とした福島高専地域フォーラム「産学官連携のつどい2009」をいわき市産業創造館（ラトブ）で開催した。平成13年度から続く本イベントも今年で8回目となり、今回は、いわき市、（社）いわき産学官ネットワーク協会、福島高専協力会に共催を、また、福島県いわき地方振興局、小野町、いわき商工会議所等を含む14団体から後援をいただいて開催した。

フォーラムは3部で構成され、第1部では専攻科2年生による「専攻科特別研究公開発表会」が行われた。今回の発表会では地域に密着した研究内容の成果をポスターセッションで26名の学生が発表した。市民・企業・官庁・保護者等の来場者からの質問に分かりやすく説明するなど、本校の研究水準の高さと工学からビジネス領域までの幅広い教育・研究内容を十分に理解してもらえた発表会となった。来場者からの投票により選出される最優秀ポスター賞には物質・環境システム工学専攻の菅野淳弥さん「内郷高野地区におけるゲンジボタルの生息環境に関する研究」が選ばれ、奈良宏一校長から表彰状と盾が贈られた。

引き続き行われた第2部では「中小企業におけるビジネス拡大のために」をテーマに研究事例紹介と基調講演が行われた。まず初めに、本校物質工学科柴田公彦講師から「ザリガニ、ニ枚貝、ヒトデに含まれるD-アミノ酸に関する研究??水産生物から抽出した新規成分と産学連携の可能性」をテーマに研究事例紹介が行われ参加者の興味を引いていた。続いて、茨城大学副学長の白石昌武教授を講師に迎えての基調講演「人の健康状態を工学的に評価する」が行われた。この講演は、人の健康状態を医学的な面からではなく、工学的な面からアプローチして評価するという内容のもので、白石先生の語りとあわさって参加者には強い関心を引いた様子だった。第2部では100席用意された座席も満席の状態、参加者の関心の高さを伺わせた。第3部では講師を囲み、終始和やかなムードで交流会が行われた。



会場風景



本校物質工学科柴田公彦講師による講演



茨城大学副学長白石昌武教授による講演

[第六回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催](#)

投稿日時: 2009-03-08 15:47:11 : [平成20年度の話題](#)

3月8日(日)本校物質工学科棟で、本年度第六回発明発見教室「DNAを取り出そう」(主催:福島高専・いわき市 担当:物質工学科教員天野仁司、物質工学科学学生6名)を中学生20名を対象に行った。

今回は、身近な野菜の「タマネギ」の細胞が、DNAの情報に従って活動している様子を顕微鏡で観察し、このDNAを家庭用洗剤と食塩を使って抽出した。また、昨年ノーベル化学賞を受賞した下村修先生のGFP(緑色蛍光蛋白質)も、大腸菌を使って観察し、それがDNA上の遺伝子によって作られることを、電気泳動などの実験で確かめた。参加者は真剣な様子で説明に耳を傾け、実験に取り組んでいた。



タマネギからのDNA抽出



DNAのアガロースゲル電気泳動

[0コメント](#)

[「ラジオ・音響技能検定」において福島高専が文部科学大臣賞受賞！](#)

投稿日時: 2009-02-27 15:59:16 : [平成20年度の話題](#)

2月27日(金)、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で行われた財団法人実務技能検定協会主催の「平成20年度成績優秀者・優秀団体表彰式」において、福島高専は、文部科学省認定「ラジオ・音響技能検定」で好成績を修めた団体として、文部科学大臣賞を受賞した。「ラジオ・音響技能検定」は、アナログ技術の視点からエレクトロニクスやオーディオに関する知識や技能を評価するわが国で唯一の技能検定であり、筆記試験2科目(「知識」「技能」)で合否が判定される。

本年度は、全国の高校、高専、大学及び一般企業等から、1?4級に69団体、1,420人が受験し、このうち774人が合格した。福島高専では、2級・3級に電気工学科の学生だけでなく機械工学科と建設環境工学科の学生を含む35人が受験し、このうち21名が合格した。合格率は60%で、全国平均の49%を上回る結果となった。



受賞風景



手前右：電気工学科 渡辺博教授

[0コメント](#)

福島高専地域フォーラム「教育改革の優れた取組(GP)」開催

投稿日時：2009-02-27 10:15:24：平成20年度の話題

福島高専では去る2月27日(金)いわきワシントンホテル椿山荘にて、文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」事業の内、本校が実施する「現代GP」「社会人の学び直しニーズGP」「学生支援GP」の3プログラム合同フォーラム「教育改革の優れた取組(GP)」を開催した。本フォーラムは、平成19年度に採択された3プログラムに関し、福島高専の取組内容を広く一般市民の方々に知っていただくことを目的に昨年度から開催しているものである。

本フォーラムは、地元いわき市やいわき商工会議所、(社)いわき産学官ネットワーク協会、福島高専協力会からの後援により、地域との連携を深めることができた。

フォーラムでは、始めに福島大学副学長(研究担当)の星野珙二先生を講師に迎え、基調講演「SCM(サプライチェーンマネジメント)とDCM(ダイヤモンドチェーンマネジメント)」が行われた。引き続き行われた「各プログラムの紹介」では、各プログラムを担当する本校教員から、それぞれのプログラムの今年度の取組状況と事業実施成果に関する報告、並びに質疑応答が行われ活発な意見が交換され、参加者の関心の高さを伺わせた。



フォーラム会場の様子



福島大学副学長(研究担当) 星野珙二先生の講演

[0コメント](#)

専攻科生が学会発表で学生優秀論文賞受賞！

投稿日時: 2009-02-12 11:39:29 : [平成20年度の話題](#)

平成20年度電気関係学会東北支部連合大会において、福島高専機械・電気システム工学専攻2年の樋田雄士さん(指導教員:電気工学科渡辺博教授)がこの度、「超音波」のセッションで優れた研究発表を行った若手研究者に贈られる電子情報通信学会東北支部の「学生優秀論文賞」を受賞した。

本表彰は、毎年8月下旬に開催される電気関係8学会(電気学会、電子情報通信学会、照明学会、日本音響学会、映像情報メディア学会、情報処理学会、電気設備学会、IEEE)の東北支部の連合大会において、特に電子工学及び情報通信の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文を発表した若手研究者に対し、電子情報通信学会東北支部が「学生優秀論文賞」を授与し、その功績を称えることを目的としたもので、平成16年から毎年実施している。

樋田さんは、これまで高専専攻科で行ってきた特別研究の成果を「圧電磁器板厚みすべりエネルギー閉じ込め振動子の板幅変化と特性改善」のテーマで発表し、その後の本賞選考委員会の一次審査(プレゼンテーション能力、発表態度、論理性等)及び二次審査(論文の新規性、有用性、信頼性等)を経て見事今年度の受賞者3人(大学1、高専2)の内の1人に選ばれ、この度電子情報通信学会東北支部から「学生優秀論文賞」の賞状と副賞が授与された。



左:奈良宏一校長 中央:樋田雄士さん 右:渡辺博教授

[0コメント](#)

[福島高専が東邦銀行と産学連携協定を締結](#)

投稿日時: 2009-01-29 11:42:22 : [平成20年度の話題](#)

福島高専(奈良宏一校長)と(株)東邦銀行(北村清士取締役頭取)との産学連携に係る協力協定書の締結式が去る1月29日(木)、同校において執り行われた。福島高専が金融機関と産学連携を目的とする協定を締結するのは日本政策金融公庫(旧 国民生活金融公庫)、いわき信用組合に次いで3例目、東邦銀行が高等教育機関と締結するのは福島大学、会津大学、日本大学工学部に次いで4例目となった。

本協定は、福島高専が保有する研究シーズや、東邦銀行の持つ金融技術並びに情報及びノウハウ等を活用して、地域の発展と産業の振興、人材の育成に寄与することを目的としている。今後は、東邦銀行の全店舗に福島高専の研究シーズ集を置く等して、相互が協力して技術シーズと地域企業のニーズとのマッチング、技術相談や各種情報交換等を行っていく。今回の協定締結にあたり、奈良校長、東邦銀行側代表の本柳常務取締役はともに「地域企業のニーズ、地域課題や新技術・新規事業分野等に関する情報交換や支援、人材の育成等を通じて、地域社会の発展に貢献していきたい。」と挨拶した。

今回の連携協定は地域からも大きな関心が寄せられており、福島高専の研究成果がより円滑に地域に還元され、産学連携がさらに発展していくものと期待されている。



中央左:本柳博之の常務取締役 中央右:奈良宏一校長

[0コメント](#)

[浮金小学校で出前授業を実施](#)

福島高専は、平成21年1月22日(木)に小野町立浮金小学校(福島県田村郡小野町)で出前授業を実施した。これは、今年度、産学連携協定を締結した小野町との連携事業の一環として実施されたものである。

今回の出前授業では、物質工学科天野仁司教授と技術職員が「ロボットってなんだろう」をテーマに、1年生から6年生までの在校生と、見学に訪れた保護者を対象に行われ、機械とロボットの違いやロボットコンテストについての説明、ライントレーサーを使った解説等が行われた。また、「高専ロボコン」の動画や「知能ロボット」の実演では、高専のロボット技術に、子ども達は驚きと大きな関心を持ったようであった。今後は、同町の小野中学校と小戸神小学校でも実施される予定となっている。



会場全体の様子

ロボットに関する説明をする天野教授



知能ロボットの実演

真剣に実演の様子を見つめる子どもたち

[0コメント](#)

[福島高専専攻科生が「のり面緑化」で優秀賞を受賞](#)

投稿日時: 2009-01-20 14:39:22 : [平成20年度の話題](#)

平成21年1月20日(火)にいわき市産業創造館で開催された「浜通り管内技術業務報告会」(主催:国土交

通省磐城国道事務所)で、福島高専専攻科物質環境コース1年倉持尚子さんが発表した「いわき市における法面緑化に関する研究」に対し、事務所長から優秀賞が贈られた。

国や県の機関などの発表に混ざりながら堂々と講演し、発表内容、プレゼンともに審査員から高い評価を受けての受賞である。2年間にわたる国道49号バイパス法面植生の遷移に関する報告の後、ケンタッキーブルーグラスなど一部の芝に対し、ヨモギは芝の発芽率を向上させるというデータを披露した。今後、逆のパターンとして在来種であるヨモギの発芽率を向上させる牧草の研究に取り組んでいくという。



論文発表の様子



優秀賞受賞式

[0コメント](#)

[いわき信用組合と産学連携協定を締結](#)

投稿日時: 2009-01-13 14:03:31 : [平成20年度の話題](#)

福島高専(奈良宏一校長)といわき信用組合(江尻次郎理事長)との産学連携協力推進に関する覚書の調印式が、去る1月13日(火)に同校において執り行われた。福島高専が金融機関と産学連携を目的とする協定を締結するのは国民生活金融公庫(現 日本政策金融公庫)に次いで2例目、いわき信用組合が高等教育機関と締結するのは初めての事例となった。

本覚書は、相互の協力によって地域の産学連携を推進し、地域の中小企業支援を柱に、地域社会の発展へ貢献することを目的としている。今後は地域の情報を交換しながら、福島高専の研究成果等の技術シーズと中小企業等のニーズとのマッチング、技術相談などを行っていく。また、いわき信用組合は、県内の信用組合としては唯一経済産業省の委託事業「地域力連携拠点事業」の拠点到採択されていることから、福島高専はパートナー機関として協力をしていく。今回の協定締結にあたり、奈良校長、江尻理事長はともに「この連携を機会に、地域の中小企業の人材育成や活性化、地域の街づくり等を通じて積極的に地域社会の発展のため貢献していきたい」と挨拶した。

今回の連携協定は地域からも大きな関心が寄せられており、福島高専の研究成果がより円滑に地域に還元され、産学連携がさらに発展していくものと期待されている。



調印式会場の様子



左:奈良宏一校長 右:江尻次郎理事長

[0コメント](#)

福島高専で「福島県中学生ロボット競技会」を開催

投稿日時: 2008-12-21 13:11:44 : [平成20年度の話題](#)

「創造性豊かなモノづくり教育」として福島県内の中学生を対象としたロボット競技会を平成20年12月21日(日)に福島高専で開催した。

ルールは、ロボットをA4用紙以内の大きさに作製し、異なる2種類の競技を行い、総合評価する競技である。登坂競技は傾斜6度の登坂を含む7mの直線コースを全速力で走行するもので、23チーム中10秒以内で13チームがゴールし、前年度よりロボット性能と直線走行技術の向上が認められた。特に、車体を低重心にして高速走行を実現した郡山市立郡山第二中学校の「ハーモニーNo.9」が3.62秒の驚異的な記録を達成した。

灯急便競技は高さの異なる5つの灯台の頂上へゴルフボールを運び入れると灯台が点灯し、全点灯で100点となる。1台のロボットで高さの異なる位置へ運び入れる機構を考案することは中学生には難題であるが、これを成し遂げた5チームがゴールした。その中で、いわき市立上遠野中学校「走れ!奏明号」が129.4秒の記録で優勝した。

総合優勝は両競技を短時間で達成した郡山二中が昨年度に続き連覇した。来年度は打倒郡山二中を目指し、各チームのモノづくり技術と操作法の向上に期待している。

今回の競技会を含め、5回以上ご指導された顧問教員2名に「モノづくり教育への貢献者」として感謝状を贈呈した。



登坂競技に熱中する選手達

[0コメント](#)

第五回発明発見教室「虹を見てみよう」を開催

投稿日時: 2008-12-21 09:37:16 : [平成20年度の話題](#)

去る12月21日(日)本校専攻科棟で、本年度第五回発明発見教室「虹を見てみよう」(主催:福島高専・いわき市 担当:物質工学科教員 天野仁司、物質・環境システム工学専攻学生1名、物質工学科学生5名)を行った。

今回は、光の色について学ぶ実験を行った。虹ビーズを使った人工虹や、偏光板とセロハンテープを使ったステンドグラスの製作、偏光板でカラフル砂糖水の観察、そして、割れにくいシャボン玉を使った薄膜干渉模様の観察など、いずれも自然の不思議な現象を体験する楽しい実験となった。



光の色の説明



偏光板でステンドグラスの製作



シャボン玉で薄膜の色の観察

[0コメント](#)

福島県内初の女子高校生クラス3級機械加工技能士(普通旋盤作業)の誕生

投稿日時: 2008-12-15 11:01:26 : [平成20年度の話題](#)

本校では2年前より機械工学科の支援の下で、国家技能検定「機械加工(普通旋盤作業)」の受験に挑戦しており、去年までに6名の3級機械加工技能士を誕生させてきました。

試験内容は学科試験と実技試験が行われ、実技試験では旋盤を用いて鋼の棒材から円筒物のオス型、メス型のはめ合わせ加工を2時間で作製します。今年も7月に学科試験、8月に実技試験に挑戦し5名が合格しました。その中で機械工学科2年の菅家麻美さんが見事合格し、12月15日に合格証が交付され福島県内で初の女子高校生クラスの3級機械加工技能士(普通旋盤作業)が誕生しました。現在は、来年の2級受験を目指して頑張っております。



[福島工業高等専門学校参与会を開催](#)

投稿日時: 2008-12-10 15:31:25 : [平成20年度の話題](#)

去る12月10日(水)同校において平成20年度第1回参与会を開催した。この参与会は同校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を行い、同校の自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として平成17年度から開催されている。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には四ツ柳隆夫(独)国立高等専門学校機構顧問が就任している。今回の参与会では、「地域連携活動と研究成果について」と題し本校の地域団体との交流・教育支援活動・外部資金の獲得状況・知的財産・教員の研究活動等について発表し、それぞれの参与の方々から助言・提言等が寄せられた。



四ツ柳参与会会長からの挨拶



参与会会場の様子

[0コメント](#)

[福島高専で寮防災訓練を実施](#)

投稿日時: 2008-11-19 09:21:50 : [平成20年度の話題](#)

福島高専磐陽寮において、秋の防災訓練として、去る11月19日(水)放課後、全寮生が寮庭に集合して消火訓練を行った。火災時の心構えと消火器の操作方法について寮務主事補から説明を受けた後、6名の代表寮生が消火器を使用して実際の消火を体験した。また、11月21日(金)朝7時10分からは避難訓練を行った。事前に日時を知らせずに、抜き打ちで実施したにもかかわらず、全寮生が整然と避難し、人員確認も迅速に終了することができた。

これらの訓練を通して寮生は、火災の恐ろしさと緊急時の速やかな対応の重要性を改めて認識している様子だった。



代表寮生による消火訓練の様子

[第15回東北地区高等専門学校文化部発表会 写真部門に2作品が入賞](#)

投稿日時: 2008-11-17 17:10:05 : [平成20年度の話題](#)

東北地区高等専門学校文化部発表会の出品作品の審査が宮城高専(主管校)にて行なわれ、写真部門では出展作品総数90の中から、特選1作品、入選5作品が選定されました。福島高専からは2作品が入賞しました。なお、4年機械 佐藤は昨年の入選に続き2年連続入賞です。

全作品は東北地区7高専にて巡回展示され、福島高専では平成20年11月17日(月)から 11月21日(金)まで大会議室で展示されました。



特選 「威風堂々」 4年機械 佐藤



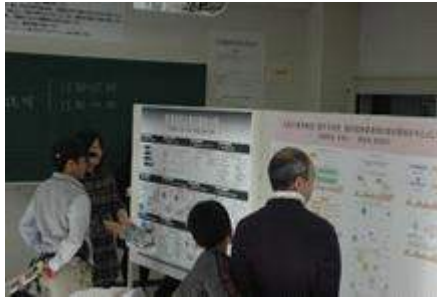
入選 「はちす」 1年物質 田家

[高専祭2008が開催されました](#)

投稿日時: 2008-11-02 17:04:04 : [平成20年度の話題](#)

11月2日(日)高専祭2008が開催されました。
天気も良く、最高のコンディションの中で高専祭が行えました！
たくさんのご来場、誠にありがとうございました。





[0コメント](#)

平成20年度防災訓練を実施

投稿日時: 2008-10-29 17:41:30 : [平成20年度の話題](#)

去る10月29日(水)平消防署立ち会いの下、防災訓練を実施した。

総合訓練では震度5弱の地震、二次災害として火災発生を想定した避難訓練を行った。今年度からは学生による救助訓練も取り入れ、学生同士が協力して負傷者を避難場所まで搬送する姿が見られた。

また、部分訓練では3年生及び教職員を対象に消火訓練を行い、実際に消火器を使用しての消火訓練に学生も真剣な様子で取り組んでいた。



[0コメント](#)

「いわき環境展2008」に出展

投稿日時: 2008-10-26 16:46:41 : [平成20年度の話題](#)

去る10月26日(日)、秋空の下で「いわき環境展2008」が開催された。いわき環境展は、いわき市におけるごみの減量化・リサイクル推進の啓発拠点施設である「リサイクルプラザ クリンピーの家」の記念事業として昨年から開催され、今年は第2回目の開催となる。市内の環境産業を担う事業者、市民団体、教育機関等といわき市が連携し、「楽しく学ぼう」をコンセプトに循環型社会形成に関わる内容をさまざまな形で紹介した。

昨年に引き続き今年も本校建設環境工学科が参加し、教員2名、学生9名が「水循環・上水システム」と「リモートセンシング」をテーマに「環境実験室」を出展した。水利用クイズでは小学生が真剣な眼差しでクイズに答えたり、植物・水・土の反射率測定実験では熱心に説明を聞いたりする参加者の姿が見受けられた。

産学官連携によって環境という一つのテーマから色々な取り組みがあることを学べる催しとなった。福島高専の取り組みが、循環型社会形成に対する市民の意識啓発につながることを期待している。



水利用クイズに参加する親子



対象物の反射率測定実験に参加する親子

[0コメント](#)

福島高専で「科学研究費補助金に関する講演会」開催

投稿日時: 2008-10-24 15:39:50 : [平成20年度の話題](#)

福島高専は、教職員を対象とした「科学研究費補助金に関する講演会」を去る10月15日(水)に、(独)日本学術振興会研究事業部研究助成第一課長の岡本和久氏を講師に迎えて開催した。

今回の講演会は全教職員を対象に、科学研究費補助金の応募件数及び採択件数の向上を目指して開催されたもので、講演会では、初めに奈良校長から「本講演会が、科研費の採択を目指す皆さんにとって大変有意義なものになるよう期待します。」と挨拶があった。続いて、岡本課長による講演が行われ、研究種目、配分状況、審査の流れや仕組み、研究計画調書記入のポイント、平成21年度科研費の変更点等について説明が行われた。参加した教職員はメモを取るなどしながら熱心に聴講し、最後の質疑応答では、熱心に質問している教員の姿が印象的であった。



[0コメント](#)

タマサート大学との学生交流を実施

投稿日時: 2008-10-20 15:31:57 : [平成20年度の話題](#)

福島高専は、タイの国立タマサート大学教養学部と、2006年に大学間協定を締結し、いよいよ今年度から学生交流を開始した。交流の内容は、それぞれの学校を2週間訪れ、授業を聴講し、学生宅にホームステイして家庭生活を体験するというものである。

まず、8月23日から9月9日まで、福島高専から3名の学生がタマサート大学日本語学科を訪れた。次に、10月6日から20日まで、タマサート大学の日本語学科の学生8名が福島高専に来校した。3?5年生のホストファミリーの学生のクラスに所属し、授業を聴講し、学生の希望によっては、低学年の国語、英語、人文社会の科目なども聴講した。また、授業のほかに、日本文化の理解を深めるため、近隣施設のアクアマリンふくしま(水族館)、国宝白水阿弥陀堂などを見学した。学生たちは、初日こそ夜行便の影響で疲れていたものの、翌日からは元気に日本での生活を楽しんでいった。2週間の間に、ホストファミリーはもちろんのこと、クラスの他の学生たちともかなり交流が進み、お互いに異文化理解と国際交流を深め、双方の学生たちにとって、非常に有意義な体験になった。



[0コメント](#)

高専ロボットコンテスト東北地区大会に参加

投稿日時: 2008-10-19 10:50:13 : [平成20年度の話](#)

10月19日(日)に仙台電波高専体育館において高専ロボットコンテスト東北地区大会が行われ、本校から2チーム(指導教員:機械工学科 鈴木茂和、物質工学科 天野仁司)が参加した。今年の課題は「生命大進化」で、多足歩行ロボットがハードルを越え、二足歩行ロボットに進化してゴールするもので、初めての足を使った移動手段によるレースであった。

本校では、本来の「歩行」というテーマを、足の動きや重心の移動などの機構で機械的及び電氣的に実現することを目標とした。Aチームは一回戦で敗退したが「シカ」の多足歩行ロボットが評価され、特別賞(東京エレクトロン FE)を受賞した。Bチームは「フタバズグキリュウ」を模した重心移動とエアシリンダーを使ったダイナミックな動きの巨大な多足歩行ロボットと、「白虎隊士」を模した二足歩行マシンを2個のモーターだけで軽やかに疾走させるという、機械と電気制御の融合した人間味あるロボットを製作した。しかし、本戦ではわずかな不注意と、重大な外部要因のため、動作させることができず、二回戦で敗退した。なお、この二足歩行マシンは、アイデア披露とエキシビションでは、人間的な動きの二足歩行の一端を披露し、会場から「おー」という感嘆の声を得ることができた。



Aチームの多足マシン



Aチームの二足マシン



Bチームの多足マシン



Bチームの二足マシン

[0コメント](#)

[『第20回全国生涯学習フェスティバル『まなびピアふくしま2008』』に出展](#)

投稿日時: 2008-10-15 15:07:10 : [平成20年度の話題](#)

福島県では10月11日(土)・15日(水)の5日間、「第20回全国生涯学習フェスティバル『まなびピアふくしま2008』」が開催された。文部科学省主催の本フェスティバルは「生涯学習」をテーマに、毎年各都道府県が持ち回りで開催され、今年度は福島県が開催県となり、郡山市の「ビックパレットふくしま」を主会場として県内7市2町で開催された。福島高専は、主会場の「生涯学習見本市」に、「モノづくり体験教室」と福島高専の取組・教育成果を紹介するブースを出展した。

第2日目の10月12日(日)には、秋篠宮同妃両殿下が「生涯学習見本市」(160団体)の会場をご訪問になり、高等教育機関で唯一福島高専が御視察対象7団体の1つに選定された。

福島高専のブースを訪れられた秋篠宮同妃両殿下は、本校奈良宏一校長から本校の取り組み状況や教育研究成果についての御説明を受けられ、終始熱心に聞き入っておられた。

また期間中には、文部科学省生涯学習政策局の清水局長、福島市の瀬戸市長、高専機構本部から小田理事と大槻事務局長も視察に訪れた。

本校ブースは、体験コーナー「歯ブラシロボットを作ろう」に600名を超える来客が有る等、連日大勢の来場者で賑わった。



「じゃんがらロボット」の説明を受ける小田理事と大槻事務局長



「歯ブラシロボット」の製作を体験する子どもたち

[0コメント](#)

[高専機構木谷理事が福島高専を訪問](#)

投稿日時: 2008-10-11 15:26:16 : [平成20年度の話題](#)

平成20年10月11日、12日の両日本校主催で開催された「全国高専プログラミングコンテスト2008」に先立ち、高専機構本部木谷理事が福島高専を訪問し、奈良校長から本校の概要説明後、学内の施設等の視察を行った。

木谷理事は担当教員からの実験や研究内容の説明に興味深く耳を傾け、担当教員や学生等にも積極的に質問をする等終始和やかな雰囲気の中で学内を巡った。

また昨年経済産業省の近代化産業遺産に認定された「母子想」像(佐藤忠良作)を見学した際には、いわき市の炭鉱の歴史にも触れ大変興味深い様子であった。



福島高専、入学者募集に関する説明会開催

投稿日時: 2008-10-08 15:34:07 : [平成20年度の話題](#)

福島高専は、去る10月8日（水）に本校において、いわき地区及び北茨城地区の中学校対象とした入学者募集に関する説明会を開催した。今回の参加校は41校にのぼった。奈良宏一校長の挨拶の後、教務主事、学生主事、寮務主事、及び入試実施部会長から学校概要、及び平成21年度入学者募集要項の詳しい説明が行われ、その後、今年度から実施する「課題達成型推薦による選抜」等について熱心な質疑応答が行われた。本校の教育方針、学生生活及び入試状況について理解を深めてもらう有意義な説明となった。

今後は、福島県の県北地区、県中地区、県南地区、会津地区及び相双地区でも説明会を開催する予定である。



[0コメント](#)

第四回発明発見教室「ロボコン Jr. 2008」を開催

投稿日時: 2008-10-07 16:41:45 : [平成20年度の話題](#)

10月5日（日）にいわき産業創造館で、本年度第四回発明発見教室「ロボコン Jr. 2008」（まなびピアふくしま2008協賛事業）を開催した。（主催：福島高専・いわき市 担当：物質工学科教員 天野仁司、物質工学科学生5名）。

今回は、メカトロで遊ぶ会（<http://toro.inrof.org/>）が開発したロボット「梵天丸（ぼんてんまる）」を使って、マイクロコンピュータ制御による自律ロボットの制御プログラムの製作と、競技会を行った。この制御プログラムは平仮名と数字だけを使用するもので、小学生でもすぐに書くことが可能である。しかし、ロボットに思い通りの動きをさせるためには、実際に動かしてプログラムを修正する必要があるが、この調整が少し大変ではあるが、思い通りに動くようになった時の嬉しさは格別である。こうして、できるだけ正確な時間で課題を行うという競技等に挑戦し、参加者は楽しい時間を過ごすことができた。いわき市では今年が初めての大会だったため、できあがったロボットの「梵天丸」を貸し出して競技を行ったが、来年からはロボットの製作教室も行いたいと考えている。



平成20年度いわき地区高等学校写真連盟写真展

投稿日時: 2008-10-06 14:04:55 : 平成20年度の話題

10月6日(月)・8日(水) いわき市文化センターにて、平成20年度いわき地区高等学校写真連盟写真展が開催された。市内7校の写真部員の作品129点が出展され、4名の審査員(いわき市写真師会、いわき民報社)の審査により、特選1、準特選2、入選10、佳作2が選定され、福島高専写真部からは、次の5名・5作品が入賞した。

準特選	「一瞬の光」	1年物質	緑川
入選	「ひまたぼっこ」	1年建設	佐藤(優)
入選	「秋のほころび」	1年物資	小浦方
入選	「紫陽花とぼく」	1年建設	田村
入選	「高専幻想鏡」	3年コミ	宮本



準特選 「一瞬の光」

藤間中学2年生が本校を訪問し「ミニ研究」の発表会も見学

投稿日時: 2008-09-30 16:34:03 : 平成20年度の話題

去る9月30日(火)、いわき市立藤間中学校2年生5名が福島高専を訪問した。これは「総合的な学習」の時間の中で、市内の高校・大学に1日体験入学をし、実際の見学・体験を通して、各学校についての情報を集め、今後の進路選択に生かして行くことを目的としている。

5名は午後1時より、本校の概要及び特色や各専門学科の学習内容、卒業後の進路等について活発な質疑応答が行われた。

その後30分程、本校の施設見学を行った。当日第一体育館で開催されていた本科2年生による「ミニ研究の発表会」を見学し、特に「知能ロボット」の発表に心魅かれたようである。偶然にも「ミニ研究の発表会」に来校したことで、本校への関心をさらに高め充実した訪問学習となった。



[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=13>>

ミニ研発表会を開催

投稿日時: 2008-09-30 16:25:36 : [平成20年度の話題](#)

去る9月30日(火), 福島高専では, 平成20年度「ミニ研究」発表会が行われ, 2年生全員が半年間の研究成果を発表した。

本年度の発表テーマは46。指導教員の専門分野で開講されるため, 自然科学系のほか, 人文・社会科学系のテーマも少なくない。発表会は, ポスターセッション形式によるものや, 制作品の展示解説, パソコンでプログラムを実演するものなどもあった。

会場には1年生や中学生も多数訪れ, 熱心に聞き入っていた。

「ミニ研究」とは, 「自分で調べる・考える・文章にまとめる・報告する・人前で発表する」という過程を学ぶことを目的とし, 2学年学生の必修科目である。

“福島高専の特徴ある教育体系”の中で, 2年生は「ミニ研究」, 3年生では創作実習, 4年生ではインターンシップ, 5年生では卒業研究を修得し, それぞれの学年に併せステップアップをはかり, 社会に出た際には即戦力となるための教育を受けている。





[0コメント](#)

[「試薬の取り扱い管理の方法」についての講演を実施](#)

投稿日時: 2008-09-24 15:39:23 : [平成20年度の話題](#)

9月24日(水)に福島高専技術部安全衛生グループ主催による「試薬の取り扱い管理の方法」についての講演が行われた。福島高専技術部は、毎年安全衛生に関する企画を催しており、今回は一般化学を専門とする小口技術職員が講演し、参加者は技術部職員の他、教員等の合計14名となった。講演内容は、学生実験・卒業研究等での使用に関する薬品の危険性や注意点、また使用後の管理や処理法についての細かな講演となった。普段、薬品取り扱いを専門としていない技術職員でも今後何らかの薬品取り扱いに関わることが考えられ、貴重な知識を得る機会となった。



[0コメント](#)

[中央台南中学校2年生が「職場体験学習」のため来校](#)

投稿日時: 2008-09-11 16:10:26 : [平成20年度の話題](#)

9月11日(木)、いわき市立中央台南中学校の2年生男子生徒3名が「職場体験学習」のため来校した。市内の中学校2年生たちは、「総合的な学習の時間」の一環として職業について学習している。今回の活動は、一学期中に生徒が学習したことを実際の職場体験を通して、さらに理解を深めていくことに主眼を置いている。3名は10時より、各専門学科の内容や卒業後の進路等、本校の概要の説明を受け、質疑応答の後、施設見学を行った。体験活動として「プログラミング」を希望していたため、コミュニケーション情報学科の情報演習室において同学科の島村教員から、1時間ほど「プログラミング」の内容について学んだ。3名は積極的に学習をする中で、本校への関心を高め、10月11日・12日に開催される「全国高専第19回プログラミングコンテスト」(本校主管)にもエントリーした。





[0コメント](#)

[久之浜中学校1年生が訪問学習のため来校](#)

投稿日時: 2008-09-02 09:28:49 : [平成20年度の話題](#)

去る9月2日(火)、いわき市立久之浜中学校1年生の生徒9人が「訪問学習」のため福島高専を訪れた。訪問学習とは、「総合的な学習の時間」の一環として、中学生が個々の興味関心に基づいて市内の上級学校を調べ、さらに自分の将来を見つめ進路計画を立てることを目的とするものである。

9人は10時より、本校の概要について担当教員から説明を受けた。高専の特色、高等学校との違いや各専門学科の学習内容、専攻科も含め卒業後の進路について、メモを取りながら熱心に耳を傾け、質疑応答では、高専祭や各クラブの活動状況について積極的な質問がなされた。

その後11時より1時間程、本校の施設見学を行い、専門学科の実験室では、技術職員や専攻科生から丁寧な説明を受けることができ、目を輝かせていた。夏季休業中のため授業を見ることができなかったのは残念であるが、実りある訪問学習となった。



[0コメント](#)

[福島高専が小野町と連携協力に関する協定を締結](#)

投稿日時: 2008-08-26 13:25:47 : [平成20年度の話題](#)

福島工業高等専門学校(奈良宏一校長)と小野町(福島県田村郡、宍戸良三町長)は去る8月26日(火)、連携協定に係る調印式を小野町役場にて行った。福島高専が自治体と連携協定を結ぶのはいわき市に次いで2例目、小野町が高等教育機関と連携協定を結ぶのは初めてである。

本協定では、福島高専と小野町が教育、産業、福祉、環境等の分野で連携・協力し、相互の振興発展を図ることを目的としている。今後は、両者が参画する連絡調整会議を設置して、小野町の学校教育や生涯学習の推進、地域産業の振興、地域福祉の充実・向上、循環型社会の形成等の実現に向けた事業を行っていく予定である。

協定締結にあたり、奈良校長からは「本校が地域に役立つ存在感のある高専として、これからも地域に貢献していきたい。」宍戸町長からは「福島高専の英知をもって、まちづくりへの企画、立案、実施に関してバック

アップをいただくための仕組みを構築し、小野町の更なる発展のため尽力いただくことが最大の願いであります。」とそれぞれの挨拶があった。

「地域にとって魅力あふれる高専」を目指す福島高専では、今回の協定によって研究シーズ等が地域に還元されることで産学官連携がさらに進展し、豊かで活力あふれる小野町の実現に向けて貢献できるものと期待されている。



左：奈良宏一校長，右：宍戸良三町長

[0コメント](#)

[第三回発明発見教室「細木で橋をつくろう」を開催](#)

投稿日時：2008-08-03 14:14:24：平成20年度の話題

福島高専では8月3日(日)に、いわき市との提携事業である本年度第三回発明発見教室「細木で橋をつくろう」を開催した。(主催：福島高専・いわき市 担当：物質工学科教員 天野仁司、物質・環境システム工学専攻学生2名、物質工学科学生3名)

このテーマは、本校専攻科「物質・環境システム工学専攻」の学生が企画したものである。参加者はあらかじめ、提示された簡単な条件(大きさなど)にそって好きな形の橋を方眼紙にデザインし、当日教室に持ち寄った。教室ではそのデザインをもとに、学生らのアドバイスを受けながら橋を製作、その後強度を確認する実験も行った。参加者は、割り箸よりも細く折れやすいバルサ材を使用して作った橋の模型が、何キロもの荷重に耐えることに驚いている様子であった。なお、次回の教室は「ロボコンJr.」で、10月開催予定である。



製作の様子



耐加重試験の様子

[0コメント](#)

[第二回発明発見教室「モデルロケットを飛ばそう」を実施](#)

投稿日時：2008-08-02 08:47:07：平成20年度の話題

8月2日(土)、福島高専では、本校未来科学研究会IGNITIERによる「いわき市発明発見教室 モデルロケットを飛ばそう」を開催した。この発明発見教室は、いわき市内で学ぶ小中学校の児童生徒に、ものづくりの楽しさ・面白さを体感させ、身近な現象などの疑問を解決する場を提供することを目的として、いわき市の

助成を受けて毎年開催される公開講座である。今年で3年目を迎えた本講座には、市内の小中学生23組が参加した。

午前中は、モデルロケット工学や安全な取扱いなどの座学及び確認テストとロケット・キット製作実習を、午後は、打ち上げ前の安全確認及び打ち上げ実習を行った。当日は天候にも恵まれ、参加者が製作したロケットが次々と青空へ吸い込まれ、上空でパラシュートを開くたびに、参加者から大きな歓声が湧き起こった。

担当教員は「楽しみながら学んでもらうことを心掛けた」といい、日本モデルロケット協会の指導講師資格を持つ本校学生も講義を担当した。講義後の筆記テストにおいて好結果が得られたことや、全てのロケットを安全に打ち上げ・回収することができたことで、参加者にロケットを通してものづくりの楽しさを体験してもらうことができた。今年度は、参加者の要望に応え、2回目のモデルロケット教室を秋以降に開催する予定である。



本校学生による講義の様子



電気工学科三浦教員による安全確認指導



打ち上げ準備！



打ち上げ成功！

[0コメント](#)

[公開講座「中学生のためのプログラミング入門」を実施](#)

投稿日時: 2008-07-27 15:41:14 : [平成20年度の話題](#)

7月26日(土)、27日(日)の2日間にかけて、福島高専では公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が実施された。

内容は、フリーソフト「10進Basic」でプログラミングの初歩を学ぶもので、2日目にはグラフィック機能を用いて簡単なフラクタル図形を描くところまで進んだ。参加者は主に地元中学生23名で、2日目の最後に実施したアンケートでは「満足した」と答えた生徒が多く、おおむね好評であった。

この公開講座は8月3日(日)の福島高専主催の「第3回中学生プログラミングコンテスト」の準備という意味もあり、参加者のうちの数名は上記のコンテストにも参加してプログラミングの技を競うことになっている。



大槻情報処理教育センター長からの説明



真剣に課題に取り組む参加者たち

[0コメント](#)

[公開講座「夏井川について調べてみよう」を実施](#)

投稿日時: 2008-07-26 14:53:21 : [平成20年度の話題](#)

いわきを代表する夏井川に親しんでもらい、環境への関心を高めてもらうことを目的に、去る7月26日(土)に福島高専では公開講座「夏井川について調べてみよう」が実施された。当日はあいにくの曇り空で雨が降ったり止んだりの天気であったが、小中学生とその保護者を合わせて12名が参加した。

豊かな自然の残るいわき市小川町に移動した後、夏井川の各地点の水質を調べたり、そこに生息する水生昆虫や川辺を観察したりした。また、反力推進船の作成を行い、自分が作った船でトーナメントを組んで競争も行った。参加した小中学生は、より速く進むオリジナリティのある船を作ろうと、デザインや構造を工夫しながら一生懸命に工作に取り組んでいた。

自然環境は恐ろしい顔も持つが、安全に十分気をつけて近づいてみるとそこは学びの材料の宝庫である。この講座をきっかけにして、子供たちには自然環境に親しみながら有意義な夏休みを過ごしてもらいたい。



作成した船を持って記念撮影



夏井川に生息する水生昆虫を観察

[0コメント](#)

[福島高専電気工学科の「モノづくり教育プログラム」で、「モノづくり理解度検定」を実施](#)

投稿日時: 2008-07-16 10:37:18 : [平成20年度の話](#)

今年で8年目を迎えた福島高専電気工学科の「4年モノづくりプログラム」で、受講学生の基礎回路実習の習得状況を確認する「理解度検定」が、去る7月16日(水)「筆記試験」、「実技試験」によって実施された。6ヶ月間をかけて実施されるこのプログラムでは、各種センサやアナログ基礎回路実習を終了する約2ヶ月後に、学生個人の回路設計製作に関する「基礎知識」と「基礎技術」の理解・習得状況を確認する目的で、「筆記」と「実技」による「理解度検定」が3年前から導入されている。この検定には昨年度本プログラムを経験した5年生の有志8名が、「実技試験」におけるチェック担当者として加わった。

本プログラムを指導する鈴木晴彦教授は、「受講する4年生だけでなく、先輩である5年生が基礎回路実習、理解度検定、発表審査会にも関わって実施しているのが特徴。今年は製作設計したオリジナル回路に仮想の商品名をつけるなどの、商標登録に関する「知的財産権実習」も取り入れて実施している。」と、取組みについて語っていた。



検定を受ける4年生とチェック担当として参加する5年生



説明を真剣に聞く学生たち

[0コメント](#)

福島高専愛の献血運動

投稿日時: 2008-07-09 13:57:59 : [平成20年度の話題](#)

例年多くの学生が積極的に奉仕してきた献血が、本年度も7月9日に実施された。朝の登校時のボランティア愛好会の呼びかけに快く応じた学生が、放課後献血車の前に集合。その後81名が採血し、その中で56名の貴重な血液が献血された。なお、数名の教職員の協力もあった。この本校の献血活動は、良い伝統としてこれまで通り永く続けていきたいものである。奉仕してくれた方々に改めて感謝したい。



ボランティア愛好会の呼びかけ



採血を待つ学生たち

[0コメント](#)

第20回知能ロボットコンテスト2008チャレンジコースにおいて分子生物学愛好会のチームが準優勝

投稿日時: 2008-06-22 11:11:09 : [平成20年度の話題](#)

去る6月21日(土)、22日(日)に仙台市科学館で行われた第20回知能ロボットコンテスト2008(主催:ロボット競技実行委員会・メカトロで遊ぶ会・(社)日本ロボット学会)において、本校の分子生物学愛好会のチーム「堀越くまさんペンタくんA」、マシン名「ポチ」(物質工学科2年 舟木理恵、志賀諭、指導:物質工学科教員 天野仁司)が、チャレンジコース(参加登録81チーム)において「準優勝」し、併せて「メカトロで遊ぶ会賞」を受賞した。

決勝では、惜しくもパーフェクトを逃したが、スムーズかつ正確なボール取り込みと選別、意外なゴール方法

などを披露し、高い評価を得ることができた。



[0コメント](#)

第一回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう」を開催

投稿日時: 2008-06-08 13:25:39 : [平成20年度の話](#)

福島高専では6月8日(日)に、いわき市との提携事業である本年度第一回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを作ろう」を開催した。参加者は全員、自分で作ったラジオで音楽や音声を聞くことができ、特に手軽な材料でラジオが作れることに大変感動している様子であった。

なお、この教室(内容は毎回異なる)は、今年度これから5回開催の予定である。

(主催:福島高専・いわき市 担当:物質工学科教員 天野仁司、当学科学生6名)



教室の様子



聞こえるかな？

[0コメント](#)

[福島高専が京都大学エネルギー理工学研究所と学術連携協定を締結し、連携講演会を開催](#)

投稿日時: 2008-05-19 14:59:13 : 平成20年度の話題

福島高専は5月19日(月)、京都大学エネルギー理工学研究所と学術交流に関する協定の調印式をいわき産業創造館(ラトブ)で執り行った。今回は、近年、環境・エネルギー分野に対する専門教育の要求等が高まっていることを受け調印締結に至った。協定の内容には研究協力、研究設備の相互利用、人材育成、シンポジウムの開催、情報交換などが盛り込まれ、今後は福島高専から京都大学へのインターンシップ学生の派遣、教員の研究協力、合同シンポジウムの開催等が予定されている。奈良宏一校長は「この学術連携が、真に実のあるものになるよう連携活動を深めていきたい。」と挨拶した。調印式後にはエネルギーをテーマとした「福島高専地域フォーラム 第二回京都大学エネルギー理工学研究所・福島工業高等専門学校連携講演会」も開催され、木村晃彦 京都大学エネルギー理工学研究所教授、阿部勝憲 八戸工業大学教授、永名修平 東京電力?福島第二原子力発電所副所長、佐東信司 福島高専副校長の4名が記念講演を行った。

当日は本校教職員と学生並びに一般市民の計65名が参加、熱心に聴講していた。



右：尾形幸生京都大学エネルギー理工学研究所・所長 左：奈良宏一福島高専校長



熱心な聴講風景



佐東副校長の講演

[0コメント](#)

[学校説明会を開催](#)

投稿日時: 2008-05-18 20:00:23 : [平成20年度の話題](#)

福島高専は、去る5月17・18日の両日に県内5会場、県外1会場で中学生及び保護者を対象とした学校説明会を開催した。今回の参加者は生徒235名、保護者223名にのぼった。本校会場では奈良宏一校長の挨拶の後、パワーポイントを使用し、根岸嘉和教務主事から学校概要、各学科長から学科概要の説明があり、その後、熱心な質疑応答が行われた。本校の教育方針、学生生活及び入試状況について理解を深めてもらう有意義な機会となった。



学校説明会を開催

[0コメント](#)

[1年生対象の交通安全教室を実施](#)

投稿日時: 2008-05-13 15:06:56 : [平成20年度の話題](#)

福島高専では、5月13日に1年生を対象とした交通安全教室を実施した。本校周辺の道路は、道幅が狭い割には交通量が多く、通学には危険である。今年度は、危険な通学路を自転車で通学する学生のために、過去に事故が発生した場所の写真を用いながら、6月改正の道路交通法にも対応した安全指導がなされた。これまでは、1年生の事故が多く発生していたが、この安全教室が事故防止につながることを期待している。



[0コメント](#)

[非常勤講師との教育懇談会を開催](#)

投稿日時: 2008-04-30 15:06:23 : [平成20年度の話題](#)

福島高専では平成20年度前期「非常勤講師との教育懇談会」を4月30日に開催した。はじめに、奈良宏一校長から日頃の本校の教育への参画に対する謝辞と中教審における高専特別委員会の報告による高専の役割についての説明があった。その後、教務主事による福島高専の教育理念、学習教育目標、授業及び試験・成績等についての説明、また、JABEE委員委員長、FD委員長からそれぞれの確認事項や注意事項についての説明が行われた。この日は非常勤講師22名の出席があり、説明後には、成績評価やJABEEに必要なエビデンスの保管方法などについて活発な意見交換が行われた。今後は後期10月にも同様の懇談会を開催する予定である。



[0コメント](#)

公開授業を実施

投稿日時: 2008-04-29 15:05:52 : [平成20年度の話題](#)

さる4月29日「昭和の日」に保護者を対象として、福島高専の公開授業を実施した。

この日は朝から晴天に恵まれ、約700名の保護者や家族が新緑につつまれた福島高専を訪れ、授業の様子などを熱心に見学した。

本校では平日に実施していた公開授業を、より多くの保護者の方々に見ていただき、さらに教育方針、教育環境等への理解を深めていただくために、昨年度から4月下旬のゴールデンウィーク頃に実施しており、保護者からも好評を得ている。

今回の公開授業のアンケートからは、「日頃、家では見せない表情を見ることができた」、「授業内容が難しいので、大変だと感じた」、「先生方の熱心な授業指導を見ることができた」、「学生が集中して授業に取り組んでいる姿勢を見ることができた」等の感想をいただいた。

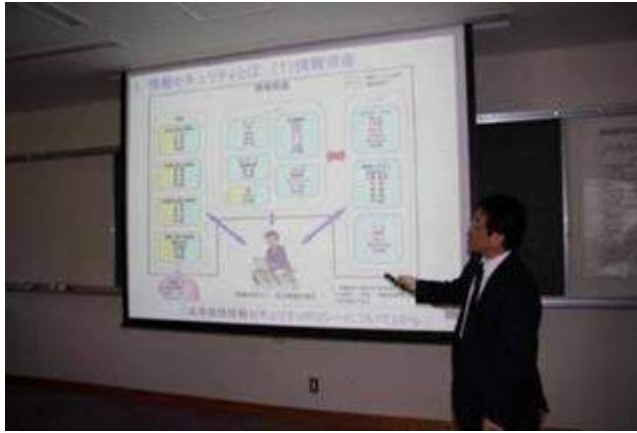


[0コメント](#)

情報セキュリティセミナー開催

投稿日時: 2008-04-23 15:04:50 : [平成20年度の話題](#)

福島高専では全教職員を対象に、4月16日、23日に情報セキュリティ委員長を講師として、情報セキュリティセミナーを開催した。内容は、まず情報セキュリティ・情報セキュリティポリシーとは何かを中心に、個人が守るべき事項等についての基礎的な説明を行った。次に、学校の情報システムに施してあるセキュリティ対策、特にウィルス対策等のしくみと現状についての話、また、学外へデータを持ち出す場合の個人情報等の漏洩を防ぐための取り扱い方、特にデータ暗号化の方法等についての説明を行った。今回のセミナーにより、より一層各自の情報管理意識が高まることが期待される。



[0コメント](#)

入学式ライブ映像を配信

投稿日時: 2008-04-07 15:03:37 : [平成20年度の話題](#)

福島高専では、4月7日(月)入学式の模様をインターネット中継した。入学式会場が仮の体育館で手狭なため、会場に入れない保護者に向けてプロジェクター による視聴を行った。また、映像は自宅等のパソコンからも視聴することができ、多くのアクセス記録が残っている。なお、今回のインターネット中継は、本校 の学生支援GP「マルチメディア活用型ピアサポートシステム」を構築する本校の学生が、中継の準備、当日の撮影、さらに別会場での上映等を行った。このことによって、今後も様々な学校行事等を学生が主体となってインターネット中継する機会が増えることが期待される。



会場の様子をライブ中継



熱心に中継を見る保護者ら

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=13&start=30>>

技術部技術発表会を開催

投稿日時: 2008-03-11 01:46:11 : [平成19年度の話題](#)

3月11日(火)福島高専視聴覚室において、第16回目となる「平成19年度福島高専技術部技術発表会」が開催された。

本技術発表会には鶴岡高専、仙台電波高専、一関高専、の3高専と職業能力開発促進センターからも参加があり、教員・事務職員も含めて概ね30名程の参加人数となった。

渡辺技術部長の挨拶より始まり、本校の奈良宏一学校長による基調講演がおこなわれた。つづいて今年度実施された公開講座、科研費による研究、実務研修、などの技術職員による技術発表が行われた。ここでは、他高専からの技術発表もあり、いずれも活発に質疑応答がなされた。最後に今年度の技術部の活動報告が行われ盛況のうちに終了した。



熱心に聴講する参加者

[0コメント](#)

福島高専地域フォーラム「教育改革の優れた取組(GP)」開催

投稿日時: 2008-02-29 01:43:18 : [平成19年度の話題](#)

福島高専では去る2月29日(金)、今年度、文部科学省が実施する「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」事業で「現代GP」「学生支援GP」「社会人の学び直しニーズGP」の3プログラムが採択されたことを受け、各プログラムの取組内容を広く一般市民の方々に知っていただくことを目的に、合同フォーラム「教育改革の優れた取組(GP)」を開催した。

今回が初めての当フォーラムには、地元いわき市や(社)いわき産学官ネットワーク協会、いわき商工会議所、福島高専協力会の後援のもと、地域との連携を深めることができた。

フォーラムでは最初に、高知高専の情報処理センター長で高専IT教育コンソーシアム・運営委員長の今井一雅教授を講師に基調講演「高等教育機関におけるICT教育について」が行われ、インターネットを使ったリアルタイムなプレゼンテーションは参加者に驚きを与えるほどであった。引き続き行われた「各GPの紹介」では、各GPを担当する本校教員から、それぞれのGPの取組状況と今年度の事業実施について報告と質疑応答が行われ参加者の理解が深められた。

当日は95名の参加者があり、80席用意された座席は満席となったため、急遽補助席が用意される等参加者の関心の高さを伺わせた。



基調講演を行う今井教授



「各GP紹介」の様子

[0コメント](#)

福島工業高等専門学校参与会を開催

投稿日時: 2008-02-19 01:38:59 : [平成19年度の話題](#)

去る2月19日(火)同校において平成19年度第1回参与会を開催した。同会は同校の教育研究活動等の状況について、外部の有識者による評価及び助言等の提言を行い、同校での自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として平成17年度から開催されているが、今期からは、外部評価主体から同校の運営に対して大所高所から意見を頂くことを主体とし、また、開催回数を増やすこととした。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者から9名で構成され、会長には四ツ柳隆夫(独)国立高等専門学校機構顧問が就任した。

今回は、大学評価・学位授与機構による認証評価結果と国立高等専門学校機構による監事監査結果について報告し、意見をもらった。

質疑応答ではインターンシップ・地域連携・中期計画等についてそれぞれの参与の立場から助言・提言等が寄せられ、同校では寄せられた意見等を検討して、学校運営の改善に反映させたいとしている。



四ツ柳顧問からの挨拶



プレゼンテーションをする奈良校長



参与会会場の様子

[0コメント](#)

福島高専地域フォーラム「産学官連携のつどい」開催

投稿日時: 2008-02-14 17:13:32 : [平成19年度の話題](#)

去る2月14日(木),「産学官連携と地域人材育成」をテーマに,いわき市内の一般企業,市民,地元自治体関係者等を対象にした地域フォーラム「産学官連携のつどい」を開催した。

今回は,いわき市、(社)いわき産学官ネットワーク協会,福島高専協力会の共催,また東北経済産業局,福島県いわき地方振興局,福島県中小企業団体中央会,いわき商工会議所の後援のもと第7回目となる「産学官連携のつどい」を開催した。

フォーラムは全体を2部構成とし,第1部では,東北経済産業局の赤津光一郎局長を講師に基調講演「地域活性化のための人づくり」を行った。引き続き行われた第2部では「いわき地域における地域活性化のための人づくり」をテーマに,福島県いわき地方振興局長の三瓶博文氏,いわき市商工観光部長の若松勇四郎氏,いわき商工会議所副会頭で常磐共同火力?常務取締役の中山哲男氏,?東日本計算センター代表取締役社長 鷺 弘樹氏,そして本校奈良宏一校長の5名のパネラーによるパネルディスカッションが行われた。100席用意された座席は満席の状態に参加者の関心の高さを伺わせた。フォーラム終了後には講師やパネリストを囲み、いわき市長の挨拶をうけ,終始和やかなムードで交流会が行われた。



挨拶する奈良校長

[0コメント](#)

教職員対象の「学生のメンタルヘルスに関する講演会」開催

投稿日時: 2008-02-13 17:13:07 : [平成19年度の話題](#)

去る2月13日(水)に福島学院大学福祉学部長で医学博士の星野仁彦教授(児童青年精神医学が専門)を招聘し、「学生の生きる力をつけるメンタルヘルス」と題する教職員対象の講演会を開催した。本講演会は、国立高等専門学校機構学生支援委員会からの「各高専において、学生の自殺予防に向けた取組を推進するため、専門家の協力の下に教職員対象の研修プログラムを実施してもらいたい」という依頼に応じて、開催されたものである。

講演は、まず「福島県における自殺の実態」に始まり、最大要因である「うつ病」についての説明がなされた。続いて、激増する「子どもの軽症うつ病」の現状と対処法について講師自身の体験に基づきわかりやすく説明がなされた。

当日は、多くの教職員が熱心に聴講し、活発な質疑応答も行われたため、予定時間を大幅に超過し、3時間に及ぶ充実した講演会となった。



熱心に聴講する教職員

[0コメント](#)

刀匠によるモノづくり技術の実技披露と技術討論会を実施

投稿日時: 2008-02-05 17:12:42 : [平成19年度の話題](#)

去る2月5日(火)「匠の技」についての機械工学科特別授業として、刀匠の藤安正博(将平)氏による刀の製作工程の実技披露と討論会が行われた。今回は本校関係者のほか学外者へも授業を公開し、近隣の中学校教員等多くの聴講者が訪れた。

将平刀匠は古刀再現の糸口を見出した全国で初めての刀匠である。実演披露では?鍛造による刀剣製作過程、?刀剣の熱処理による組織制御方法、?刀剣製作に必要な道具と考案治具などが披露された。学生も鍛造、刀波紋づくりのための前処理、ふいごの使い方など実技に参加し、刀作りの一端を体験した。

また、刀匠がこれまで手がけてきた5尺3寸の長刀なども披露され、学生との技術討論会では、刀作りの難しさ、製作時間、苦勞したことや楽しかったこと、価格などについて活発な討論が行われた。



刀作りを体験する学生

[0コメント](#)

パテントコンテストに福島高専から2件選考

投稿日時: 2008-01-30 17:11:34 : [平成19年度の話題](#)

平成19年度パテントコンテストの表彰式が1月30日に東京虎ノ門パストラルホテルで行なわれた。高専部門から6件が特許出願支援対象に選考されたが、そのうちの2件が福島高専である。

1件は建設環境工学科佐藤佳奈(5年生)の「鉄道の地下化施工法」であり、もう1件はコミュニケーション情報学科赤津沙希子、飯島美奈帆、石川友里恵、牛越文登(いずれも4年生)の「パカッ物干っちゃん」である。選考が内定したのち、主催者(文部科学省、特許庁、日本弁理士会、工業所有権情報・研修館)が斡旋した弁理士の指導を受け、1月28日に出願が完了した。今後、早期審査の手続きを取り、特許庁からの厳しい審査を受けることになる。

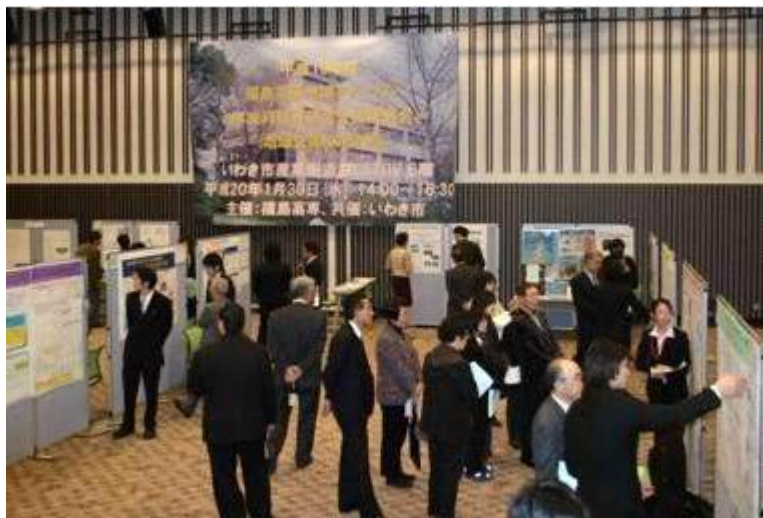
福島高専にとって同時に2件選考されることは初めてのことで、過去3回挑戦し、初の選考でもある。佐藤は卒業研究のなかで産まれたものであるが、4人のグループは知的財産権の授業の一環として応募し、今回実を結んだものである。



[0コメント](#)

[いわき市との共催で専攻科生特別研究成果公開發表会を実施](#)

投稿日時: 2008-01-30 01:35:12 : [平成19年度の話題](#)



去る1月30日(水)専攻科2年生の特別研究成果公开发表会をいわき市と共催でいわき市産業創造館において実施した。

今回の発表会では地域に密着した研究内容の成果をポスターセッションで20名の学生が発表した。市民・企業・官庁・保護者等250名程の来場者からの質問に分かりやすく説明するなど、本校の研究水準の高さと工学からビジネス領域までの幅広い教育・研究内容を十分に理解してもらえた発表会となった。今回初めての試みとして、地元企業4社が参加し製品開発例等を発表したほか、福島高専産学官連携コーディネータによる技術相談会も行われ地元企業が相談に訪れた。学生と企業人との交流も深まり、地域連携を重視した発表会を実現することができた。

来場者からの投票により選出される最優秀ポスター賞にはビジネスコミュニケーション学専攻の岡崎奈津美さん「福祉産業におけるビジネス展開に関する一考察(いわき市を事例に)」が選ばれ、佐東信司副校長(専攻科長)から表彰状と盾が贈られた。

この発表会は多くの報道機関で紹介され、高専教育が地域と連携した取組みとして公表された。

[0コメント](#)

[公開講座\(中学校教員のための理科実験教室\)を行いました。](#)

投稿日時: 2007-12-16 17:04:41 : [平成19年度の話題](#)

12月16日(日)に、本校の化学実験室で公開講座(中学校教員のための理科実験教室)を行いました(担当教員:物質工学科 天野仁司)。この講座は、実験で中学生の理科離れを防ぐことを目的としています。特別な器具や危険な薬品を使わずに、身近にある不思議な現象を体験できる実験を紹介するものです。実験器具を簡単な工作で作る「モノづくり体験」も含まれており、この講座での実習だけでなく、中学校での授業等での活用を期待しています。





[0コメント](#)

福島高専が国民生活金融公庫と産学連携協定を締結

投稿日時: 2007-12-03 17:04:08 : [平成19年度の話題](#)

福島高専(奈良宏一校長)と国民生活金融公庫(増田和典いわき支店長)との産学連携の協力推進に関する覚書の調印式が去る12月3日(月)に同校において執り行われた。同公庫では、現在までに全国14大学との間で覚書を締結しているが、高専との締結は全国でも初めてのもの。

本覚書は、相互の協力により地域の産学連携を推進し、地域社会の発展へ貢献することを目的としている。今後は地域の情報を交換しながら、福島高専の研究 成果等の技術シーズと中小企業等のニーズとのマッチング、技術相談などを行っていく。奈良校長、増田支店長はともに「この連携をきっかけとして、地域の人材育成や中小企業の活性化のために更に貢献していきたい」と挨拶した。

今回の連携協定は地域からも大きな関心が寄せられており、福島高専の研究成果がより円滑に地域に還元され、産学連携がさらに発展していくものと期待されている。



握手を交わす奈良校長(左)と増田支店長

[0コメント](#)

「金融と経済の明日」小論文コンクールで本校学生が佳作に入選

投稿日時: 2007-12-01 17:03:27 : [平成19年度の話題](#)

「金融と経済の明日」小論文コンクールで 4年建設環境の石岡花奈子が佳作に入選しました。作品タイトルは「社会に出るとは責任を負うこと」

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ron2007/07ron001.html>

[0コメント](#)

福島高専保有の「母子想像」が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定

投稿日時: 2007-11-30 16:37:53 : [平成19年度の話題](#)

No.3 福島高専保有の「母子想像」が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定

福島高専が保有する「母子想像(佐藤忠良作)」が、去る11月30日、経済産業省の発表した「近代化産業遺産」に認定された。今年度この認定を受けたのは、幕末から終戦にかけて日本の産業発展に貢献した歴史的な工場跡や港湾、鉱山など575件あり、「母子想像」は本州最大の埋蔵量を誇った福島県いわき市の常磐炭田関連遺産の一つとして認定を受けた。この像は1952年に常磐炭鉱(株)がいわき市内郷地区に設置したセメント像で、閉山後、同社から本校に寄贈され図書館前に据えられた。校内にある佐藤忠良氏の作品は「青年の像」に次いでこれが2作目となる。



[本校の中庭にたたずむ「母子想像」](#)

[0コメント](#)

[高専祭2007が開催されました。](#)

投稿日時: 2007-11-04 16:37:20 : 平成19年度の話

去る11月4日(日)、今年度の高専祭が実施されました。今回のメインテーマは「Shining! 今、輝く瞬間(とき)」。

[今年の高専祭は天候にも恵まれ、メインテーマが表すように輝く太陽の日差しが 降り注ぐ中、1500名弱の来場者が学科展示や各種催し物を楽しみました。一昨年度から、従来2年・3年周期で開催されていた高専祭を毎年開催することを 目標にして取り組んでいます、その取り組みも今年で3年目になります。](#)





[0コメント](#)

第14回東北地区高等専門学校文化部発表会 写真部門にて3作品が入賞しました。

投稿日時: 2007-11-01 16:36:26 : 平成19年度の話題

東北地区高等専門学校文化部発表会の出品作品の審査が鶴岡高専(主管校)にて行なわれ、写真部門では特選1作品、入選5作品が選定されました。福島高専 からは3作品が入賞しました。全作品は東北地区7高専にて移動式で展示され、福島高専では平成20年1月28日?2月1日の期間に展示されます。

東北地区文化部発表会 写真部門

特選「絵本の輝き」 加藤湧亮 (1年建設)

入選「夏家族」 庄子沙織 (2年物質)

入選「技」 佐藤大志 (3年機械)

[0コメント](#)

防災訓練を実施しました。

投稿日時: 2007-10-24 16:35:52 : 平成19年度の話題

10月24日(水)防災訓練を実施しました。総合訓練では震度5強の地震、二次災害として火災の発生を想定し、避難訓練、救助訓練等を行いました。部分訓練では3年生及び教職員を対象に消火器の操作方法等の訓練を行いました。



[第一グラウンドへ避難する学生と教職員](#)



[消火器の使用方法について指導を受ける3年生](#)



[消火器を使って実際に炎を消火しました](#)

[0コメント](#)

[平成19年度いわき地区高等学校写真連盟写真展](#)

投稿日時: 2007-10-20 16:35:17 : 平成19年度の話題

[10月18日\(木\)?20日\(土\) いわき市文化センターにて、平成19年度いわき地区高等学校写真連盟写真展が開催されました。市内7校の写真部員の作品144点が出展され、4名の審査員\(いわき市写真士会、いわき民報社\)の審査により、特選1、準特選2、入選10、佳作2が選定されました。福島高専写真部からは、次の3作品が入選となりました。](#)

[「春爛漫」](#) 3年機械 佐藤大志

[「太平洋の日差し」](#) 1年建設 加藤湧亮

[「海を眺めながら」](#) 1年建設 加藤湧亮



[審査風景](#)

[0コメント](#)

[アイデア対決・高等専門学校ロボットコンテストにおいて、本校のチームが「技術賞」と「風林火山賞」をダブル受賞し、全国大会出場権\(審査員推薦\)を獲得しました。](#)

投稿日時: 2007-10-14 16:34:46 : 平成19年度の話題

[10月14日に宮城県名取市の名取市民体育館で行われた「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2007」において、福島高専Bチーム\(指導教員:機械工学科 鈴木茂和\)は、準優勝したチームに2回戦で敗れましたが、技術賞と風林火山賞を受賞し、審査員推薦枠で全国大会出場権を獲得しました。](#)



機馬



派遣メンバー

[0コメント](#)

赤井中学校の1年生が「訪問学習」のため来校

投稿日時: 2007-10-03 16:34:38 : 平成19年度の話

10月3日(水)、「総合的な学習の時間」を利用して、いわき市立赤井中学校の1年生6名(男女各3名)が本校に来校し、「訪問学習」を行った。

約2時間のうち、前半は、高専制度、生徒と学生の違い、専門学科とカリキュラム、学生生活や課外活動などについて紹介をした後に、福島高専に関することから普段の学習に関することなど幅広い質問を受けた。後半は、施設見学を行い、管理棟・専門学科棟・専攻科棟に続き、生徒の希望があった実験室をはじめ、保健室、図書館、体育館、情報教育センター、地域環境テクノセンターなどを案内した。参加した生徒らは「今回の訪問学習で、福島高専のことを身近に感じることができた。3年生になったら受験したい。」と、本校への興味を持ってもらうことができた。



説明を聞く中学生達

[0コメント](#)

「自転車ハンドル固定装置」の試作品第1弾がふくしまユニバーサルデザインフェアに登場

投稿日時: 2007-09-30 19:28:33 : 平成19年度の話

建設環境工学科4年の阿部美緒さんは、研究室のメンバーとともに財団法人郡山地域テクノポリス推進機構主催のユニバーサルデザイン製品開発事業アイデア募集に応募し、見事採用されました。これは、これからの社会において必要とされる誰にでも便利でやさしい製品のアイデアを募ったもので、阿部さんのアイデア「自転車ハンドル固定装置」は、県民から187点の応募があった中で、最終的に選定された2テーマの一つとして選ばれたものです。試作品第1弾が、9月28日?30日にかけて開催されたふくしまユニバーサルデザインフェアに登場しました。今後は製作に手をあげた郡山市の日ノ出工機株式会社とともに、消費者モ

ニタリング等を通して本格的な製品化・実用化に向けて取り組んでいく予定です。



0コメント

本校未来科学研究会IGNITIERによる「いわき市発明発見教室 モデルロケットを飛ばそう」を開催しました。

投稿日時: 2007-09-29 19:30:19 : 平成19年度の話

9月29日、福島高専では、本校未来科学研究会IGNITIERによる「いわき市発明発見教室 モデルロケットを飛ばそう」を開催した。

この発明発見教室は、いわき市内で学ぶ小中学校の児童生徒に、ものづくりの楽しさ・面白さを体感させ、身近な現象などの疑問を解決する場を提供することを目的として毎年開催される公開講座である。

昨年に引き続き開催された本講座は、市内の小中学生32組が参加した。午前中は、モデルロケット工学や安全な取扱いなどの座学及び確認テストとロケット・キット製作実習を、午後は、打ち上げ前の安全確認及び打ち上げ実習を行った。

当日は天候にも恵まれ、参加者が製作したロケットが次々と大空へ吸い込まれるたびに、参加者から大きな歓声が湧き起こった。

担当教員及び学生は「楽しみながら学んでもらうことを心掛けた」といい、全てのロケットが安全に打ち上げられ、確認テストにおいても良好な結果を得られた。講座終了後も、参加者や保護者から多くの質問を受けるなど、充実したものとなった。



ロケット作成風景



[ロケット発射](#)

[0コメント](#)

[ミニ研発表会が行われました](#)

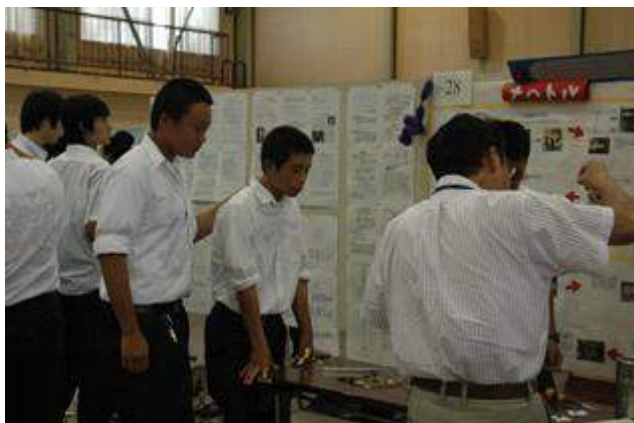
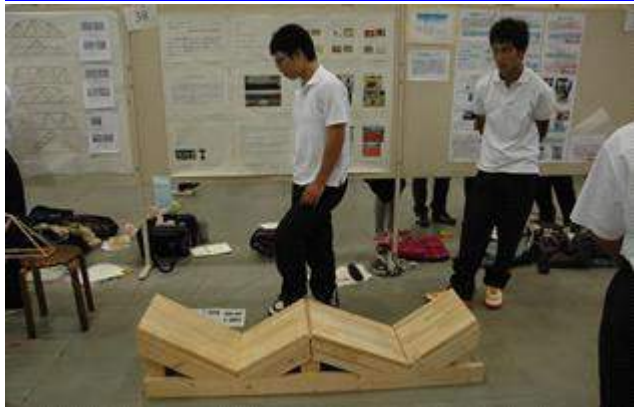
投稿日時: 2007-09-26 19:25:10 : 平成19年度の話

福島高専で九月二十六日、平成十九年度「ミニ研究」発表会が行われ、二年生全員が半年間の研究成果を公表した。

「ミニ研究」とは、低学年のうちに「自分で調べる・考える・文章にまとめる・報告する・人前で発表する」という過程を訓練しておくことを目的として、昨年度から本校で実施されている授業科目(一単位)である。成績は、指導教員と発表を聞いた三人以上の教員の評点で決まるため、発表する学生たちの表情は真剣だ。

本年の発表テーマは四十八。指導教員の専門分野で開講されるため、自然科学系のほか、人文・社会科学系のテーマも少なくない。

発表会は、ポスターセッション形式によるもののほか、制作品の展示解説、パソコンでプログラムを実演するものなどもあった。会場には一年生も多数訪れ、来年の発表をイメージしながら熱心に聞き入っていた。



[0コメント](#)

[福島高専で「外部研究資金獲得に関する講習会」開催](#)

投稿日時: 2007-09-21 19:29:34 : 平成19年度の話

福島高専は、教職員を対象にした「外部研究資金獲得に関する講習会」を去る9月21日(金)に開催した。

今回の講演会は全教職員を対象に、外部研究資金導入の内、特に科学研究費補助金の採択数向上を目指し開催されたもので、講師は本校奈良宏一校長が務めた。講演会では研究種目、配分状況、審査の流れや

仕組み、研究計画調書記入のポイント等が説明された。その後、本校事務職員から平成20年度科研費に係る旧年度からの変更点や管理・執行について説明が行われた。また今回は、外部研究資金の不正使用防止に関するガイドラインについても説明が行われ、外部研究資金の不正使用防止が呼び掛けられた。参加した教職員はメモを取るなどしながら熱心に聴講していた。



[0コメント](#)

福島高専、能力開発センターとの協力関係に第一歩

投稿日時: 2007-09-21 19:27:39 : 平成19年度の話題

福島高専技術部では雇用・能力開発機構いわき職業能力開発センターとの協力関係構築の第一歩として、本校としては初めて同センターにおける技術職員の実務研修を行った。研修期間は学生の夏期休業期間中の9月6日から9月21日の約2週間で行われた。

研修目的は現在企業等で必要とされるCAD/CAMによる設計からマシニングセンターによる実際の加工までの技能・技術や知識を学ぶこと、もう一つは離職者訓練で培った技術者育成のカリキュラムや手法やノウハウ等を学ぶこと、さらに同機構が行っている企業向けのニーズ調査の手法等について学ぶことである。今回、学んだことを今後の学生実験・実習に生かしていくとともに、これを機会に高専と職業能力開発センターの協力関係を模索していきたい。



[0コメント](#)

公開講座「ルービックキューブであそぼう」

投稿日時: 2007-09-15 19:23:39 : 平成19年度の話

9月8日、15日の両日、福島高専では 数学科教員を中心とし、中学生4名と保護者1名（5人）を対象に公開講座「ルービックキューブであそぼう」を開催しました。今年で2回目となる本講座は、小・中学生の理数系離れが深刻な問題となっている中、身近な数学の研究対象であるルービック・キューブの 解き方について初歩から解説し、基本的な2×2×2 ルービック・キューブの完全習得を目的としたものです。数学とルービック・キューブの関係の説明を受けて ルービック・キューブの奥深さに関心する受講生や 1日目からコツをつかんで早速、完成できるようになった 受講生もあり、充実したものとなりました。



[0コメント](#)

中央台南中学校 3年生が「環境校外学習」のため来校

投稿日時: 2007-09-11 19:24:07 : 平成19年度の話

9月11日(火)、いわき市立中央台南中学校の 3年生 30名が来校し「環境校外学習」を行なった。前半の講義では、種々のエネルギー、地球温暖化が起こる原因、温暖化によって起こり得る現象の説明、温暖化防止に役立つ新エネルギーの一つである太陽光発電の説明を受け、後半では2班に分かれて太陽光発電設備(電気工学科棟屋上)を見学した。

講義および見学の際には活発に質問があり、また、見学が終わった後にとったアンケートでは、説明が「良くわかった」+「普通」が7割、この学習の満足度「十分」+「おおむね」が9割に達し、生徒の皆さんの学習意欲の高さと日々の学習の充実が強く感じられた。また、感想・意見欄には、「これまで知らなかった様々な知識が得られた」、「地球温暖化防止のためにエネルギーの節約について考えてみようと思った」等々があり、今回の環境学習も生徒達に一つのきっかけを与えることができたものと思われます。



[熱心に受講する参加者](#)



[太陽光発電設備の見学](#)

[0コメント](#)

[「第2回 親子で大空へチャレンジー滞空模型飛行機を飛ばそうー」福島高専技術部主催](#)

投稿日時: 2007-09-09 19:22:08 : 平成19年度の話題

福島高専では技術部主催で、小学校5?6年生(保護者同伴)15組(30人)を対象に、第2回目の公開講座を去る九月八日(土)?九日(日)の両日開催しました。この公開講座は、親子で昔懐かしいゴム動力模型飛行機を制作し、2日目に実際に大空へ飛ばして滞空時間を競うものです。参加された親子の中には、普段親子で協力して一つのものを作ったりする機会は少ないようで、大変喜んでおられました。ある講演で、「子供の頃に自然体験やモノづくりを行わないと、創造力等が身に付かないと聞きました。今後、この公開講座で少しでも子供たちが楽しく「モノ」づくりが出来るように適切なテーマを選んで継続していきたいと思っています。受講終了後のアンケートにおいて、殆どの受講者が満足されたようで、その中でも「是非、福島高専で子供を学ばせたい」との保護者もおられ、講座の目的の一つが達成できたのではないかと考えております。



[0コメント](#)

[小中学校の先生を対象とした「モノづくり教室」セミナー](#)

投稿日時: 2007-09-08 19:24:44 : 平成19年度の話題

小中学生のモノづくりを推進するため、地域の小中学校の先生を対象とした「モノづくり教室」セミナーを9月8日(土)に福島高専で開催した。福島県中学生ロボット競技会を毎年開催しているが、積極的にモノづくりを指導する先生のいない中学校からの参加は困難である。このため、本学の技術を小中学校の先生方へ技術支援する事を目的とし、今回は9名の先生方の参加で、「赤外線追従型ロボットの製作」を行った。

はじめに、製作ロボットに関する講義を行い、その後、機械部品の加工や部品の組み立てを行った。さらに、電子回路の組み立てや調整に苦慮しながらロボットを完成させた。完成ロボットで赤外線追従によるコース走行およびライントレース走行競技を実施した。

参加者は、機械部分の組み立て、電子回路の製作、赤外線センサ部の調整等において難しいところもあったが、ロボットの完成および試走を達成し、モノづくりの喜び・充実感を満喫できたセミナーであったと述べている。また、完成させたロボットを生徒に自慢しながら生徒指導に当たり、来年も是非参加したいと継続を依頼された。



ロボット製作の様子

0コメント

福島高専提案のプログラム「マルチメディア活用型ピアサポートシステム」が、文部科学省の平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択される

投稿日時: 2007-09-07 19:21:07 : 平成19年度の話題

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」は、学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを採択するもので、全国の高専では11校が採択され、また、福島高専にとっては本プログラムの採択により、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)、「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に続いて3つ目の採択となった。

このたび採択された福島高専提案のプログラム「マルチメディア活用型ピアサポートシステム」は、福島高専コミュニケーション情報学科で培われたマルチメディア技術を用いて、学生が相互に支援しあうシステムです。情報端末としてはモバイル端末を用い、学生が学業や課外活動の状況をサーバーに記録・蓄積し、互いに利用することができます。また、このシステムは地域の皆様とも情報を共有するシステムへもステップアップする予定です。

なお、このプログラムの担当者は、副校長(学生主事)で一般教科(物理)の根本信行教授です。

0コメント

久之浜中学校の1年生が「訪問学習」のため来校

投稿日時: 2007-09-04 19:20:29 : 平成19年度の話題

9月4日(火)、いわき市立久之浜中学校の1年生7名が来校し「訪問学習」を行った。これは、「総合的な学習の時間」の中で、生徒各自の興味関心に基づいて、市内の上級学校を調べ、将来を見つめ、進路計画を立てるものである。7名の中には、昨年度のロボコンのオブジェ「フタバスズキリュウ」の制作メンバー(久之浜

二小出身)もいた。

前半では、福島高専の沿革や特色、学生生活やクラブ活動、本科および専攻科についての「概要説明」がなされた後、活発な「質疑応答」が行われた。後半の「施設の見学」は、管理棟、専門学科棟、専攻科棟だけでなく、磐陽会館、図書館、体育館、さらに水泳部の生徒の希望でプールも見学し、充実したものになった。



質疑応答の様子



学内見学をする参加者たち

[0コメント](#)

東北地区工業高等専門学校学生リーダー交流会

投稿日時: 2007-09-02 19:23:05 : 平成19年度の話題

東北地区7高専の課外活動等に所属するリーダーがともに集い、各高専における活動上の問題点について討議を行い、同時に高専間の学生交流の活性化を深める ことにより、視野の広い学生リーダーを育成することを目的とした学生リーダー交流会を9月1日(土)・2日(日)に福島高専において開催した。交流会は体育系・技術系・文化系及び学生会系の3グループに分かれ意見交換並びに討議を行い、更に全体会において各分科会における討議内容を報告し、各部会における 問題点及び全体に関わる事項について討議を行った。参加した学生は討議後の情報交換等により各校の実情に触れ交流を深めた様子であった。





[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=8>>

第42回全国高専体育大会(於四国地区)にて本校選手が活躍しました

投稿日時: 2007-08-26 14:16:22 : 平成19年度の話

月18日～26日に四国地区で開催された第42回全国高専体育大会に於いて、陸上競技男子1600メートルリレー(3年連続)、水泳男子800メートル自由形(2年連続)、水泳女子50メートル背泳(4年連続)、卓球女子シングルス(3年連続)・ダブルス(4年連続)で優勝しました。その他、多くの個人種目で好成績をあげました。団体種目では、水泳男女総合2位、卓球男子団体3位の成績でした。来年度は、北海道地区で開催されますが、さらなる好成績を期待します。



3年連続優勝の本校1600メートルメンバー



好成績の卓球女子メンバーと校長先生



力泳した本校水泳部チーム

[0コメント](#)

「ユニバーサルデザイン製品開発事業」のアイデア募集にて建設環境工学科4年阿部美緒さんの案が採択されました。

投稿日時: 2007-08-10 13:53:36 : [平成19年度の話題](#)

財団法人郡山地域テクノポリス機構が 募集しておりました「ユニバーサルデザイン 製品開発事業」のアイデア募集に対して、建設環境工学科の学生が授業時間内外で考案し、応募しました。その結果、4年生の阿部美緒さんのアイデア が一次採用され、さらにその後の審査により、案の採択が決定しました。

今後、企業や関係者とともに本格的に製品化 していく予定となっております。

ちなみに、阿部さんの考案した内容は、毎朝 通学に利用している「自転車」についてです。

今回のことは、思いも寄らない結果という感想 ですが、身近なところに目を向けて、考えること からも、(システム)デザイン能力を養うことや さまざまな連携につながるということを実感して おります。

[0コメント](#)

福島高専、「平成19年度一日体験入学」を実施

投稿日時: 2007-08-07 14:14:45 : [平成19年度の話題](#)

福島高専では、例年実施している中学3年生対象の「一日体験入学」を8月7日(火)午前の部(1回目)、午後の部(2回目)、8日(水)午前の部(3回目)の計3回に分け2日間にわたり開催した。

今年の体験入学は猛暑のなかでの開催となったが、県内外102校(県内96校、県外6校)から、生徒485名、保護者165名、教諭31名の合計687名の参加者があった。

参加者はそれぞれ5つの班に分かれ、各学科のデモ実験等(各学科のテーマ名は下記のとおり)の体験、「学校紹介コーナー」で高専制度、授業内容及びクラブ活動状況のパネルや写真を見て回ったほか、「入試相談コーナー」での入試に関する質問・相談、「交流コーナー」での知能ロボットの実演見学などを約4時間 にわたり熱心に行った。

同校の体験入学は5学科全部を見学できることや一部参加型体験学習ができること、また、補助員を勤める在学生の積極的な態度や親切でわかりやすい対応説明などに対して、参加者からは高い評価(9割強)が得られた。

各学科のデモ実験テーマ

学科名	テーマ名
機械工学科	モノづくりの夢を「カタチ」にしよう！
電気工学科	ふれてみよう電子情報の世界
物質工学科	化学への招待
建設環境工学科	環境にやさしい建設技術
コミュニケーション情報学科	Reach Your Dreams



[0コメント](#)

[福島高専が文部科学省公募事業 平成19年度大学改革推進事業「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」\(現代GP\)及び「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に同時採択](#)

投稿日時: 2007-08-01 14:13:59 : [平成19年度の話題](#)

福島高専は今年度、文部科学省大学改革推進事業「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)と、再チャレンジ支援事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」が採択された。現代GP(Good Preactice)は、大学、短期大学、高等専門学校等を通じた教育改革を推進するため社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から申請された取組の中から特に優れた取組を選定して財政支援等を行い、高等教育の活性化を図ることを目的としたもの。福島高専から提案のテーマ3「知的 財産・コンテンツ関連教育の推進」で、「マーケティングを意識した技術者教育?シーズとニーズをマッチングさせる技術?ビジネスのシナジーを活かした早期 教育の実践?」が採択された。

「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」は、チャレンジ担当大臣を議長とする「多様な機会のある社会」推進会議が策定した「再チャレンジ支援総合プラン」を基に、平成19年度から始まった事業である。福島高専からの提案の中で、「地域の環境資源を活用した教育の実践ができる小学校教員等の養成プログラム」が採択された。事業期間はいずれも3年間。今年度、同時採択されたのは全国でも珍しく、県内の高等教育機関では福島高専のみ、全国の高専では本校の他、石川高専と福井高専の3校のみである。[\(事業の趣旨及び事業の内容は別紙資料のとおり\)](#)。

校長コメント

「今後、この競争的資金を多数取得していく必要がある。その中で今回2件採択されたことは非情に喜ばしい。現在『学生支援GP』についてヒアリングの対象になっており、今後も競争的資金を獲得し、地域に貢献できるよう努力します。」

[0コメント](#)

[「平成19年度第2回発明発見教室 藍染を体験してみよう」が本校で行われました。](#)

投稿日時: 2007-07-29 14:15:54 : [平成19年度の話題](#)

7月29日(日)に、いわき市との提携事業である「平成19年度第2回発明発見教室 藍染を体験してみよう」が本校で行われました。当日は、普通の草の葉に見える「タデアイ」から、青や紫の色が現れる不思議さを体験できました。また、昼休みにには、「高専ロボットコンテスト」出場機の製作現場も見学し、楽しい1日を過ごしました。(主催:福島高専・いわき市 共催:いわき科学技術支援プロジェクト研究会 指導:物質工学科教授 天野仁司)



色素の抽出



叩き染め

[0コメント](#)

「中学生のためのプログラミング入門」「第2回中学生プログラミングコンテスト」が行われました。

投稿日時: 2007-07-28 13:52:57 : [平成19年度の話](#)

7月28日(土)、29日(日)に公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が行われました。今回は参加者が60名にのぼり、情報センター基礎情報演習室、コミュニケーション情報学科棟コミュニケーション情報演習室の2室に分けて、十進BASICの講義を行いました。講義はプログラミング愛好会の学生たちにしてもらいました。8月5日(日)には本校主催の「第2回中学生プログラミングコンテスト」をコミュニケーション情報演習室で行い、8チーム、合計21名の中学生たちに参加していただきました。1チーム3名までで、制限時間2時間のなかでチームで協力して20題の小問題を十進BASICで解いてもらうというもので、会場のスクリーンには各チームのスコアがリアルタイムに表示され、臨場感あふれる雰囲気の中で、あっという間に2時間が過ぎていきました。問題は各5点の初級問題が12問、各10点の中級問題が6問、各20点の上級問題が2問で160点満点でした。1位は小名浜一中Aチームで90点、2位は宇宙君、3位はビギナーズでした。2位、3位はともに85点でしたが、さきに85点に達したチームを2位としました。高校、高専生にも劣らない粘り強さを発揮してくれた中学生の皆さんの今後のご活躍を期待しております。多数の参加、誠にありがとうございました。



公開講座にて学生が講義しています



閉会式にて修了証書の授与



一生懸命コンテストの問題を解いています

[0コメント](#)

「平成19年度中学生のための英語セミナー」開催される

投稿日時: 2007-07-28 13:51:46 : [平成19年度の話題](#)

去る7月28日(土)に上記公開講座が本校を会場に開催された。この催しは本校にCALL(コンピュータを利用した語学ラボ)が設置されたのを機に、一昨 年より実施されており、地域の中学生にもこの設備を利用した英語学習を体験してもらい、本校教育への理解をいっそう深めてもらうことを目的としている。

今年は市内外より多数の受講希望者があり、最終的に19名が参加して実施された。開校式後2班に分かれて、非常勤講師の坂内キャスリンさん指導による英 会話と、CALLでの活動がスタートした。ビデオ映像を見ながら内容理解問題に取り組んだり、英検の問題に挑戦したり、インターネットで様々な英語学習サ イトを訪れたり、普段教室での英語授業では体験できない多彩な活動を体験した。

また、実際に英語を使う活動を増やしてほしいという過去の受講者からの要望に応じて、簡単な英語劇を実演することも活動の柱に据えている。自分の朗読を パソコンに吹き込み、波形表示させた上でモデル音声と聞き比べたり、パートごとに指導教員のアドバイスを受けながら実演練習を重ねたりと、懸命に努力を重ねた。最後の発表会では皆ユーモラスな中にも熱のこもった演技を披露し、一同大満足の内に終了することができた。



セミナーの様子



全体記念写真

[0コメント](#)

[発達障害に関する講演会を開催](#)

投稿日時: 2007-07-27 14:15:15 : [平成19年度の話題](#)

福島高専では、去る7月27日に福島学院大学福祉学部長で医学博士の星野仁彦教授(児童青年精神医学が専門)を招き、「軽度発達障害の理解と対応」と題する教職員対象の講演会を開催した。

本講演は、平成17年4月施行された発達障害者支援法を踏まえて、まず教職員が発達障害とは何かを理解し、障害を抱える学生に対応できるよう開催されたものである。

講演では、ADHD、LDの症状と要因についての説明があったほか、教職員に対して「集団の中の個別的配慮」をすべきことが提示された。また、アスペルガー症候群の具体例と支援方法の説明もわかりやすく、活発な質疑応答も行われ、意義深い講演会となった。



講演する星野教授

[0コメント](#)

[電気工学科卒研生飯塚昭人さんが、全国高専で初めて「電気学会優秀論文発表A賞」受賞](#)

投稿日時: 2007-07-25 13:47:06 : [平成19年度の話題](#)

平成17年度に福島高専電気工学科5年に在籍していた飯塚昭人さん(現、出光興産勤務)が、電気学会の研究会で発表した論文が評価され、「平成18年電気学会優秀論文発表A賞」を受賞した。同学会の「優秀論文発表A賞」の高専学生(本科生、専攻科生を含む)の受賞例は過去になく全国高専で初めてとなる。

飯塚昭人さん(当時20歳)は、同校電気工学科在学中に卒業研究で取り組んだ「反磁性材料を用いた新たな非接触ディスク・ドライブ・システムの試作」を、18年1月に東京の産業技術総合研究所で開催された「超電導応用電力機器・リニアドライブ合同研究会」で発表した。この論文では、全く新しい構成の永久磁石と反磁性グラファイト円板を用いて、「室温で完全に非接触・無制御で安定に磁気支持回転できる新たなモデル」を実現したことを報告し、その論文の仕上り・研究内容、および発表の仕方や質疑応答などの点で評価され、今回の受賞となった。

指導した電気工学科鈴木晴彦教授は・・・「電気学会優秀論文発表A賞は、電気学会員でない大学教員や大学院生、一般企業研究者であっても、35歳以下であれば受賞の対象となるため、対象となる発表者が数多く、内容も高度なものとなるため、高専学生(特に本科5年生)が受賞することは異例と思われる。受賞を聞いたときは信じられなかった。」「今後も高専卒研生、専攻科生に対し、研究発表のチャンスを与え続けていきたい。」



[0コメント](#)

JABEE認定プログラム修了証授与式を举行

投稿日時: 2007-07-21 13:55:46 : [平成19年度の話題](#)

去る7月21日に、本校の技術者教育プログラム「産業技術システム工学」がJABEEより認定を受けたことに伴い、河村理事ご臨席のもと第1回JABEE認定プログラム修了証授与式が本校大会議室において举行された。

授与式には平成18年度に本校のプログラムを修了した機械・電気システム工学専攻および物質・環境システム工学専攻修了生18名のうち11名が出席した。

授与式終了後には河村理事を囲んで教員と修了生との懇談会が行われた。修了生から近況報告と今後の技術士受験に向けての抱負等が述べられた。



修了証書を手に



懇談会の様子

[0コメント](#)

高専機構河村理事が福島高専で講演

投稿日時: 2007-07-20 13:56:12 : [平成19年度の話題](#)

去る7月20日、高専機構本部河村潤子理事が来校され、教職員を対象に「国立高専の課題と展望」と題して、教育政策、科学技術政策・産業政策、行政改革について講演された。また、講演に先立ち学内を視察され、専攻科生の研究内容や本科学士の授業風景及びモノづくり実習など各専門学科の実験・実習内容について、担当教員からの説明に耳を傾けられていた。講演終了後、意見交換会が行われ、予定時間を越える活発な意見交換と質疑応答が行われた。



授業風景の視察



講演を行う河村理事

[0コメント](#)

[本校教員が2007PCカンファランスで優秀賞を受賞しました](#)

投稿日時: 2007-07-15 13:54:57 : [平成19年度の話題](#)

学生が多くの時間を過ごす教室内で、マルチメディア端末を用いて、講義・実験ビデオ・音声教材の配信、授業アンケート・小テスト・電子メール、授業資料のダウンロード・授業レポートの提出・簡単なネット情報検索の内容が実現できれば、日々の学習支援に多に役立つと考え、本校eラーニング教材開発グループ(布施雅彦(現在教員交流で茨城高専へ)・三浦靖一郎・西山公紀・鈴木三男・根本信行)が低価格な簡易eキャンパスの実験を試みました。2007PCカンファランスでポスター発表し、【優秀ポスター賞】を受賞しました。「マルチメディア携帯モバイル端末を活用した学習支援システムの試み」は、ICTの教育専門家から高い評価を得たものであり、今後の研究の進展に期待したい。

詳細は、下記URLを参照されたい。

<http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2007/index.html>

<http://www.gakkai-center.jp/pcc/2007/report/timetable/timetable5.html>



[0コメント](#)

第一回京都大学エネルギー理工学研究所・福島工業高等専門学校連携講演会を開催

投稿日時: 2007-07-13 13:57:05 : 平成19年度の話題

今年度から開始された文部科学省の原子力分野における人材育成プログラムで、本校は「原子力教授人材充実プログラム」の採択を受けた。これを積極的に推進するため、京都大学エネルギー理工学研究所と原子力分野における人材育成、産官学連携の推進、学生等の教育・研究支援を目指し、第一回連携講演会を平成19年7月13日に学士会館で開催した。京都大学エネルギー理工学研究所香山晃所長、福島工業高等専門学校奈良宏一校長の挨拶で開会し、文部科学省大臣官房板谷憲次審議官をはじめ6名の講師による講演が行われた。参加者は教育機関・企業関係者で50名を超えたが、特に電力関係企業から多くの参加があった。



講演会の様子

[0コメント](#)

東北地区高専体育大会で好成績をおさめ、全国大会に多くのクラブが出場します。また、帰路にて福島高専生らしさを発揮しました。

投稿日時: 2007-07-08 13:46:15 : 平成19年度の話題

7月7,8日に開催された第44回東北地区高専体育大会において、八戸大会では陸上競技男子団体優勝(連続21回)同女子団体優勝(連続7回)、テニス男子団体優勝(連続4回)同女子団体優勝(連続6回)、卓球男子団体準優勝(全国大会出場)同女子個人完全制覇、剣道女子個人優勝(連続3回)、宮城大会ではサッカー・ソフトテニス男子団体準優勝(其々全国大会出場)、水泳団体準優勝(男女個人種目で多数全国大会出場)等、好成績をおさめました。8月下旬四国地区で実施される全国大会に、団体や個人で多くの本校選手が出場します。(詳細は、下記ホームページでご覧下さい)

また、優勝した宮城高専に予選で惜しくも敗れたバスケットボールチームは、帰路の国見SAで福島高専生らしさを発揮しました。バスのエンジントラブルに見舞われ代車を待つ間、観光客が無造作に捨てたゴミで荒れ放題のゴミ集積所付近を自主的・献身的に清掃しました。素手でゴミを分別し、持参したポリ袋にまとめました。それらのゴミは、大きな袋で20程度ありました。居合わせた観光客から感謝され、賞賛されました。

<http://www.hachinohe-ct.ac.jp/~gakusei/07h-taikai/07h-taikai.htm>

<http://mnctsa.miyagi-ct.ac.jp/taikai2007/sokuhou/index.html>



[男女優勝の陸上競技部](#)



[接戦を制して優勝したテニス部男子チーム](#)



[フェアプレーのバスケットボール部](#)

[0コメント](#)

[ベンチャー企業取締役の高専生 大澤君が天才プログラマー／スーパークリエイターに認定](#)

投稿日時: 2007-06-28 14:13:24 : 平成19年度の話

去る6月28日、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 主催の「IPAX2007」において、福島高専電気工学科5年生の大澤昇平君が、昨年度の「未踏ユース」部門の成果が認められ、2006年度上期「天才プログラマー／スーパークリエイター」に認定された。

現在、大澤君は、5月に立ち上げたベンチャー企業(株式会社Curio)の取締役として、学生と起業家の二足のわらじをはいている。この会社は、IPAの2007年度「中小ITベンチャー支援事業」にも採択され、大澤君は学業と企業経営の両立で忙しい毎日を送っている。

先日、筑波大学の編入学試験にも合格し、高専卒業後は筑波大学生として、会社経営を継続して行く予定である。



[認定を喜ぶ大澤君\(右から2人目\)と奈良校長\(左から2人目\) 及び指導教員の2人](#)

[0コメント](#)

[第19回知能ロボットコンテスト2007のチャレンジコースで本校分子生物学愛好会のチームが「あすなろ賞」を受賞しました。](#)

[投稿日時: 2007-06-24 13:44:47 : 平成19年度の話](#)

[6月23日\(土\)、24日\(日\)に仙台市科学館で行われた第19回知能ロボットコンテスト2007のチャレンジコースで、本校分子生物学愛好会のチーム「堀越くまさんTetraploid」が「あすなろ賞」を受賞しました。決勝は惜しくもマシントラブルで5位に終わりましたが、直前の二次予選は1位で通過し選手宣誓の大役も務めました。\(チームメンバー:物質工学科2年 横田愛梨・山中美歩・高木春香 指導:物質工学科教授 天野仁司\)](#)



[選手宣誓](#)



[競技](#)



[表彰](#)

[0コメント](#)

[「平成19年度第1回発明発見教室 ゲルマニウムラジオを作ろう」が本校で行われました。](#)

投稿日時: 2007-06-10 13:44:04 : 平成19年度の話

[6月10日\(日\)に、いわき市との提携事業である「平成19年度第1回発明発見教室 ゲルマニウムラジオを作ろう」が本校で行われました。当日は、あいにく小雨の降る天候でしたが、電池を使わず、自分で作った部品で作ったラジオから音が聞こえたときは、驚きと感動でいっぱいでした。\(主催:福島高専・いわき市 共催:いわき科学技術教育支援プロジェクト研究会 指導:物質工学科教授 天野仁司\)](#)



[製作シーン1](#)



[製作シーン2](#)



[試聴](#)

[福島高専「中学生と保護者を対象とした学校説明会」を開催 ?福島県内5会場と北茨城1会場に396名が参加し入試広報の幕開け?](#)

投稿日時: 2007-05-20 13:42:31 : 平成19年度の話題

福島工業高等専門学校(奈良宏一校長)では、5月19(土)と20(日)の2日間に わたり福島県内及び北茨城の中学生とその保護者を対象にした学校説明会を開催した。この説明会は、従来から実施している中学校訪問や体験入学の布石として、平成16年度から開催し入試広報の成果(入学者の確保)を上げているものである。今年度は、いわき地区(福島高専会場)に221名、相双地区に44名、県北地区に 26名、郡山地区に65名、会津地区に22名、北茨城地区に18名、合計396名の参加があり各地区において説明を熱心に聞き入る中学生や保護者の姿が印象的であり、校長はじめ説明を担当した教員の熱意が伝わる説明会となり、福島高専の平成20年度入試広報活動がスタートした。



[0コメント](#)

[卓球部 高体連いわき地区大会6冠達成](#)

投稿日時: 2007-05-13 13:41:16 : 平成19年度の話題

卓球部は、5月11日?13日に行われた高校体育大会いわき地区大会で、男子学校対抗・ダブルス・シングルス、女子学校対抗・ダブルス・シングルの全種目で優勝し、6冠を達成した。男子は、新人戦で優勝していたので、1位を堅守したが、メンバーがいなくて新人戦不参加だった女子は、新入生の大活躍で、予想を上回る好成績を残した。4月から新入生がたくさん入部し、部全体にみなぎる活気が優勝を後押ししてくれた。新人戦で一度6冠を取ったことはあるが、高校大会での6冠は初の快挙である。

[0コメント](#)

[学生と教職員による全校清掃を実施](#)

投稿日時: 2007-05-09 13:41:52 : 平成19年度の話題

福島高専では5月と10月の年2回、全学生及び教職員による「全校清掃日」を定めており、平成19年度第1回目の全校清掃を去る5月9日(水)に実施した。この行事はいわき市が実施している「平成19年度春のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」の主旨に沿ったものであり、本校敷地内の大掃除はもとより、近隣市道のゴミ拾いやバス待合所付近の草刈り等、奈良校長を先頭に全学一体となって初夏の暑い日差しの中、汗を流した。



[学生とともに作業する奈良校長\(手前\)](#)



学校周辺の市道のゴミ拾い

0コメント

名誉教授称号授与式を挙行

投稿日時: 2007-05-08 13:39:36 : 平成19年度の話題

この3月末に定年で退職された、本校前校長安久正紘先生、一般教科教授亀井宣男先生及び建設環境工学科教授橋本孝一先生の在職時の教育・学術上の功績に対し、名誉教授の称号を授与しました。
授与式は、5月8日に行われ、3主事、各学科長及び事務部長立ち会いのもと、奈良校長から辞令書が交付されました。



(写真:前列左より、亀井宣男先生、奈良校長、安久先生、橋本先生)

0コメント

第9回全日本中学高校Webコンテストにて銀賞受賞

投稿日時: 2007-04-27 13:37:26 : 平成19年度の話題

2006年秋から開催されていた、第9回全日本中学高校Webコンテスト ThinkQuest@JAPAN2007の高校生の部(規定部門)において、本校プログラミング 愛好会からエントリーしていた、「どっちの神様(伝)承」(芸術・文学)が ファイナリストとして、最終審査に残り、4月27日に銀賞を受賞しました。これは、2年前の最優秀賞に続く好成績です。詳細は、<http://thinkquest.jp/library/tqj2007win.html>をご覧ください。

0コメント

本校機械工学科 佐東信司教授が文部科学大臣賞を受賞

投稿日時: 2007-04-25 13:36:41 : 平成19年度の話題

本校機械工学科 佐東信司教授が国立高専教員顕彰の最高賞である文部科学大臣賞を受賞した。同賞は、国立高等専門学校における教育活動、学生生活指導、地域社会への貢献等が総合的に評価され、全国55高専で校長推薦された教員の中から最優秀者1人に贈られるものである。
佐東教授の顕彰題目は「創造的実践モノづくり教育への功績」で、「福島県中学生ロボット競技会」の設立や、市民に役立つものづくり、匠の技を持つ技術者を招いた講座の充実など、その功績が高く評価された。

0コメント

本校第一体育館において入学式を行いました(平成19年4月3日)。

投稿日時: 2007-04-03 13:35:31 : 平成19年度の話題

第46回入学式及び平成19年度編入学式並びに専攻科入学式が本校第一体育館において 行われ、本科学生・専攻科学生を合わせて245名が式に臨みました。式では奈良校長が入学を 許可した後、式辞を述べた。

新入生を代表して本科と専攻科の代表がそれぞれ入学者宣誓を行った。最後に本校吹奏楽 部が祝奏及び校歌の演奏を行い、入学を祝いました。



[入学式全景。](#)



[校長挨拶。](#)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=8&start=30>>

第六回福島県中学生ロボット競技会を開催しました

投稿日時: 2007-01-13 18:09:16 : [平成18年度の話題](#)

1月13日(土)に本校第一体育館において、県内12中学校24チームが参加し第六回福島県 中学生ロボット競技会を開催しました。今回のテーマは「特球便」で坂道を含む直線コースの 所要時間を競う「特便」競技と、3種類のボールをゴールまで運び点数を競う「特球便」競技を行いました。

中学生のアイデアと工夫を凝らして作られた様々なロボットが出場し大いに盛り上がりました。結果は以下の通りです。

総合

- 1位 いわき市立藤間中学校イソッピン号
- 2位 檜葉町立檜葉中学校下克上
- 3位 天栄村立天栄中学校天栄バッファロー

特便競技

- 1位 天栄村立天栄中学校天栄バッファロー
- 2位 いわき市立藤間中学校イソッピン号
- 3位 檜葉町立檜葉中学校下克上

特球便競技

- 1位 いわき市立藤間中学校イソッピン号
- 2位 檜葉町立檜葉中学校下克上
- 3位 いわき市立中央台北中学校LINE号

アイデア賞

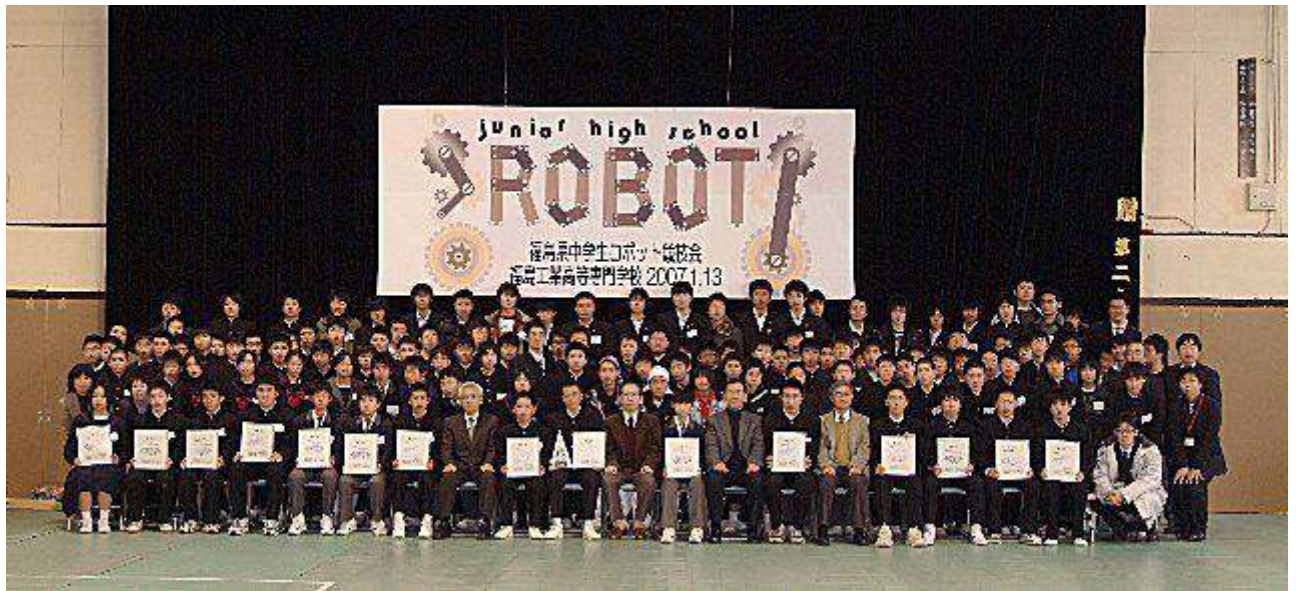
天栄村立天栄中学校天栄MAX Y・K・R
郡山市立湖南中学校まさたCar
田村市立大越中学校定吉さん

敢闘賞

いわき市立桶売中学校ろなうじーによ号
福島市立福島第四中学校MASUO
いわき市立磐崎中学校取れるんです！！



みんなガンバレ！！



最後に。みんな揃って記念撮影

[0コメント](#)

[12月16・17日に「中学校教員のための分子生物学実験講座」を物質工学科の生化学実験室で行いました。](#)

投稿日時: 2006-12-17 18:11:04 : [平成18年度の話題](#)

この講座は、中学校でも、安全・安価に分子生物学の実験を行うことを目的に、主に中学校の理科の先生を対象に行いました。内容は、DNAと蛋白質に関するもので、できるだけ安全かつ安価な試薬等を用い、植物からこれらを単離するだけでなく、物理・化学および酵素化学的性質まで調べるものです。分子生物学の公開講座は初めてでしたので、指導する私たちも実験上の問題点が分かり、今後の改良のヒントになりました。また、参加していただいた中学校の先生方にも好評を得ました。なお、DNAの実験は、本校のミニ研究で、本科の物質工学科2年生が工夫・開発したものです。

写真上: DNAの実験(1日目)

写真下: 蛋白質の実験(2日目)





[0コメント](#)

セクシャル・ハラスメント防止のための教職員研修会を開催

投稿日時: 2006-12-13 18:10:18 : [平成18年度の話題](#)

福島高専では去る12月13日(水)に教職員を対象に「職場におけるセクシャル・ハラスメント 防止研修」と題した講演会を開催した。この講演会は、教職員の快適な職場環境・学生の学習 環境の維持を図ることを主眼とし、教職員がセクシャル・ハラスメントについての認識を高め、その防止に努めることを目的として開催したものである。

講師には財団法人21世紀職業財団研修専任講師の工藤鏡子氏を招き、「セクハラが起こる 原因と背景」のほか「事業者責任としてのリスク管理」等について、講師ご自身の体験談などを 交えて分かりやすく解説していただいた。

約1時間半の講演後の質疑応答では、受講した教職員からセクシャル・ハラスメントの他、アカ デミック・ハラスメントやキャンパスハラスメント等についても活発な質問や意見が述べられ、セク ハラをはじめとするハラスメントに対する意識の高さが伺えた。

福島高専では、今後もハラスメント防止についての講演会を随時開催し、健全な職場環境 づくりを目指すものである。



[0コメント](#)

高専ロボコン全国大会で、本校のチームがベスト4に入りました！

投稿日時: 2006-11-26 18:11:39 : [平成18年度の話題](#)

11月26日(日)に東京の両国国技館で「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2006全国大会」が、各地区から選抜された25チームによって行われました。本校のチームは、準決勝で惜しくも敗退しましたが、ベスト4に入りました。この模様は、NHK総合テレビで 12月30日(土)21:15?22:24, BShiで 1月20日(土)14:30?16:00に放送されます。

また、オブジェ「フタバスズキリュウ」の製作や、本大会での応援でお世話になりました 久ノ浜第二小学校の皆様、ありがとうございました。



競技スタート。ここは余裕、余裕・・・。



もう少し・・・。焦る気持ちを抑えて抑えて・・・。



よっしゃあ！ 成功！！

[0コメント](#)

[技術部主催の公開講座「親子で大空へチャレンジ？滞空模型飛行機を飛ばそう？」を開催](#)

投稿日時: 2006-11-12 18:12:22 : [平成18年度の話](#)

福島高専では平成18年度に組織改編により技術部ができ、今回その技術部が初めて 主催した公開講座『親子で大空へチャレンジー滞空模型飛行機を飛ばそうー』が11月11日(土)?12日(日)に開催された。

この公開講座では小学校高学年(5,6年生)を対象に「何故、飛行機は飛ぶのか？」を学ぶとともに、親子で力を合わせゴム動力の滞空模型飛行機を製作した。完成後には飛行時間を競う競技会を行い、自ら製作した飛行機が大空を飛ぶ感動を味わっていた。

技術部ではこれからも様々な公開講座を開催し、地域社会に貢献して行きたいと考えている。



受講生及び講師一同で記念撮影

[0コメント](#)

[いわきビジネスアイデア・プランコンテスト2006のビジネスプラン部門において、本校専攻科学生・教員の団体が優秀賞を受賞](#)

投稿日時: 2006-11-11 18:16:07 : 平成18年度の話

11月11日(土)にいわき市の中央台公民館で開催された、いわきビジネスアイデア・プランコンテスト2006において、ビジネスプラン部門の二次審査(プレゼンテーション)が行われ、審査の結果、本校専攻科学生の物質・環境システム工学専攻1年根本奈都子(代表)、倉持祥子、ビジネスコミュニケーション学専攻1年岡崎奈津美、物質・環境システム工学専攻教員天野仁司の4人で結成された「いわき科学技術教育支援プロジェクト 研究会」のプランである「環境科学館設立に向けての体験型科学技術教育イベントの企画と運営」が優秀賞を受賞しました。

なお、今回は最優秀賞の該当者はなく、優秀賞は2組でした。また、プレゼンテーションの一般審査員の審査結果が公表され、本プランが最高点でした。これは、本校の教育目標のひとつである、「工学とビジネスのシナジー教育」の成果です。



受賞の喜びに沸く研究会メンバー

[0コメント](#)

[高専ロボコン全国大会出場決定！！](#)

投稿日時: 2006-10-29 18:16:38 : 平成18年度の話

10月29日(日)に岩手県盛岡市総合体育館でアイデア対決高専ロボットコンテスト 東北地区大会[ふるさと自慢特急便]が行われました。今年のテーマはふるさとの名産品をいかに早くゴールまで届けるかを競います。本校から2チームが出場しました。

Aチーム「Re:former」は高柴デコ屋敷「三春駒」の親子をふるさとオブジェに選定し、惜しくも初戦敗退したものの、本田技研工業特別賞を受賞しました。

Bチーム「伸進機鋭」は久之浜第二小学校の6年生に製作して頂いた「フタバスズキ リュウ」をふるさとオブジェに選定し、技術賞と11月26日(日)に東京両国国技館で行われる全国大会への出場権を獲得しました。なお、東北地区大会の様子は11月23日にNHKで放送される予定です。

応援、御協力頂きました皆様ありがとうございました。

詳細は高専ロボコンホームページをご覧ください。

<http://www.official-robocon.com/jp/kosen/kosen2006/index.html>



緊張の瞬間。これからステージへ・・・。



慎重に・・・慎重に・・・

0コメント

全国高専体育大会にて陸上競技総合優勝、水泳準優勝、卓球女子、男子柔道等個人種目でも活躍

投稿日時: 2006-08-01 10:53:13 : 平成18年度の話

第41回全国高専体育大会は近畿地区で8月上旬開催されました。例年通り本校 選手の活躍は目覚ましく、陸上競技は通算8回目の総合優勝、水泳は準優勝しました。

また、個人種目では、陸上競技400メートルリレー(佐藤優介君、伊藤誠君、高木宏哲君、小田切佳太君)1600メートルリレー(佐藤優介君、市毛拓海君、新国義浩君、矢内将喜君)、水泳800メートル自由形(藁谷庄平君)50メートル背泳ぎ(大原早樹さん)、卓球女子 シングル(西山綾香さん)ダブルス(西山綾香さん、玄 祥子さん)、柔道男子73kg級(塙健君)で金メダルを獲得しました。他の多くの入賞者については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.maizuru-ct.ac.jp/gakuseikatudou/zenkoku41/index.html>



0コメント

本校ソーラーカー2006年全国日本学生ソーラー&FCカーチャンピオンシップF-2クラス2位

投稿日時: 2006-07-30 10:53:58 : 平成18年度の話

本校エネルギー研究会は、7月28日?30日に秋田県大湯村で開催された「2006 年全国日本学生ソーラー&FCカーチャンピオンシップ」に参加しました。今年のレースには全国から32チームがエントリーしましたが、我が「Sun Shine IWAKI」号はF-2クラス2位という成績をおさめることができました。これは過去15回参

加した中で、最高の結 果です。

3日間にわたるレース期間中、雨・晴れ・曇りと激変する天候にもかかわらず、トラブル もなく着実に周回を重ねたことが好結果につながりました。



0コメント

いわき市の公募事業において、本校専攻科学生の提案が採択される

投稿日時: 2006-07-25 10:55:34 : 平成18年度の話

7月25日、今年度いわき市が公募した「地域交通ステップアップ支援事業」の採択結果 が発表され、採択された6件の内、「交通円滑化の推進・交通に対する意識の高揚」で本校 ビジネスコミュニケーション学専攻地域研究委員(矢沢絵梨奈委員長)の「ETCの通勤割引制度を利用した都市内交通渋滞緩和策の提案」が採択されました。同提案では、都市の最大の交通問題となっている交通渋滞の緩和を図るため、ETCの通勤割引制度を活用した高速道の利用を提案。好間工業団地を対象に従業員アンケート を実施し、その結果等から高速道を利用した通勤可能性を調査します。

調査内容について議論する芥川助教授(右から2人目)と 矢沢委員長(右端)ら地域研究委員



0コメント

本校陸上競技部大活躍

投稿日時: 2006-07-01 10:57:58 : 平成18年度の話

本校陸上競技部は、去る7月1日名取スポーツパーク陸上競技場で開催された 第43回東北地区高専体育大会での男子総合20連覇、女子総合6連覇した勢いを、第59回県総合体育大会陸上競技兼第61回県陸上競技選手権大会(7/14~17)にも発揮しました。男子400メートルリレー3連覇、1600メートルリレー2連覇、槍投・走幅 跳優勝、他各種目に好成績をあげました。7月17、18日の県内各紙スポーツ欄にも写 真入

りで報じられています。また、これらの結果は、優秀な指導者の指導はもとより、本科1年生から専攻科2年生まで全部員の総合力の成果と賞賛されています。 本校陸上競技部は、日頃の練習の合間に、数百人の小学生対象陸上教室の指導者として市内の子供達のお世話をするなど、ボランティア活動でも市民の高い評価を受けています。これらの地域貢献も含めて、今後のさらなる活躍が期待されます。 なお、下記ホームページに、本校陸上競技部の詳しい活動状況が掲載されています。是非ご覧下さい。
<http://sic.fukushima-nct.ac.jp/~rikujo/>

[0コメント](#)

福島高専専攻科棟竣工を記念して講演会を開催

投稿日時: 2006-06-28 11:00:31 : 平成18年度の話

福島高専では6月28(水)15:00から平市民会館において、専攻科棟の竣工を記念し講演会を開催します。この講演会では、一般市民の皆様も聴講いただけるよう席を用意しており、また入場料・聴講料は無料となっていますので、たくさんの方の御来場をお待ちしております。詳しくは紹介ページを用意しましたのでご覧ください。

[0コメント](#)

本校卓球部女子2年連続・空手部女子インターハイ出場

投稿日時: 2006-06-05 10:57:29 : 平成18年度の話

6月5日から須賀川アリーナで行われた福島県高等学校体育大会卓球競技において、本校3年生の西山綾香・玄祥子組が女子ダブルスで見事2位に入賞しました。女子シングルスでも、同じく西山さんが2位に入賞しました。8月6日から大阪市で行われる全国高等学校総合体育大会での活躍が期待されます。なお、両名は昨年に続く出場となります。 また、6月3日から清陵情報高校で行われた福島県高等学校体育大会空手道競技において、本校2年生の木田明日花さんが女子個人形競技で見事2位に入賞しました。この競技でも、8月6日から東大阪市で行われる全国高等学校総合体育大会での活躍が期待されます。

[0コメント](#)

本校教員米科学誌「サイエンス」に論文掲載

投稿日時: 2006-06-01 10:59:16 : 平成18年度の話



探査機はやぶさが到着した小惑星イトカワの研究成果が6月2日付米科学誌「サイエンス」に掲載されたが、福島高専の道上達広(専任講師)は探査プロジェクトの一員として大きく貢献した。同講師は宇宙航空開発機構(JAXA)の特別共同研究員(兼任)として、小惑星表面のモデル計算、模擬実験を行ってきた。今回、同講師は探査機はやぶさの撮像した画像データの解析を進め、小惑星イトカワで最も特徴的な多くの岩塊の存在について考察及び解析し、その結果が同雑誌に文章および図として掲載された。同講師は、宇宙開発関連の最新成果を福島高専内の学生に積極的に紹介し、工学教育の基礎に取り入れている。[右写真:学生に講義する道上教員(右端)]

[0コメント](#)

福島高専後援会で校長が最近の取り組みをアピール

投稿日時: 2006-05-20 11:05:05 : 平成18年度の話

[詳細ページをこちらに掲載]

去る5月20日(土)、平成18年度の後援会総会が開かれた。前日の悪天候による出席者減少が心配されたが、500名以上の出席があった。

総会での校長の挨拶や3主事による教育懇談で、高専のこれからの動向や本校の最近の取り組み等が紹介され、出席者は熱心に耳を傾けていた。

また、当日は授業を公開し、保護者の方々に高専の教育現場も見学いただいた。

[0コメント](#)

平成18年度福島高専協力会総会及び交流会を開催

投稿日時: 2005-05-31 11:03:20 : 平成18年度の話

[詳細ページをこちらに掲載]

去る5月31日(水)、平成18年度福島高専協力会の定期総会及び交流会が開かれました。福島高専協力会は、本校との支援協力を目的に、いわき市内をはじめとする企業や各団体等で設置されたものです。当日はまず平成18年度の定期総会が開かれた後、本校の地域との連携・協力を紹介する「福島高専研究事例発表」が行われ、佐東専攻長から、今年度竣工なった専攻科棟の紹介を含めた専攻科の紹介が、また

伊藤地域環境テクノセンター長からは、今年度本校内に新設させた「地域環境テクノセンター」の紹介と、福島高専における企業との共同研究の事例が紹介され、出席者の関心を買っていました。

0コメント

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=7>>

ロボコン東北大会で、本校ロボットが優勝！

投稿日時: 2005-11-06 11:07:41 : [平成17年度の話題](#)

11月6日(日)に青森県八戸市の八戸体育館で行われた「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 東北地区大会」に、本校は、ロボット技術研究会製作の ロボットで参加した。大会には、各高专からAとBの2チーム、計14チームが参加したが、この内本校Bチームが悲願の東北地区大会初優勝を果たして12月4日(日)に 東京の両国国技館で行われる全国大会への出場権を獲得した。また、同チームはあわせて「東北電力特別賞」も受賞した。本校Aチームは惜しくも準決勝で敗退しベスト4に終わったが、大会では唯一ゴール 直前までバトン運び、他にない課題クリアの機構とマシン形状が評価されて「デザ イン賞」を受賞した。なお、応援頂きました皆様ありがとうございました。

[0コメント](#)

本校教員『高専教員研究集会』で高専機構理事長賞受賞

投稿日時: 2005-09-30 11:09:10 : [平成17年度の話題](#)

本校コミュニケーション情報学科布施雅彦助手は、平成17年度独立法人国立高等専門学校機構主催教育教員研究集会において、『高専物理教育におけるVODを利用した eラーニング教材の開発と学習利用について』を発表し、高専機構理事長賞【教育研究分野】を受賞した。この論文は、一般教科鈴木三男教授等との共同研究によるものである。なお、下記のページから、同時に発表された100以上の論文が全て閲覧できる。http://www.toba-cmt.ac.jp/shomu/shukai/shukai_info.htm

[0コメント](#)

本校学生『物理チャレンジ2005』で銅賞受賞

投稿日時: 2005-08-15 11:09:50 : [平成17年度の話題](#)

高校生対象の日本初の物理学に関するコンテストで、2005年が世界物理年であることを記念して開催された『物理チャレンジ2005』で、本校電気工学科3年大澤昇平君は、銅賞を獲得した。8月12日から15日に、岡山県青少年教育センター関谷校で開催された 本コンテストには、約3倍の予選を勝ち抜いた全国の高校生100名余りが、理論問題と実験課題に取り組んだ。一流の研究者との交流を深めた後に、最終日に表彰されたものである。

[0コメント](#)

第40回全国高専体育大会結果。水泳団体優勝、陸上競技2位、卓球女子個人完全制覇

投稿日時: 2005-08-03 11:09:56 : [平成17年度の話題](#)

関東甲信越地区で8月3日から開催された全国高専体育大会において、今年度も本校選手団は好成績を納めた。水泳部は学校対抗1位、陸上競技部は三年連続1位を逸したが学校対抗2位、卓球部女子はシングル・ダブルス 共に1、2位独占した。詳細については <http://www.gunma-ct.ac.jp/Gakusei/taiku-kai/40taitopmenu.html>でご覧下さい。

[0コメント](#)

福島高専が第7回全日本Web教材開発コンテスト「ThinkQuest@JAPAN2004」において文部科学大臣奨励賞を受賞

投稿日時: 2005-06-30 11:12:27 : [平成17年度の話題](#)

第7回全日本Web教材開発コンテスト「ThinkQuest@JAPAN2004」において本校プログラム愛好会の 大澤昇平君、鈴木 聡君(電気工学科3年)、萱間 隆君(コミュニケーション情報学科2年)が、高校の部:プラチナ賞(最優秀賞/文部科学大臣奨励賞/アイエスエイ特別賞)を受賞した。文部科学大臣奨励賞は、参加575チーム(1,501人)中の 1チームに授与されるものであり、受賞作品の「Wave Master『解波新書』」が、理解しにくい物理の内容をわかりやすくまとめたことで高い評価を受けたものである。なお、この作品は、<http://kaiha.jp/>で見ることができる。また、副賞として 7日間のオーストラリア旅行が与えられた。

[0コメント](#)

第17回知能ロボットコンテスト2005で、本校チームのロボットが優勝

投稿日時: 2005-06-26 11:10:37 : [平成17年度の話題](#)

6月25・26日に仙台市科学館で行われた「第17回知能ロボットコンテスト2005」に福島高専から2チームが参加。まず、「チャレンジコース」に参加した福島高専分子生物学愛好会「堀越くまさん Jr.」チームは、マシントラブルにより二回戦で敗退したが、将来の成長・発展が期待されるチームに贈られる「あすなる賞」を受賞した。一方、「テクニカルコース」に参加した同愛好会「堀越くまさん +1」チームは、文字認識技術やIrDA通信による 2機の動作連携技術を用いたマシンで見事優勝し、斬新な技術に贈られる「真田賞」を受賞した。なお、「第17回知能ロボットコンテスト2005」の詳細や結果等はこちらをご覧ください。

<http://www.inrof.org/irc/>

[0コメント](#)

専攻科授業科目支援に関する覚書調印式を実施(平成17年6月7日)

投稿日時: 2005-06-07 11:11:12 : 平成17年度の話題

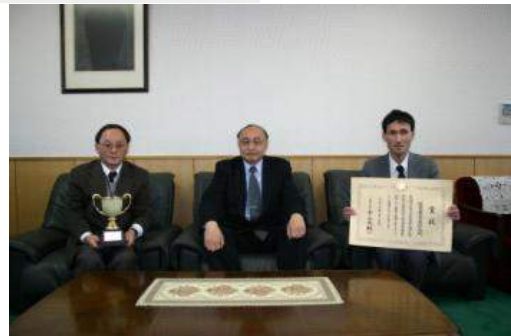


このたび、福島高専は、NPO法人ライフマネジメントセンター佐藤安太理事長(玩具メーカー「タカラ」創業者)と福島県商工組合須佐喜夫理事長との間で、福島高専専攻科の授業科目支援に関する覚書の調印式を行いました。この覚書の締結により、両理事長には福島高専の客員教授としてビジネスコミュニケーション学専攻第1学年の後期に開設される専門科目「経営学特論Ⅱ」の授業において、経験を生かした実践的な講義をしていただくことになりました。なお、専攻科授業科目支援は、次世代を担う若者達が経営に必要な幅広い要素のうち、特に金融に関する実務について学ぶ重要性を認識し、教育に関する産学官連携協力の一つのモデルとなることを願い、ひいては、地域経済 社会の発展に貢献することを目的として行われたものです。このニュースに関しては、詳細をこちらのページに用意しましたのでご覧ください。→ニュースの詳細

[0コメント](#)

福島高専が実用英語検定で「文部科学大臣奨励賞」受賞

投稿日時: 2005-03-25 11:13:23 : 平成17年度の話題



本校は、3月25日に開催された平成16年度実用英語技能検定表彰式において、団体(高専の部)で「文部科学大臣奨励賞」を受賞した。この賞は優良校の中で極めて合格率の高かった団体へ送られる賞である。今年度は高専の部で福島高専が選ばれた。平成8年より優秀団体賞6回、優良団体賞2回、奨励賞1回と連続して受賞してきたが、今回の「文部科学大臣奨励賞」は初めてである。受賞は学生にとって極めて名誉なことであり、今後の励みになるものと期待されている。

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=6>>

[平成17年度学生会役員が選出](#)

投稿日時: 2005-01-31 11:53:13 : [平成16年度の話題](#)

平成17年度学生会役員の選挙がありました。新役員は下記のとおり。

会長 富塚 直人3年コミ
副会長 今野 亮 4年電気
廣畑 一道4年電気
右山 学 4年電気
会計 安齋 敦子3年コミ
東海林 克行3年コミ
平子 聖 3年機械
監査 今野 真宏4年電気
宝玉 純子4年機械
中戸川 武 4年電気

[0コメント](#)

[第55回校内クラブ・愛好会等対抗駅伝大会開催](#)

投稿日時: 2005-01-29 11:52:31 : [平成16年度の話題](#)

1月29日(土)に第55回校内クラブ・愛好会等対抗駅伝大会が開催されました。
主な結果は次のとおり。

大川杯 彼女募集?(陸上部)
小林杯 なつみさん 目指します(陸上部)
菅原杯 もうすぐバレンタインデー?(3年男子(寮生))

[0コメント](#)

[茨城大学・茨城高専と単位互換協定締結](#)

投稿日時: 2005-01-21 11:54:02 : [平成16年度の話題](#)



本校と独立行政法人茨城大学・茨城工業高等専門学校との単位互換協定調印式が平成17年1月21日(金)午前11時から茨城大学で行われました。

協定は、意欲ある学生に対し多様な学習機会を提供し、教育の活性化と教育課程の充実を図るとともに、教員と学生間の交流を推進することを目的として、相互の機関に開設する授業科目の履修を可能とするために締結されました。

調印式は、出席者の自己紹介の後、菊池龍三郎茨城大学長、鈴木伸一茨城高専校長そして本校安久校長が、それぞれ協定書にサインし、3名が堅く握手を交わし協定が締結されました。その後、それぞれにあいさつがあり、安久校長は、高専から申し出た単位互換協定の可能性に真摯(し)に取り組んでいただき、協定締結として実を結ぶことに尽力いただいた関係各位に謝辞を述べるとともに、今後は、これを機会に専攻科学生の大学院入学へのイントロダクションとして利用していくことや、協定の目的どおり、学生だけでなく、地域連携の強化や、人的財産等を有効に活用していきたいとのあいさつがありました。

[0コメント](#)

[折笠匠さん\(物質2年\)が東北地区高専文化部発表会入賞](#)

投稿日時: 2004-12-31 11:59:09 : [平成16年度の話題](#)

第11回東北地区高専文化部発表会 写真部門において物質工学科2年折笠匠さんの作品「放課後の私」が入選しました。

[本校卒業生の佐藤辰彦氏2005年度日本弁理士会会長に当選](#)

投稿日時: 2004-12-31 11:58:19 : [平成16年度の話題](#)

本校工業化学科1回生佐藤辰彦氏は、このたび行われた2005年度日本弁理士会役員選挙において会長に立候補し、当選されました。

同氏は、福島高専工業化学科を昭和42年3月に卒業され、同年4月より早稲田大学法学部に入学し、卒業後の昭和48年11月に弁理士登録をされました。

昭和61年11月に独立し、佐藤国際特許事務所を設立され、平成14年4月には創成国際特許事務所を設立し、所長に就任されました。

その間、弁理士試験委員や東京大学先端科学センター協力研究員、日本弁理士会副会長及び同会総括副会長などの要職を歴任され、本校の非常勤講師も平成7年度から14年度まで務められました。

佐藤先生の今後のご活躍が期待されます。

[福島大学との「友好協力及び学術交流に関する協定」締結](#)

投稿日時: 2004-12-24 11:56:35 : [平成16年度の話題](#)



国立大学法人福島大学と独立行政法人高等専門学校機構福島工業高等専門学校は、「友好協力及び学術交流に関する協定」を締結しました。

この協定は、両校の友好を図り学術交流を促進するため、平成16年7月に本校 安久校長が、福島大学 臼井学長を訪問。以後、協定締結に向けて、両校で協議を行っていたものです。

調印式は平成16年12月24日(金)午前11時から福島大学において、臼井 福島大学長と安久校長により行われました。

本校においては、専攻科の設置。また、福島大学では、「学部・学科」という枠組みから「学群・学類・学系」として理系学群を新たに設置したことにより、両校の方向性が合致したことにより、新たな教育、研究及び社会貢献を行うことが合意されたものです。

独立法人化という国の高等教育機関の改革元年にあたり、教育、研究及び社会貢献に新たな第一歩を踏み出すこととなりました。

協定の内容は、以下のとおりです。

1. 福島大学と福島高専(以下「両校」)は、両校の友好を図り、学術交流を促進するため、協定書を締結する。
2. 両校が、連携協力して次の学術交流事業を実施する。
 - (1) 共同研究、シンポジウムの共催などの事業
 - (2) それぞれの地域を中心とする社会貢献活動などの事業
 - (3) 教職員・研究者の交流
 - (4) 学生の交流
 - (5) 相互の関心のある領域における情報や資料などの交換
 - (6) その他、両校が関心もつ事項

[根本奈都子さん\(物質4年\)が「SAFETY2004」において 優秀論文表彰](#)

投稿日時: 2004-11-09 11:59:45 : [平成16年度の話題](#)

国土交通省東北地方整備局等が主催する平成16年度東北地方工事安全施工推進大会「SAFETY2004」において、物質工学科4年根本奈都子さんの論文が優秀論文「佳作」として表彰されました。表彰式は、11月9日仙台市にある電力ホールで実施されました。

東北地区の一般の方から寄せられた600を超える論文の中から選ばれたものです。

[ロボコン全国大会出場権獲得](#)

投稿日時: 2004-10-31 12:00:21 : [平成16年度の話題](#)

10月31日に、山形県鶴岡市小真木原総合体育館で行われた、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2004「マーズラッシュ」の結果、福島高専 Aチーム(ロボット名:パーフェクトブラザーズ)は、アイデア賞を受賞し、11月28日(日)に東京の両国国技館で行われる全国大会への出場権を獲得した(審査員推薦)。

なお、競技結果は、1回戦でマシンを完璧に動作させ、最高得点の0cm(ゼロセンチメートル)を記録して2回戦に進んだが、人為的ミスで、惜しくも敗退した。しかし、技術の高さと独創的なアイデアが評価され、アイデア賞を受賞し、全国大会への出場権を獲得した。

福島高専Aチーム

選手:草野 伸仁(電気3年) 勝倉 宏行(物質2年) 山野辺秀樹(機械2年) 担当教員:天野(物質)

[ロボコンオフィシャルサイト](#)

[0コメント](#)

[本校校長\(安久正統\)が日本感性工学会論文賞を受賞](#)

投稿日時: 2004-10-30 12:10:39 : [平成16年度の話題](#)

このたび行われた、日本感性工学会論文賞選考委員会において、本校校長及び 茨城大学大学院理工学研究科博士コース学生阿部宣男氏らの「ホタルの光と人の感性について?感性情報計測と福祉応用?」が、日本感性工学会論文賞に選出されました。

本研究は、校長が前任地である茨城大学大学院理工学研究科において行われたものであるとのことです。

[0コメント](#)

[本校ソーラーカー「うつくしま、ふくしま。ものづくりフェスタ2004」に出展](#)

投稿日時: 2004-10-10 12:09:12 : [平成16年度の話題](#)

10月9日(土)・10日(日)の2日間に上荒川運動公園内の いわき市立総合体育館において開催された「うつくしま、ふくしま。ものづくりフェスタ2004」に本校エネルギー研究会のソーラーカーを出展しました。

この催しは、福島県職業能力開発協会や福島県・いわき市等が主催したもので、ものづくりに携わる青年技能者による技能競技大会をはじめ、ものづくりに関する各種イベントを通じて、技能の重要性・魅力をアピールし技能尊重気運を醸成し、高揚させることを目的として開催されました。

本校エネルギー研究会は、8月に秋田県大潟村で開催された2004 ワールドソーラーカーラリー・全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップにおいて3位入賞した「SunShine・IWAKI・洸号」を展示しました。

エネルギー研究会の部員は、マシンの性能などを来場者に説明したり、小さな子どもたちには運転席に座らせたりして操縦の仕方をやさしく教えました。

また、ブースの一角には学校紹介のためのパネルを展示し、各種パンフレット等を配布し高専をPRしました。

両日は、第55回いわき産業祭等の行事も行われ多数の来場者がありました。

[0コメント](#)

[全国高等専門学校デザイン・コンペティション2004 ワークショップ部門において優秀賞を受賞](#)

投稿日時: 2004-09-30 12:11:49 : [平成16年度の話題](#)

高等専門学校連合会主催の全国高等専門学校デザインコンペティション2004ワークショップ部門の地域交流シンポジウムにおいて、本校物質・環境システム工学専攻の木下康之君、小林佑季子さん、西成田由君作品「まちを探索すると見えてくるユニバーサルデザイン」が優秀賞を受賞した。

これは市内の通りを対象として、まち歩きを行い、環境点検マップを作成し、今後のまちづくりの方向性について提示したものである。

指導にあたった建設環境工学科の齊藤教員は、「研究室の学生が皆で協力して取り組んでくれた成果です。建築学科が大多数を占める中で、産官学民のユニークかつ先駆的な取り組みとして、『福島高専でもこんなことができるんですよ!』という情報を発信することができたと思います。」

このように、今回の成果を契機として、今後の教育・研究及び地域交流活動の更なる発展に生かされることが期待される。

左から齊藤講師、西成田由さん、小林佑季子さん、木下康之さん

[0コメント](#)

[福島高専学生サイエンスキャンプ2004に参加](#)

投稿日時: 2004-08-24 12:13:31 : [平成16年度の話題](#)

福島高専物質工学科3年生の上野勝也君は、このほど行われた日本科学技術振興財団の「サイエンスキャンプ2004」に実験リーダーとして参加した。

サイエンスキャンプは、先進的な研究施設でライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料などの様々な分野の第一線で活躍する研究者等から直接講義や実習を受けられる、高校生・高専生のための科学技術体験合宿プログラムである。

上野君が参加したのは、(独)理化学研究所の「遺伝子の働きと、それを調節する化学物質の効果を見てみよう」で上野君はグループリーダーとして積極的に実験を行い、最終日には実験結果について、研究者や他の参加者の前で発表した。

また、修了証書授与式では、同所の野依良治理事長より証書が手渡しされ大感激し、上野君は「野依先生の、私たちはなぜ生きるのかという話が印象的だった。一つは子孫を残すため、そしてもう一つは文化や技術を残すため、と話された。僕も、将来は生物系の研究者になって、技術を伝えたい」と話した。なお、福島高専では10年程前から積極的に応募し、毎年1名から数名選ばれ参加している。

[0コメント](#)

[森脇奈々さん\(コミ情2年\)が全日本なわとび選手権で優勝](#)

投稿日時: 2004-08-08 12:09:59 : [平成16年度の話題](#)

8月8日アシックス本社(神戸)で行われた第30回JNF全日本なわとび選手権 高校女子の部でコミ情2年森脇奈々さんがみごと優勝しました。

森脇さんは、小学校2年からなわとびを始め、市内のクラブで毎週練習をつづけ、今回の快挙となりま

[0コメント](#)

[福島高専学生第16回知能ロボットコンテストで見事優勝](#)

投稿日時: 2004-06-30 12:14:46 : [平成16年度の話題](#)

福島高専分子生物学愛好会の河野友希(物質工学科2年)さん、沼田友美(電気工学科2年)さんと物質工学科天野教員のチームが、仙台市科学館で開催された第16回知能ロボットコンテストフェスティバルInRoF2004のなかの知能ロボットコンテスト「チャレンジコース」において、工学系の大学からも多数参加したなか見事優勝した。

62チームで争ったこの競技は、競技台の上に置かれた3色のボールをセンサやマイクロコンピュータを使用したロボットで色分けし、得点を競うものであったが、本校チームの堀越くまさん「ミミ・チリ・レン」は、一次予選、二次予選とも危なげなくトップで通過し、決勝でも高得点をマークして完全優勝した。

天野助教授は、「2人とも初心者なので、シンプルなアイデアを考え出した。それが高得点につながったのでしょう。加工しやすいように紙を多用してロボットを作成した。」と語った。

優勝カップと賞状

競技の様子

[0コメント](#)

[平成16年度福島高専入学式を挙行了しました](#)

投稿日時: 2004-04-01 13:47:16 : [平成16年度の話題](#)

第43回入学式及び平成16年度編入学式並びに専攻科入学式が本校第一体育館において行われ、本科学生・専攻科学生合わせて243名が式に臨みました。式では、安久校長が入学を許可した後、「勉学だけではなく、本をたくさん読み、低学年では自ら考える力を、高学年では独創的実践力を、専攻科生には課題発見能力及び実践的にものを創造する力を養ってください」と式辞を述べた。

新入生を代表してコミュニケーション情報学科の山下美奈さん(平一中卒)が「自らの力で道を切り開き、知識向上を目指し、専心、勉学に努めます」と宣誓した。

最後に本校吹奏楽部が祝奏及び校歌の演奏を行い、入学を祝いました。

新入生代表で宣言する山下美奈さん(コミ情)

[0コメント](#)

[福島高専に専攻科が設置されました](#)

投稿日時: 2004-04-01 13:46:39 : [平成16年度の話題](#)

本校の高等教育をさらに充実させ、高度な能力を有した人材を育成するための専攻科が4月1日に設置されました。

2年生の9月末に特別研究論文を学位授与機構に提出し、審査に合格すると大学と同等の「学士」の学位が授与されます。専攻名は、機械・電気システム工学、物質・環境システム工学、ビジネスコミュニケーション学の3専攻です。

[0コメント](#)

[福島高専は、独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校となりました](#)

投稿日時: 2004-04-01 13:46:06 : [平成16年度の話題](#)

独立行政法人国立高等専門学校機構法により平成16年4月1日に独立行政法人 国立高等専門学校機構が設立され、全国に55の国立高等専門学校が設置されました。学校名は、従来どおり福島工業高等専門学校(福島高専)です。

[0コメント](#)

[大沢昇平君\(電気2年\)デジタル技術検定で文部科学大臣奨励賞](#)

投稿日時: 2004-03-31 11:46:40 : [平成16年度の話題](#)

大沢昇平君(電気2年)が、文部科学省認定「デジタル技術検定試験」の3級試験でトップ合格を果たし、文部科学大臣奨励賞を受賞した。
過去、多数の検定合格者がいるが、最高賞の受賞は初めて。

[0コメント](#)

[河野嘉孝君\(電気3年\)工業英検で文部科学大臣奨励賞\(速報\)](#)

投稿日時: 2004-02-28 11:47:28 : [平成16年度の話題](#)

第59回工業英検(1月29日(土)実施)を受検した河野嘉孝君(電気3年)が、このたび平成16年度文部科学大臣奨励賞の受賞が決まった。
本校生の受賞は平成12年度から、今年で5年連続となる。

過去の受賞者(敬称略)

平成12年度

4級 山口 渉 電気工学科2年 第47回(平成12年11月)

平成13年度

4級 佐藤 拓郎 建設環境工学科2年 第50回(平成14年1月)

平成14年度

4級 涌井 佳祐 機械工学科3年 第52回(平成14年11月)

3級 大竹 伸幸 機械工学科4年 第53回(平成15年1月)

平成15年度

4級 小林 武史 機械工学科3年 第54回(平成15年5月)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=5>>

[ラジオ・音響技能検定試験で文部科学大臣奨励賞を受賞](#)

投稿日時: 2004-03-31 13:48:41 : [平成15年度の話題](#)

福島高専電気工学科は、平成15年度文部科学省認定「ラジオ・音響技能検定試験」で、合格者数と受験者平均点が最も高く成績が最優秀の団体に贈られる文部科学大臣奨励賞を受賞した。今年度から新設された賞で、団体賞部門で最高の栄誉である。

ラジオ・音響技能検定試験は、電気工学の基礎となる「電気回路」、「電子回路」、「電磁気学」の知識と技術が問われる検定試験で「知識」と「実技」の2科目があり、筆記試験で合否が判定される。本年度は、全国の高校、高専、大学及び一般企業等から、174級に214団体、5213人が受験し、このうち3063人が合格した。

福島高専電気工学科は、昨年度同検定試験で多数の合格者を出し、個人賞部門(3級)で2年生の秦克年君が日本技能検定協会連合会長賞、また団体賞部門で同学科が団体優秀賞をそれぞれ受賞している。今年度は同学科から2級に40人、3級に51人が受験し、このうち2級に11人、3級に34人が合格した。合格率は49.5%で全国平均の42.6%を上回ったほか、19人が2つの受験科目のうち1科目だけ合格のいわゆる「科目合格」となっている。

今回は、このような好成績と学科全体の高水準の学力が総合的に評価され、団体賞部門で全国の上位4団体に贈られる「文部科学大臣奨励賞」の受賞となった。授章式は、財団法人実務技能検定協会の主催で2月23日(月)東京・アルカディア市ヶ谷で行われた。

同学科では、昨年度から技術者の礎となる各種資格の取得を積極的に推進しようと学科を挙げて取り組み、科内に各種検定試験の概要を綴ったファイルや受験問題集及び参考書等を備えた特設コーナーを開設して学習環境の整備充実に努めている。それに応えるように学生も自学自習で各種検定試験に熱心に取り組み、好結果を残した。

このような資格検定試験への積極的取り組みと過去の実績が評価され、今年度から福島高専は同検定試験の本会場に指定された。これにより、外部からの受験者の受入れが可能となったことから、今後は本校での一般社会人や中学生等の受験者の増加も期待される。

[0コメント](#)

[中学生ロボット競技会](#)

投稿日時: 2004-01-10 13:50:25 : [平成15年度の話題](#)

1月10日(土)中学生ロボット競技会が本校で16校28チームが出場し開催された。競技は「登坂走行コース」と「スラロームコース」の2種目で、早さだけでなくパワー、機敏性が問われる。総合優勝には「天栄A」チームが輝いた。

「この記事は朝日新聞社の承諾を得て転載しています。
無断で転載、送信するなど、朝日新聞社の権利を侵害
する一切の行為を禁止します」

第三回福島県中学生ロボット競技会 [公式ホームページ](#)

[0コメント](#)

[留学生日本語弁論大会](#)

投稿日時: 2003-11-15 13:51:12 : [平成15年度の話題](#)

福島県留学生日本語弁論大会(11/15)において、電気工学科3年のクー・シーイーさんが準優勝。この大会は県内の大学・短大・高専で学ぶ留学生が「日本での体験」や「日本と自国文化の比較」などをテーマに発表した。クーさんは「富士登山」と題して話し、みごと準優勝に輝いた。このことについては、[いわき民報](#)でも紹介された。

[0コメント](#)

[いわき民報 10月2日\(木\)](#)

投稿日時: 2003-10-02 13:52:47 : [平成15年度の話題](#)

いわき市は、バイオマスエネ導入に向けて調査検討懇話会が設置。本校天野助教授が委員に任命された。

[0コメント](#)

[河北新報 9月26日\(金\)](#)

投稿日時: 2003-09-26 13:53:55 : [平成15年度の話題](#)

河北新報「元気です!! 工業高等専門学校」コーナーに本校が掲載された

[0コメント](#)

[「第42回県高校新人体育大会」](#)

投稿日時: 2003-09-14 13:54:54 : [平成15年度の話題](#)

第42回県高校新人体育大会卓球競技いわき地区予選が12日?14日の3日間、内郷コミュニティセンターで開かれました。

福島高専は、団体戦で男子が優勝、女子が準優勝し、個人戦とともにすばらしい活躍を見せました。

「いわき民報9月24日」より

[0コメント](#)

[「学生の教職員本格活用」](#)

投稿日時: 2003-09-13 13:55:58 : [平成15年度の話題](#)

9月13日(土)読賣新聞福島版に、独立法人化に向けての教育改革への取組が掲載された。

[0コメント](#)

[「新川きれい作戦コンクール」アイデア部門 最優秀賞 受賞](#)

投稿日時: 2003-09-06 13:56:33 : [平成15年度の話題](#)

9月6日、本校「環境創生事業研究会」(総括責任者:橋本孝一 建設環境工学科教授)は、「新川きれい作戦コンクール」(ふるさといわきの新川をきれいにする会)のアイデア部門一般の部において「最優秀賞」を受賞した。

作品内容は下記のとおり。

ホテルが乱舞する川づくり

福島工業高等専門学校
環境創生事業研究会(注)

<提案事業の目的>

市街地河川であり多くの市民が身近に接することのできる新川を「癒しの空間」として位患付け、より多くの市民が新川に親しめるような河川空間を創出すること。このためのシンボルとして、ホテルを取り上げる。新川が、ホテルが乱舞するような空間となるためには、水質や土壌条件等を含む水環境の改善策が必要となる。これらの水環境改善事業の具体化を通じて、市民意識の高揚を図りつつより質の高い癒しの空間としての新川を創出することができるものと期待される。また、最新技術を用いて演出される「人工ホテル」により天然のホテルが舞う時期以外にもホテルの光を満喫できる場を設定し、より長い期間ホテルをシンボルとして新川に親しむことができる演出をする。

<事業内容>

1. ホテルが生息できる川づくり

現在、新川上流部の高野地区ではゲンジボタルが観察できる状態であるが、この領域を次第に広げていく。このためには、ホテルの餌となるカワニナが生息できるような環境を整えてやる必要がある。そこで、ホテルの生息化技術を有する東京都板橋区蛸飼育施設の協力を得ながら、本校スタッフと流域の方々(特に小中学生)が系統的・継続的に環境改善の運動を行う。

2. 「人工ホテル」による新たな癒しの空間づくり

最新技術を用いて人工的にホテルの光を演出することができる。この技術を用いて、より多くの人達がアクセスしやすい中下流部そのような場をいくつか設定する。このような「癒しの場」となる堤防部は、大人から子供までが安全に楽しめるような河川空間づくりが求められる。具体的な方策については、話し合いながら進める。

<事業推進体制>

手業は、民・官・産(地元企業)・学が連携して行えるようななんらかのプロジェクトを組んで進めるのが望ましい。事業主体は、地域住民・企業であり、ハード的な整備は河川管理者であり、維持管理はいわき市も係わってくる。福島高専は、事業推進の主体的な役割を担いながら、将来的にも、技術的な側面でのバックアップを中心に行う。

(注)環境部生草葉研究会のスタッフと役割分担:

橋本孝一(総括責任者)、原田正光(ホテル生息場の創出)、斉藤充弘(まちづくり)、

緑川猛彦(廃棄物の有効利用)、大隈信行(地域交流)、永川元(水環境の評価)、大槻正伸・内田修司・島村浩(ネットワーク、総合学習支援)

[0コメント](#)

[大槻教授 縦格子による立体視現像を発見](#)

投稿日時: 2003-07-06 13:57:40 : [平成15年度の話題](#)

電気工学科の大槻教授は、縦格子による立体視現像を発見、日本認知科学会で発表した。

縦の格子を通して模様を見ると立体的に見える現象で、特許出願中。

平成15年7月6日(日)の福島民報に話題紹介された。

「福島民報7月6日」より

[0コメント](#)

[寮生歓迎行事を実施](#)

投稿日時: 2003-05-31 13:58:36 : [平成15年度の話題](#)

福島高専学寮では、恒例の新入生歓迎行事である「耐久レース」をこのほど実施した。

スポーツや奉仕活動を通じ、忍耐力と協調の精神を養うことなどを目的としたもの。ゴミ拾いを兼た約10キロのウォーキング、市民総ぐるみ運動の一環として海岸清掃や男女別の砂浜スポーツ大会等が行われた。

参加者は潮風に包まれ爽やかな汗を流しながら、寮生相互の親睦を深めた。

海岸のゴミ拾い

[0コメント](#)

[新入生対象に防火訓練](#)

投稿日時: 2003-05-20 13:59:33 : [平成15年度の話題](#)

福島高専学寮では、今年度も新入生を対象とした防災訓練を去る5月21日に実施した。

訓練には、編入学生を含む新入寮生及び指導寮生など78名が参加。学寮建物内からの火災発生を想定し、避難場所への安全かつ迅速な避難と指導寮生等による避難人員の確認等が行われた。

寮務主事の好評では、速やかな避難も大切であるが、「火を出さない心構え」が最も大切であるとの講話があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

その後、各棟代表により消化器を使用した初期消火訓練が行われた。

消化訓練中の寮生

[0コメント](#)

[文部科学大臣奨励賞を受賞](#)

投稿日時: 2003-05-07 14:00:16 : [平成15年度の話題](#)

・福島高専学生が、工業英語能力検定で文部科学大臣奨励賞を受賞した。また、全国で1校だけにおくられる「高専部門優秀団体賞」も受賞。同賞は2年連続6回目の受賞となった。

機械工学科5年の大竹伸幸君が3級(平成15年1月実施)、同4年の涌井佳祐君が4級(平成14年11月実施)でそれぞれ受賞。大臣奨励賞を受賞した大竹君は、「試験のための努力が報われました。今後も賞に恥じないように頑張りたい」、涌井君は「過去の問題に取り組んだ成果が発揮できた」と喜びの言葉を述べた。(2003.5.7)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=4>>

[事務職員を対象とした企業会計研修](#)

投稿日時: 2003-03-04 14:17:40 : [平成14年度の話題](#)

・福島高専は、2月3日から3月17日までの計10回(延べ10時間)、事務職員を対象とした企業会計研修を行っている。

初回は平野事務部長から「独立行政法人化」について、背景、経緯、概要及び今後の高専の法人化に向けての対応等の講演があり、引き続きコミュニケーション情報学科の渡部教授及び加藤助教授から複式簿記、仕訳、財務諸表等の基本的事項について講義があった。

初回は20名が受講。渡部教授から「簿記の理解にはある程度の時間がかかるが、その後は急激に理解が深まるのでがんばってほしい。そのためには予習、復習をしっかりとしてもらいたい。」との激励があった。今後は講義とテストを繰り返しながら簿記3級程度を目指す。(2003.3.4)

[0コメント](#)

[鍛冶実技と技術討論会](#)

投稿日時: 2003-03-04 14:16:42 : [平成14年度の話題](#)

・福島高専は、機械工学科の2、3年生を対象とした「工作実習」の授業で、いわき市で60年以上鍛冶職人として技術を磨いている長谷川昭三氏を技術講師に迎え、貴重な匠の技術を学生に披露する鍛冶実技と技術討論会を去る2月7日に開催した。

鍛冶職人は、現在では古来の技術を継承する人材が乏しいため、いわき市でも2名が現役で活躍しているのみである。モノづくりの起源と言っても過言ではないこの技術を、同校学生に直接見聞させ、技術向上の重要性和製品の完成度を実感してもらうために企画した。

実技では、包丁の作製過程を実演し、材料をいかに有効に活用するか、また刃先を丈夫にするため高強度の鋼をいかに刃先へ接合するかなどをじっくりと学習した。

さらに討論会では、学生から活発な質問が寄せられ、若者への技術伝授のできた貴重な授業となった。(2003.3.4)

[0コメント](#)

[「いわきWEBアワード」最優秀賞受賞](#)

投稿日時: 2003-02-25 14:19:07 : [平成14年度の話題](#)

・市内初のホームページコンテスト「いわきWEBアワード」(同実行委員会主催)の受賞サイト発表・表彰式が22日夜、市生涯学習プラザで開かれた。市内を中心に計97作品が応募し、最優秀賞は「福島高専コミュニケーション情報学科『いわき市暮らしの伝承郷』VR版」が受賞した。(2003.2.25)

[0コメント](#)

[平成15年度入学者選抜学力検査](#)

投稿日時: 2003-02-25 14:18:25 : [平成14年度の話題](#)

・福島高専の平成15年度入学者選抜学力検査が23日、同校など県内3会場で行われ、286人(男子218人、女子68人)が試験に挑んだ。

学科ごとの受験状況は、機械工学科が72人(倍率2.6倍)、電気工学科が54人(同1.9倍)、物質工学科が72人(同2.6倍)、建設環境工学科が45人(同1.6倍)、コミュニケーション情報学科が43人(同1.5倍)となった。

午前9時半から、理科、英語、数学、国語、社会の5科目の試験に臨んだ。

合格発表は28日午前10時、校内に掲示するほか、合格者本人と中学校長に通知する。(2003.2.25)

[0コメント](#)

[第2回「福島県中学生ロボット競技会」](#)

投稿日時: 2003-02-05 14:20:12 : [平成14年度の話題](#)

・1月11日福島高専第一体育館で、第2回目の「福島県中学生ロボット競技会」が10校20チームの参加で、応援観客も含め約200名の中で行われた。競技は登板走行による競技と2種類のペットボトルを廃棄処分場まで運ぶスラローム走行の2種類が行われ、走るのが速いか?重量物を運ぶのが速いか?両者のバランスを考えたマシンの設計が重要であり、この競技を「パワー番付」と名付けている。参加校の中には「総合的な学習」の時間を活用し、校内競技会を実施するなど熱意を込めている学校もあり、先生方からも大好評を得ている。特に、国内のノーベル賞の受賞に沸いている中、生徒達に夢を与えるためのメッセージも紹介した。(2003.2.5)

[0コメント](#)

[学生及び教職員を対象とした防災訓練](#)

投稿日時: 2003-01-06 14:21:21 : [平成14年度の話題](#)

福島高専では、防災に対する意識の高揚を目的として、学生及び教職員を対象とした防災訓練を去る11月6日に平消防署の指導のもとに実施した。

総合訓練では、地震により、二次災害として管理棟共用資料室から火災が発生したことを想定し、教官による学生の避難誘導及び自衛消防隊による初期消火活動や負傷者の救助等の訓練を行い、平消防署から「速やかな避難ができ良好であった」との講評があった。

5年生及び教職員による部分訓練では、消防署員から消火器の使用方法的説明を受け、実際に消火訓練を行った。(2003.1.6)

[0コメント](#)

[福島高専 創立40周年記念式典](#)

投稿日時: 2002-12-09 14:22:58 : [平成14年度の話](#)

・福島高専は、創立40周年記念式典を去る11月3日に挙行了。同校は、昭和37年に設置され今年で40周年を迎えたことから、講演会、式典など一連の行事を行ったもので、記念講演会では、タカラ最高顧問の佐藤安太氏による「21世紀のモノづくり人づくり」と題した講演が行われた。

引き続き、地元関係者、学校関係者、後援会・同窓会関係者が出席して記念式典が挙行された。式では岩松校長の挨拶に続いて、地元選出国會議員、いわき市長(代理)、宮田茨城大学長が祝辞を述べた。

式後には低学年棟新築及び校舎改修工事竣工に伴う校舎竣工式を行い、井内仙台工事事務所長、岩松校長、後援会長、同窓会長、学生会長の5人がテープカットをした。祝賀会では、野崎いわき商工会議所会頭の発声で乾杯、40周年を盛大に祝った。

当日は、3年に1度の高専祭も同時に開催され、各クラス、クラブによるイベントや展示、吹奏楽部によるポップコンサートなどは多数の来場者で賑わった。(2002.12.9)

[0コメント](#)

[「高専ロボコン2002」全国大会](#)

投稿日時: 2002-12-09 14:22:17 : [平成14年度の話](#)

高専生の若さあふれる創造力とアイデアの祭典「高専ロボコン2002」全国大会が、11月24日東京・国技館で開催され、熱戦の結果、九州地区大会優勝の北九州高専が、米子高専との決勝戦を制し、初優勝を果たした。勝敗とは関係なく、最も優れた技術とアイデアに贈られる『ロボコン大賞』は、準々決勝で惜しくも敗れたものの、箱を1度に12個積み上げるマシンを擁した富山商船高専が獲得した。また、アイデア賞は徳山高専、技術賞は鹿児島高専、デザイン賞は育英高専、アイデア倒れ賞は福島高専に贈られ、特別賞は福井、育英、福島、小山の各高専が受賞した。(2002.12.9)

[0コメント](#)

[全国高等専門学校ロボットコンテスト2002](#)

投稿日時: 2002-10-16 14:25:13 : [平成14年度の話](#)

10月13日に秋田工業高等専門学校で「全国高等専門学校ロボットコンテスト2002」が行われました。本校からは、2チームが参加し、Aチームが3回戦、Bチームが2回戦で敗退してしまいましたが、Bチームがデザイン賞・特別賞を受賞し、全国大会出場が決まりました。(2002.10.16)

[0コメント](#)

[全国高等専門学校第13回プログラミングコンテスト](#)

投稿日時: 2002-10-16 14:24:33 : [平成14年度の話](#)

10月11日?14日にかけて金沢市の石川県地場産業振興センターで「全国高等専門学校第13回プログラミングコンテスト」が行われました。本校から課題部門、競技部門、自由部門に参加し、自由部門で審査員特別賞、課題部門が佳作となりました。(2002.10.16)

[0コメント](#)

[化学グランプリ 銀賞受賞](#)

投稿日時: 2002-10-15 14:25:47 : [平成14年度の話](#)

福島高専物質工学科3年の大川原徹君は、化学グランプリにおいて総合評価で銀賞を受賞した。同コンテストは、全国で1200名の高校生、高専生が参加。化学の実力を競うもので、筆記による1次選抜が東北大で行われ、さらに成績上位者60名による2次選抜(実技)が東大で開かれた。大川原君は、昨年度の奨励賞に続き受賞で、日頃の化学に対する取り組みが評価につながった。(2002.10.15)

[0コメント](#)

[中学3年生対象の「体験入学」](#)

投稿日時: 2002-09-19 14:26:40 : [平成14年度の話](#)

福島高専では、例年実施している中学3年生対象の「体験入学」を7月30日午前の部、午後の部、31日午前の部の3班に分け2日間にわたり開催した。今年度は県内(一部県外を含む)94校から、生徒514名、教諭29名、保護者119名の合計662名の参加者があった。参加者は午前の部、午後の部ともそれぞれ5つの班に分かれ、各学科のデモ実験等の見学や実際に実験をしたほか、「学校紹介コーナー」や「入試相談コーナー」を設け高専制度、授業内容及びクラブ活動状況をパネルや写真で紹介し、入試に関する相談な

ど、約4時間にわたり熱心に活動した。(2002.9.19)

[0コメント](#)

[東北地区高専体育大会](#)

投稿日時: 2002-08-12 14:31:42 : [平成14年度の話題](#)

7月5日(金)?7日(日)東北地区高専体育大会が秋田と八戸で行われました。結果については、学生活動紹介に掲示しますので、ご覧ください。(2002.8.12)

[0コメント](#)

[「第37回全国高等専門学校体育大会」のシンボルマークに採用](#)

投稿日時: 2002-08-12 14:30:50 : [平成14年度の話題](#)

福島高専学生のデザインが、来る8月8日から行われる「第37回全国高等専門学校体育大会」(東北地区担当)のシンボルマークに採用された。採用されたのは、同校コミュニケーション情報学科4年の芳賀智子さんと村上律子さんの作品。二人のデザインは、今大会のPR活動やプログラム等に活用され、大会スローガンの「闘え...強者たち」とともに、大会期間中熱いエールをおくる。(2002.8.12)

[0コメント](#)

[学校周辺の道路のゴミ拾い等の清掃を実施](#)

投稿日時: 2002-06-03 14:33:48 : [平成14年度の話題](#)

福島高専では、5月8日(水)午後2時30分から約50分間に渡り、学校周辺の道路のゴミ拾い等の清掃を実施しました。この清掃は、いわき市が「まちをきれいにする運動」の一環として春季と秋季に実施しているクリーン作戦にあわせて、毎年二回実施しているもので、作業には岩松校長、平野事務部長 以下教職員50人、4・5年生の学生50人が参加し、バス停留所や周辺の道路の草刈り、ゴミ拾いに汗を流しました。前回実施時にこの清掃に参加した学生は、学校周辺のゴミが前回より少なくなっていることに気づき、実施している効果を確認したようだ。なお、他の学生は同時時間帯に通常の校内清掃を実施した。(2002.6.3)

[0コメント](#)

[新入寮生防災訓練](#)

投稿日時: 2002-06-03 14:33:20 : [平成14年度の話題](#)

・福島高専学寮(磐陽寮)では、恒例の新入寮生防災訓練を5月22日(水)に実施しました。この訓練には、新入寮生の1年生、編入学生、留学生のほか、寮生会役員及び指導寮生合計約90人が参加、火災発生を想定した非難訓練と代表者10人による消火器を使用した初期消火訓練を行った。最後に寮務主事から、講評に加え不測の事態発生の際の心構えや非難の仕方、また、日常生活の中での火災予防に対する注意が述べられた。寮務主事補による消化器の取り扱いの説明の中で、消火器での消火はあくまでも初期段階、天井に火が届くような場合は、消火をあきらめ直ちに非難することが大切との力説が印象的だった。(2002.6.3)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=3>>

[第36回卒業証書授与式](#)

投稿日時: 2003-03-18 14:34:53 : [平成13年度の話題](#)

3月12日(火)10時30分からいわき市平市民会館において第36回卒業証書授与式を挙行了しました。従来は、本校第一体育館で行っていたが、今年度から外部会場で実施することとし、在校生全員出席のもと盛大に行われた。式では、国歌斉唱、卒業証書授与、校長告辞があり、続いて本校吹奏学部による祝奏、校歌斉唱、蛍の光斉唱が行われ予定どおり終了しました。(2002. 3. 18)

[0コメント](#)

[平成13年度終業式](#)

投稿日時: 2002-03-18 14:35:29 : [平成13年度の話題](#)

3月11日(月)10時10分から、本校第一体育館において平成13年度終業式を実施しました。式では、校長講話、表彰、卒業生からの記念品寄贈、退任教官の挨拶が行われ予定どおり終了しました。(2002. 3. 18)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験合格者発表](#)

投稿日時: 2002-03-01 14:36:08 : [平成13年度の話題](#)

もう三月ですね。早いものです。本日は、平成14年度入学者選抜試験の合格者発表がありました。合格された皆さんおめでとうございます。今年の合格発表は、例年通りの合格者への郵送と掲示板による発表、そして、昨年から実施しております、ホームページ上での合格者情報提供サービスによって行いました。(2002. 3. 1)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験\(学力による選抜\)が24日\(日\)に実施されます](#)

投稿日時: 2002-02-21 14:38:28 : [平成13年度の話題](#)

平成14年度入学者選抜試験(学力による選抜)が24日(日)に実施されます。(2002. 2.21)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験](#)

投稿日時: 2002-02-21 14:37:01 : [平成13年度の話題](#)

平成14年度入学者選抜試験は2月24日(日)に実施されました。受験生の皆さん、お疲れさまでした。合格者の発表は、3月1日(金)A.M10:00から、福島高専正面玄関前掲示板にて行います。なお、ホームページ上での、合格者番号情報提供サービスは、同日A.M10:15頃から開始します。(2002. 2.21)

[0コメント](#)

[佐藤光氏御逝去](#)

投稿日時: 2002-02-18 14:39:06 : [平成13年度の話題](#)

本校初代校長であり名誉教授の佐藤 光氏が、2月17日(日)に御逝去されました。先生は、本校創立の昭和37年から昭和53年までの間、初代校長として、本校に多大な足跡を残されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。(2002. 2.18)

[0コメント](#)

[【5年生期末試験\(2/14?2/20\)】](#)

投稿日時: 2002-02-14 14:39:54 : [平成13年度の話題](#)

5年生にとっては最後の定期試験となる、後期期末試験(5年生のみ)が始まりました。この定期試験と、26日から始まる卒研発表が5年生にとっては高専生活最後の大事な行事です。5年生の皆さん、卒業の日もう間近。ラストスパートをかけて頑張りましょう!【5年生期末試験(2/14?2/20)】(2002. 2.14)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験\(学力による選抜\)の受験希望者の願書受付は締め切られました](#)

投稿日時: 2002-02-08 14:40:41 : [平成13年度の話題](#)

平成14年度入学者選抜試験(学力による選抜)の受験希望者の願書受付は締め切られました。(2002. 2. 8)

[0コメント](#)

[2月、如月になりました。](#)

投稿日時: 2002-02-01 14:41:14 : [平成13年度の話題](#)

2月、如月になりました。今日から平成14年度入学者選抜試験(学力による選抜)の受験希望者の願書受付が始まりました。願書受付期間は2月1日(金)?8日(金)まで(土・日曜日を除きます)で、学力による選抜の試験日は2月24日(日)です。なお、合格者の発表は3月1日(金)です。(2002. 2. 1)

[0コメント](#)

[寮生餅つき&バレーボール大会](#)

投稿日時: 2002-01-31 14:42:57 : [平成13年度の話題](#)

・1月22日(火), この日学内では平成14年度入学者選抜試験(推薦による選抜)のため, 学生は臨時休講でした。この日を利用して, 学生寮では恒例の「寮生餅つき&バレーボール大会」が催されました。(2002. 1.31)

[0コメント](#)

[月30日\(水\), 2年生が修学旅行に出発しました](#)

投稿日時: 2002-01-31 14:42:30 : [平成13年度の話題](#)

・1月30日(水), 2年生が修学旅行に出発しました。3泊4日の日程で, 九州方面への旅行です。なお, 帰校は2月2日(土)です。(2002. 1.31)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験\(推薦による選抜\)が行われました](#)

投稿日時: 2002-01-24 14:43:29 : [平成13年度の話題](#)

1月22日(火), 平成14年度入学者選抜試験(推薦による選抜)が行われました。少し肌寒いながらも天候に恵まれた一日でしたが, 受験生の皆さんは緊張の一日ででしたでしょう。お疲れさまでした。ここでは受験者数を明かすことはできませんが, 前半の部と後半の部に別れ, 多くの受験生が受験されていました。みな様に緊張の面もちで, その緊張感がこちらにも伝わってくるようでした。なお, 推薦入試の結果は, 1月24日(木)付けで, 受験生本人及び在籍中学校校長宛文書として通知いたします。また, 合格された受験生の方は, 入学確約書の提出締め切りが2月8日(金)となっておりますので, 期日までに, 本校所定の用紙により提出願います。(2002. 1.24)

[0コメント](#)

[福島県内中学生を対象にしたロボット競技会](#)

投稿日時: 2002-01-15 14:44:24 : [平成13年度の話題](#)

1月12日(土), 本校第一体育館を会場に「福島県内中学生を対象にしたロボット競技会」が開催されました。当日はいわき市内の中学校をはじめ, 福島市や郡山市等からも参加をいただきました。競技の結果, 見事いわき市立中央台北中学校のマシン「The Future and The Past」が総合優勝しました。(2002. 1.15)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験\(推薦による選抜\)の受験希望者の受付は終了いたしました](#)

投稿日時: 2002-01-14 15:43:58 : [平成13年度の話題](#)

平成14年度入学者選抜試験(推薦による選抜)の受験希望者の受付は終了いたしました。(2002. 1.15)

[0コメント](#)

[学生寮が開寮しました](#)

投稿日時: 2002-01-08 14:44:52 : [平成13年度の話題](#)

本日学生寮が開寮しました。明日から学生も授業が開始されます。(2002. 1. 8)

[0コメント](#)

[平成14年度入学者選抜試験\(推薦による選抜\)の受験希望者の受付開始](#)

投稿日時: 2002-01-07 14:45:15 : [平成13年度の話題](#)

平成14年度入学者選抜試験(推薦による選抜)の受験希望者の受付が始まりました。受験希望者の受付期間は1月7日(月)?15日(火)まで(土・日曜日を除きます)です。なお, 推薦による選抜の受験日は1月22日(火)です。なお, 試験の結果については, 1月24日付けの文書により本人及び在籍中学校長宛に通知いたします。(2002. 1. 7)

[0コメント](#)

[【1月4日\(金\)教職員仕事始め】](#)

投稿日時: 2002-01-04 14:46:08 : [平成13年度の話題](#)

明けましておめでとうございます。新年を迎え, 今年も福島高専は頑張っていきたいと思っております。皆様, 今年もよろしくお願いいたします。【1月4日(金)教職員仕事始め】(2002. 1. 4)

[0コメント](#)

[アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2001東北地区大会](#)

投稿日時: 2001-11-14 14:47:53 : [平成13年度の話題](#)

11月11日(日), 仙台市の仙台電波高専第一体育館を会場に, 「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2001東北地区大会」が開催されました。この大会に, 福島高専からは福島高専Aチームの「頂天頂!」号と福島高専Bチームの「AI壁?The炎王?」号が参加しました。「頂天頂!」号は一回戦で一関高専Aチームと対戦し判定勝ち2回戦に進出しましたが, 仙台電波高専Aチームに惜しくも条件負けしてしまいました。「AI壁?The炎王?」号は, 一回戦一関Bチームを5?0, 二回戦宮城高専Bを15?0で下し準決勝に進出しました。準決勝では仙台電波高専Bチームと対戦。1?33で負けてしまい, 惜しくも決勝に進出することができま

せんでした。しかし、「AI壁?The炎王?」はアイデア賞を受賞！見 事全国大会出場のキップを手にすることが出来ました！！。応援くださいました皆さん、ありがとうございました。
「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2001全国大会」は今年25日(日)に東京都の国技館で開催されます。皆様、またまたご声援の程よろしくお願いいたします。
(2001.11.14)

* 高専ロボコン2001東北大会結果 *

優 勝 宮城高専A(全国大会出場)
準 優 勝 仙台電波B(全国大会出場)
アイデア賞 福島高専B(全国大会出場)
技 術 賞 一関高専A
デザイン賞 宮城高専B
東北電力賞 仙台電波A

[0コメント](#)

防災訓練が実施されました

投稿日時: 2001-11-14 14:47:30 : [平成13年度の話](#)

11月14日(水)秋晴れの中、防災訓練が実施されました。(2001.11.14)

[0コメント](#)

産学連携交流プラザ

投稿日時: 2001-11-14 14:46:59 : [平成13年度の話](#)

11月16日(金)に福島高専主催で「産学連携交流プラザ」が開催されます。場所は「グランパルティいわき」(いわき市平谷川瀬)。時間は午後2時から5時までとなっています。

<div>【このプラザへの参加者の受付は終了いたしました。なお、このプラザに関するお問い合わせは、福島高専庶務係までお願いいたします。】(2001.11.14)</div>

[0コメント](#)

今週11月11日(日)、仙台市の仙台電波高専第一体育館を会場に、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2001」東北地区大会が開催されます。

投稿日時: 2001-11-06 14:50:09 : [平成13年度の話](#)

今週11月11日(日)、仙台市の仙台電波高専第一体育館を会場に、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2001」東北地区大会が開催されます。本校からもこの大会に2チームが参加いたします。出場する学生諸君、今年も全国大会出場を目指して頑張ってくださいね。このページを見ている方、応援くださいますようよろしくお願いいたします。(2001.11. 6)

[0コメント](#)

【学内点描】

投稿日時: 2001-11-05 14:50:51 : [平成13年度の話](#)

【学内点描】本校のシンボルけやきの木も、正面玄関前坂道の銀杏並木も色づいています。けやきの赤に銀杏の黄色、その脇の常緑樹の緑と、見事なコントラストが織り込まれ、見る者の目を楽しませてくれます。(2001.11. 5)

[0コメント](#)

霜月。今年も残すところあと2ヶ月になりました。

投稿日時: 2001-11-01 14:51:14 : [平成13年度の話](#)

霜月。今年も残すところあと2ヶ月になりました。(2001.11. 1)

[0コメント](#)

【最近の学生活動の報告】

投稿日時: 2001-10-30 14:56:21 : [平成13年度の話](#)

【最近の学生活動の報告】

*なかなか掲載できずにいて申し訳ございません。最近の本校学生の課外活動の報告です。近い内に必ず掲載しますので、心待ちにしておられる方(?)、今しばらくお待ちください。

1. 全日本卓球選手権県大会ジュニア男子シングルス 高橋 正年(2コ) **5位(全国大会出場)**
2. 吹奏楽コンクール東北大会 福島高専吹奏楽部(大学の部) **銀賞**
3. 地区高等学校写真連盟写真展 金子由香利(2物) **入選**

* その他「陸上競技部」「卓球部」「テニス部」「ソフトテニス部」「水泳部」「将棋部」等々が活躍しております。

[0コメント](#)

最近開催された行事

投稿日時: 2001-10-30 14:55:41 : [平成13年度の話](#)

最近開催された行事。

1. 10月25日(木) 秋季校内体育大会が行われました。
2. 10月27日(土) 福島高専主催で、大学等地域開放事業「モノづくり&実験教室」が開催されました。

3. 10月31日(水) 秋季学級懇談会と寮保護者会が行われました。

[0コメント](#)

[モノづくり&実験教室](#)

投稿日時: 2001-10-19 14:56:59 : 平成13年度の話題

今月27日(土), 大学等地域開放事業として福島高専主催の『モノづくり&実験教室』が開催されます。今年のテーマは『ロボット』!! というわけで, タイトルが『福島県内中学生を対象としたロボット競技会』です。なお, この事業に関するお問い合わせ等はE-mail: robo-jhc@fukushima-nct.ac.jpまでお願いします。(2000.10.19)

[0コメント](#)

[3年生校外合宿\(15日?17日【機械・建設】、17日?19日【電気・物質】\)、秋季校内体育大会\(25日\)、その他「平成14年度入学者募集に関する説明会」等々](#)

投稿日時: 2001-10-12 14:57:39 : 平成13年度の話題

3年生校外合宿(15日?17日【機械・建設】、17日?19日【電気・物質】)、秋季校内体育大会(25日)、その他「平成14年度入学者募集に関する説明会」等々、各種行事が目白押しになってきました。ちょっと多忙な毎日になってきました。(2000.10.12)

[0コメント](#)

[「電気工学科」、「コミュニケーション情報学科」、「建設環境工学科」の教官公募](#)

投稿日時: 2001-10-05 14:58:17 : 平成13年度の話題

現在福島高専では、「電気工学科」、「コミュニケーション情報学科」、「建設環境工学科」の教官公募を行っております。興味のある方は「教官公募」のページをご覧ください。(2000.10. 5)

[0コメント](#)

[神無月。10月に入りました。今日から後期授業が始まりました。](#)

投稿日時: 2001-10-01 14:58:52 : 平成13年度の話題

神無月。10月に入りました。今日から後期授業が始まりました。(2000.10. 1)

[0コメント](#)

[前期期末試験【9月21日\(金\)?28日\(金\)】](#)

投稿日時: 2001-09-21 14:59:47 : 平成13年度の話題

今年度の前半の締め括り(?)前期期末試験が始まりました。(2001. 9.21)

[前期期末試験【9月21日\(金\)?28日\(金\)】](#)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=2>>

[「インターネット入門」「コンピュータでつくる年賀状講座」開催予定](#)

投稿日時: 2001-09-13 15:00:18 : 平成13年度の話題

福島高専主催の公開講座には、毎回沢山の方々の参加を頂きまして誠にありがとうございます。今年も順調に開催することができました。あと2回「インターネット入門」と「コンピュータでつくる年賀状講座」が開催予定になっておりますので、沢山の方々の参加をお待ちいたします。(2001. 9.13)

[0コメント](#)

[福島県内中学生を対象としたロボット競技会](#)

投稿日時: 2001-09-07 15:01:11 : 平成13年度の話題

福島高専主催の「福島県内中学生を対象としたロボット競技会」を開催いたします。開催要項を掲載しました。沢山の方々の参加をお待ちいたしますので、ふるってご参加ください。(2001. 9. 7)

[0コメント](#)

[福島高専「機械工学科」及び「コミュニケーション情報学科」において教官を公募いたします](#)

投稿日時: 2001-09-06 15:01:38 : 平成13年度の話題

福島高専「機械工学科」及び「コミュニケーション情報学科」において教官を公募いたします。(2001. 9. 6)

[0コメント](#)

[長月。九月になりました。](#)

投稿日時: 2001-09-03 15:02:13 : 平成13年度の話題

長月。九月になりました。学生も授業が始まりました。先月はここの更新も「夏休み」と称してお休みさせていただきましたが、その間にも、学生は「全国高専体育大会」や各種大会で優秀な成績を収めています。こちらにも、おいおい掲載していきますのでうしばらくお待ちください。(2001. 9. 3)

[0コメント](#)

[中学三年生を対象にした「一日体験入学」](#)

投稿日時: 2001-07-31 15:03:05 : 平成13年度の話題

7月26(木)?27日(金)の両日、中学三年生を対象にした「一日体験入学」が実施されました。両日も暑い

日でしたが、今年度も多くの方に参加をいただくことができました。参加者の皆さん、引率の先生方、そして保護者の皆さん、誠にありがとうございました。来年4月にお会いすることができましたら幸いです。(2001.7.31)

[0コメント](#)

[【高校野球:福島高専の結果】](#)

投稿日時: 2001-07-23 15:04:18 : [平成13年度の話題](#)

【高校野球:福島高専の結果】夏の全国高校野球選手権大会福島県大会。福島高専は三回戦の勿来高校戦で1?4で敗れ、甲子園出場はなりませんでした。応援くださいました皆様、ありがとうございました。

なお、福島高専の戦績は次のとおりです。(2001.7.23)

- 一回戦 福島高専 8?2 好間高校
- 二回戦 福島高専 5?3 遠野高校
- 三回戦 福島高専 1?4 勿来高校

[0コメント](#)

[【夏季休業期間:7月20日\(金\)?8月27日\(月\)】](#)

投稿日時: 2001-07-23 15:03:48 : [平成13年度の話題](#)

連日猛暑が続きますね。夏真っ盛りとなってきました。本校の学生も夏季休業に入りました。(2001.7.23)

【夏季休業期間:7月20日(金)?8月27日(月)】

[0コメント](#)

[夏の全国高校野球選手権大会福島県大会が7月12日\(木\)が開幕しました](#)

投稿日時: 2001-07-13 15:05:05 : [平成13年度の話題](#)

今年も夏の全国高校野球選手権大会福島県大会が7月12日(木)が開幕しました。第83回目の開催を迎えた、そして21世紀最初の「全国高校野球選手権大会」への出場をかけた熱い戦いが今年も行われることでしょう。我が福島高専も福島県大会に出場しております。福島高専は、大会3日目の**14日(土)9:00から「いわきグリーンスタジアム」**(いわき市)で好間高校と対戦します。応援よろしく願いいたします。(2001.7.13)

[0コメント](#)

[第38回東北地区高専体育大会福島大会](#)

投稿日時: 2001-07-09 15:05:50 : [平成13年度の話題](#)

7月7日(土)?8日(日)の両日開催された「第38回東北地区高専体育大会福島大会」も無事終了いたしました。選手の皆さんお疲れさまでした。

応援していただいた方々ありがとうございました。大会関係者の皆さんも前日の準備から8日の後片付けまでお疲れさまでした。両日も天気にも恵まれ、「もしや梅雨が開けたのでは?」と思ってしまうほど、まさに天気は快晴。夏本番を向かえたような暑い中で各競技熱戦が繰り広げられました。福島大会の結果は、「福島大会速報のページ(</taikai2001/>)」に掲載していますのでご覧ください。(2001.7. 9)

[0コメント](#)

[「第38回東北地区高専体育大会福島大会」が今日から開催されます](#)

投稿日時: 2001-07-06 15:06:32 : [平成13年度の話題](#)

「第38回東北地区高専体育大会福島大会」が今日から開催されます。今日6日は各競技の代表者会議、バレーボールとバドミントンの開会式が行われます。7日?8日の両日に渡る大会の勝者は、8月に開催される「全国高等専門学校体育大会(今年度の主管は中部地区)」に出場することができます。選手の皆さんの健闘を祈ります。(2001.7. 6)

[0コメント](#)

[第4回東北地区国立高等専門学校技術職員研修](#)

投稿日時: 2001-07-05 15:07:14 : [平成13年度の話題](#)

「第4回東北地区国立高等専門学校技術職員研修」が次の日程により、福島高専主管で開催されます。(2001.7. 5)

主 催: 東北地区国立高等専門学校

主管校: 福島工業高等専門学校

研修期間: 平成13年8月21日(火)?24日(金)の3泊4日

研修場所: 「いわきゆったり館」(970-8321 いわき市常磐湯本町上浅貝22?1)

[0コメント](#)

[文月、連日いわきでも暑い日が続いています](#)

投稿日時: 2001-07-04 15:09:53 : [平成13年度の話題](#)

文月、連日いわきでも暑い日が続いています。前期中間試験も終わり、学生は間もなく夏季休業に入ります。(2001. 7. 4)

[0コメント](#)

[第38回東北地区高専体育大会福島大会\(福島高専主幹\)と一関大会\(一関高専主幹\)](#)

投稿日時: 2001-07-04 15:08:55 : [平成13年度の話題](#)

第38回東北地区高専体育大会福島大会(福島高専主幹)と一関大会(一関高専主幹)が7月7日(土)・8日(日)の両日開催されます。これは、東北地区の全7高専(八戸、一関、宮城、秋田、鶴岡、仙台電波、福島の7高専)を対象にした体育大会、本校が主管する福島大会では「バレーボール」「ソフトテニス」「柔道」「硬式野球」「サッカー」「水泳」「バドミントン」の7種目がいわき市総合運動公園やいわきグリーンスタジアムを会場として開催されます。応援よろしくお願いいたします。(2001. 7. 4)

[0コメント](#)

[平成13年度体験入学](#)

投稿日時: 2001-07-04 15:08:18 : [平成13年度の話題](#)

「平成13年度体験入学」が開催されます。今年度の開催は7月26日(木)?27日(金)の2日間です。現在、体験入学のホームページも用意しておりますので、ホームページへの掲載はもう少しお待ちください。なお、体験入学に関するお問い合わせ、受講申込み等については「福島高専学生課教務係(tel 0246-46-0731 E-mail:kyoumu@fukushima-nct.ac.jp)」までお願いいたします。(2001. 7. 4)

[0コメント](#)

[2001年度版「国立福島工業高等専門学校要覧」](#)

投稿日時: 2001-07-04 15:07:43 : [平成13年度の話題](#)

2001年度版「国立福島工業高等専門学校要覧」ができあがりました。これに伴い、福島高専オフィシャルページの内容も平成13年度分の情報に更新しています。

(学校要覧については「福島高専庶務課庶務係(tel 0246-46-0705 E-mail:syomu@fukushima-nct.ac.jp)」まで)。(2001.7. 4)

[0コメント](#)

[東北地区高専体育大会福島大会](#)

投稿日時: 2001-06-22 15:11:36 : [平成13年度の話題](#)

7月6日(金)?8日(日)の3日間、本校主催で「東北地区高専体育大会福島大会」が開催いたします。これは、東北地区の高専が一同に介して行われる体育大会で、今年は一関高専と福島高専が共同で大会を主催します。福島高専が主催する福島大会では、「バレーボール」「ソフトテニス」「硬式野球」「サッカー」「柔道」「水泳」「バドミントン」の7競技をいわき市内を会場として行います。見学は自由となっていますので、市内の方で興味がある方は応援をお願いいたします。(2001. 6.22)

[0コメント](#)

[公開講座受講申込みについて](#)

投稿日時: 2001-06-20 15:12:33 : [平成13年度の話題](#)

例年、本校主催の各種公開講座には沢山の方々のご参加をいただきまして誠にありがとうございます。本年も6月から各種校外講座が開催されますので、沢山の方々のご参加をお待ち申し上げます。なお、公開講座受講申込みについては、本校庶務課庶務係(tel 0246-46-0705)までお問い合わせください。(2001. 6.20)

[0コメント](#)

[梅雨の季節となりました。](#)

投稿日時: 2001-06-19 15:13:15 : [平成13年度の話題](#)

梅雨の季節となりました。いつもははじめじめとした感じがして嫌な季節ですが、今年は4月?5月といわき市内の降雨量が少なく、渇水気味だといわれていましたから恵みの季節となりました。そういわれてキャンパス内を見渡してみると・・・、いつの間にか草木達の緑も一段と色濃くなったように感じます。(2001. 6.19)

[0コメント](#)

[前期中間試験も無事終了いたしました。](#)

投稿日時: 2001-06-15 15:13:47 : [平成13年度の話題](#)

前期中間試験も無事終了いたしました。(2001. 6.15)

[0コメント](#)

[【前期中間試験:6月11日\(月\)?15日\(金\)】](#)

投稿日時: 2001-06-08 15:14:10 : [平成13年度の話題](#)

来週月曜日11日から前期中間試験が始まります。【前期中間試験:6月11日(月)?15日(金)】(2001. 6. 8)

[0コメント](#)

[水無月、六月です。](#)

投稿日時: 2001-06-01 15:14:34 : [平成13年度の話題](#)

水無月、六月です。衣替えの季節になりました。(2001. 6. 1)

[0コメント](#)

[春季校内体育大会](#)

投稿日時: 2001-05-31 15:15:28 : [平成13年度の話題](#)

5月24日(木)、春季校内体育大会が開催されました。当日はあいにく雨天になってしまったため、屋外球技のソフトボール、ソフトテニス、テニスは中止になりましたが、それにかかわらず学生の賑やかな歓声が一日中校内に響いておりました。さて、肝心の成績結果は次のようになりました(総合成績のみ)。(2001. 5.31)
総合1位 電気工学科
総合2位 建設環境工学科
総合3位 物質工学科

[0コメント](#)

[高体連大会いわき地区大会](#)

投稿日時: 2001-05-31 15:15:00 : [平成13年度の話題](#)

高体連大会いわき地区大会が開催されています。本校からも各クラブが参加し健闘しております。結果については近日掲載したいと思っております。(2001. 5.31)

[0コメント](#)

[茨城高専との交流を兼ねた定期戦が、今年も5月26日\(土\)に開催されます。](#)

投稿日時: 2001-05-23 15:16:06 : [平成13年度の話題](#)

毎年恒例となっております茨城高専との交流を兼ねた定期戦が、今年も5月26日(土)に開催されます。茨城高専の皆様、今年もよろしくお願いします。晴天の元での両校の健闘を今から期待いたします。(2001. 5.23)

[0コメント](#)

[皐月五月。](#)

投稿日時: 2001-05-16 15:18:19 : [平成13年度の話題](#)

皐月五月。今月に入っているいろいろと行事がありましたが、「学内の話題」の更新が滞っておりました。あらためて更新の再開です。(2001. 5.16)

[0コメント](#)

[訂正とお詫び](#)

投稿日時: 2001-05-16 15:16:47 : [平成13年度の話題](#)

5月16日(水)開催の春季学級懇談会の開催時間について、当ホームページに掲載した開催時間に間違いがありました。保護者の方及び関係者の方には失礼いたしました。お詫びいたします。また、ご指摘いただきました方ありがとうございました。「福島工業高等専門学校オフィシャルページ」がよりよいものとなるよう頑張りますので、応援&ご指摘よろしくお願いいたします【福島高専の一ホームページ作成者】。(2001. 5.16)

[0コメント](#)

[全校一斉学内清掃](#)

投稿日時: 2001-05-09 15:17:44 : [平成13年度の話題](#)

5月9日(水)に全校一斉の学内清掃が実施されました。今回の全校清掃では学生の他、教職員総出で清掃を実施いたしました。手前味噌ながら、校舎施設内やその周りの雑草や空き缶等が除去され一段と(?)綺麗になったのではと思っております。(2001. 5.16)

[0コメント](#)

[新年度がスタート](#)

投稿日時: 2001-04-12 15:19:27 : [平成13年度の話題](#)

新年度がスタートし、2?5年生は今日から授業開始です。1年生には今日明日の2日間、授業の代わりに新入生オリエンテーションが行われます。1年生の授業開始は13日(金)からです。(2001. 4.12)

[0コメント](#)

[春爛漫。](#)

投稿日時: 2001-04-10 15:20:09 : [平成13年度の話題](#)

春爛漫。桜満開の今日4月10日(火)、208名の新入生を迎える平成13年度入学式が行われました。奇しくもいわき市では前日桜の開花宣言が出され、この日はほぼ満開の状態となりました。こんな春爛漫の中を新入生が入ってくる姿はまさに初々しく、輝いているようでした。新入生の皆さん、これからの5年間頑張ってくださいね。(2001. 4.10)

[0コメント](#)

[平成13年度編入学生の編入学式](#)

投稿日時: 2001-04-06 15:20:45 : [平成13年度の話題](#)

4月6日(金)、平成13年度編入学生の編入学式が行われました。今年度は第4学年に4名の学生が編入学しました。(2001. 4. 6)

[0コメント](#)

新年度のスタートの日です

投稿日時: 2001-04-02 15:21:18 : [平成13年度の話題](#)

月2日(月), 新年度のスタートの日です。今年は4月1日が日曜日のため, 2日がスタートの日となりました。(2001. 4. 2)

[0コメント](#)

No.5

投稿日時: 2001-01-12 13:32:21 : [平成13年度の話題](#)

平成13年度入学者選抜試験(推薦による選抜)の受験希望者の受付は終了いたしました。(2001. 1.12)

[0コメント](#)

No.4

投稿日時: 2001-01-10 13:31:55 : [平成13年度の話題](#)

学生授業開始。図書館も開館いたしました。(2001. 1.10)

[0コメント](#)

No.3

投稿日時: 2001-01-09 13:31:27 : [平成13年度の話題](#)

成人の日, 夜半からの突然の大雪でいわき市内の交通網も混乱気味でした。9日の火曜日に学校に出てみると, 校内は辺り一面銀世界。滅多に雪の降らない いわき市(特に学校のある平地区)では, 一日たっても雪が溶けずに残っているというのは珍しいことです。大けやきの木も, 青年の像も雪を被って真っ白で, 工学の池も完全に凍り付いてしまいました。明日から授業ですが, この天気が緩んでくれることを祈ります。(2001. 1. 9)

[0コメント](#)

No.2

投稿日時: 2001-01-09 13:30:03 : [平成13年度の話題](#)

平成13年度入学者選抜試験(推薦による選抜)の受験希望者の受付が始まりました。受験希望者の受付期間は1月5日(金)?12日(金)までです(土・日曜日を除く)。なお, 推薦による選抜の受験日は1月23日(火)です。(2001. 1. 5)

[0コメント](#)

No.1

投稿日時: 2001-01-05 13:29:24 : [平成13年度の話題](#)

・明けましておめでとうございます。新世紀を迎え, 福島高専は新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。【1月4日(木), 教職員仕事始め】(2001. 1. 4)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=2&start=60>>